平成26年度　富ケ丘北部会館新築工事

A-	建　築					M-	機械設備	
1	表紙、図面リスト		33	小屋伏図		1	機械設備工事特記仕様書	
2	特記仕様書－１		34	屋根伏図		2	給排水衛生設備機器・桝リスト	
3	特記仕様書－２		35	金物標準図		3	給排水衛生設備平面図	
4	特記仕様書－３		36	耐力壁、金物配置図		4	ツイントルネード防露便器	
5	特記仕様書－４		37	壁量計算書、Ｎ値計算書		5	パブリック用手すり	
6	工事区分表		38	外構平面図		6	棚付二連紙巻器	
7	計画概要、附近見取図		39	外構詳細図		7	自動洗浄壁掛小便器	
8	敷地面積求積図、床面積、建築面積求積図		40	広報掲示板詳細図		8	自動洗浄壁掛小便器（手すり付）	
9	配置図		41	竣工表示板		9	マーブルライトカウンター（ミラー2）	
10	仕上表		42	敷地内遊器具、植栽配置図		10	マーブルライトカウンター（ミラー1）	
11	１階平面図		43	調理台・食器棚・カウンター平面図、部材リスト		11	ツイントルネード防露便器	
12	屋根平面図		44	調理台・食器棚・カウンター立面図		12	ベビーシート	
13	東・南立面図		45	取り付け設置図－１		13	ベビーチェア	
14	西・北立面図		46	取り付け設置図－２		14	コンパクト手洗器	
15	Ｘ軸・Ｙ軸方向断面図					15	パブリック用手すり	
16	矩計図					16	バック付掃除用流し	
17	展開図－１					17	ガス瞬間給湯器	
18	展開図－２							
19	展開図－３							
20	展開図－４							
21	展開図－５					E-	電気設備	
22	天井伏図							
23	１階鋼製建具配置図					1	電気設備工事特記仕様書	
24	鋼製建具表					2	照明器具姿図	
25	１階木製建具配置図					3	電灯配線図、分電盤結線図	
26	木製建具表					4	コンセント配線図	
27	家具詳細図					5	非常時配線図、防災無線配線図	
28	法的チェック図					6	空調換気設備図	
29	シックハウス検討表							
30	基礎伏図							
31	配筋詳細図							
32	床伏図						合計	69枚

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

表紙、図面リスト

A- 1

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　平成２６年度富ケ丘北部会館新築工事
2　工　事　場　所　　宮城県黒川郡富谷町富ケ丘三丁目１－３９８の一部
3　用途地域等
　都市計画区域（・(○)内　・　外）　用途地域（　　第二種中高層住居専用地域
　防火地域等（・　防火　・　準防火　・　指定なし　・　２２条(○)）
　その他の地域・地区（
4　主　要　用　途　　地区集会所
5　敷　地　面　積　　㎡
6　工　事　の　概　要
　建築工事一式　　建物床面積　㎡
　外構工事
　電気設備工事
　機械設備工事

7　別　途　工　事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
・構造特記仕様書　・(○)構工事特記仕様書　・植栽工事特記仕様書
(○)解体工事特記仕様書　・(○)電気設備工事特記仕様書　・機械設(○)工事特記仕様書
・　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版)」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版)」(以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、・印のついたものを適用する。(○)印のつかない場合は※印のついたものを適用する。・印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	(○) 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。 (○) 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 (○) 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※　図示
	②．適用基準等	(○) 建設工事執行規則（昭和39年3月宮城県規則第9号） (○) 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成25年9月1日施行） (○) 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版） (○) 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版） ・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版）
	③．概成工期	工事工期より　　日前 (1.2.1)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）(1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 （請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ） ・ 適用しない
	⑤．発生材の処理等	発生材の処理 (1.3.8) ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考
・ セメントコンクリート塊			
・ アスファルトコンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型）(　　)
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型）(　　)
受入れ施設名・所在地(km)

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

	⑥．電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない (1.3.3)

1 一般共通事項	⑦．事故報告	(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧．建築材料等	(1.4.2) 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 (1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	⑨．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9) 測試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm） 測定する室等：（　集会室、調理室　　） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
	10．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑪．建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・ ガラスブロック・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・有　・無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

	⑫．設計G.L.	※ 図　示　　・ 現状平均地盤高
	⑬．技　能　士	(1.5.2) ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	(○)鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	(○)型枠施工（型枠工事作業） (○)コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業） ・とび（とび作業）
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	(○)タイル張り（タイル張り作業）

2 仮設工事	木工事	(○)建築大工（大工工事作業）
	屋根及びとい工事	(○)建築板金（内外装板金作業） ・スレート施工（スレート工事作業）
	金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業）
	左官工事	(○)左官（左官作業）
	建具工事	(○)サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） (○)ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業）
	塗装工事	(○)塗装（建築塗装作業）
	内装工事	(○)内装仕上施工（(○)プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 (○)ボード仕上工事作業　） (○)表装（壁装作業）
	排水工事	(○)配管（建築配管作業）
	舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
	植栽工事	・造園（造園工事作業）

	⑭．完成図等	営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。 ※ 完成原図　１部 ※ マイクロフィルム（県指定様式）　１部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚
	⑮．完成写真	※ 作成する　・ 作成しない 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー・白黒	※Ｌ・２Ｌ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度・　箇所　枚	※１部・　部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）・

	⑯．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施工図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑰．火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※　火災保険　※　建設工事保険 保険期間　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで
	18．住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）
2 仮設工事	①．仮囲い	※ 設ける　・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・シートゲート（H=　，W=　）×　箇所
	②．危害防止	※ シート張り　・ 金網養生
	3．交通誘導員	・ 配置する（　日　×　人　＝　人日）　※ 配置しない
	4．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・ 設ける（規模　12.5　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否） 備品（　　）
	⑤．工事表示板	※ 設置する（設置枚数　１枚）　・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	6．事業コスト表示板	・ 設置する（設置枚数　※　１枚　・　枚）　※ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑦．工事用水	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	⑧．工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	⑨．工事用通路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）
	⑩．足場等	(2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	11．その他の仮設	・
3 土工事	①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (3.2.3)(表3.2.1) Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所
	②．建設発生土の処理	(○) 構外に搬出し適切に処理する。 (3.2.5) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。
	3．山　留　め	(3.3.1)(3.3.3)

4 地業工事	1．既製コンクリート杭・鋼杭事業	杭の種類 (4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・

(4.3.2)

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手　※　アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手 (4.3.6)(4.4.5)
・
先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ (4.3.3)(4.4.3)
杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－５０mm程度
・ セメントミルク工法 (4.3.4)(4.4.3)
・ 特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

	2．場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　・Ａ種　・Ｂ種 (4.5.3)(表4.5.1) 掘削工法　・アースドリル工法　※ 安定液使用 (4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない
	3．地盤改良	工　法（・　　）
	④．床下防湿層	(4.6.5) ※ 設ける　地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。 ・ 設けない
	⑤．土間スラブ（土間コン）下断熱材	※ 設ける　Ａ種ポリスチレンフォーム３種b　厚25mm＋砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。 ・ 設けない
	⑥．砂利地業	※ 再生クラッシャラン　・　（　　） (4.6.2～3)
5 鉄筋工事	①．鉄筋の種別	(5.2.1)(表5.2.1)

規　格　名　称	種　類　の　記　号	径　（mm）
鉄筋コンクリート用棒鋼	※　ＳＤ２９５Ａ	※　Ｄ１６以下
	※　ＳＤ３４５	※　Ｄ１９以上

	2．溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 (5.2.2) 線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100 使用箇所（　　）
	③．鉄筋の継手	(5.3.4)

接　合　方　法	径(mm)	施　工　箇　所
※　重ね継手	Ｄ１６以下	
※　ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

	4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	(5.3.5)

施　工　箇　所　等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

	⑤．各部配筋	各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。 (5.3.7)
	6．柱の帯筋	※ Ｈ形　・ Ｗ－１形　・ＳＰ形 (参考図 図2.2)
	7．耐震壁を除く壁の開口部補強	・ Ａ形　※ Ｂ形 (参考図 表4.3～4.4)
	⑧．はり貫通孔の補強	補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型 (参考図 表7.1～7.3)
	9．圧接完了後の抜取試験	試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験 (5.4.9)
6 コンクリート工事	①．設計基準強度	普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品） (6.1.4)

Ｆｃ（N/mm2）	適　用　箇　所
・ ２４	
※ ２１	
・ １８	

	②．レディーミクスコンクリート	種　別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類 (6.1.5)(表6.1.1) ・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ) （アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験） ・コンクリート単位水量測定を実施する。
	③．スランプ	基礎，基礎梁，土間スラブ　※ １５cm　・ １８cm (6.2.3)(表6.2.1) 柱，梁，スラブ，壁　※ １８cm
	4．打放し仕上げの種類	(6.2.5)(表6.2.3)

種　別	施　工　箇　所
・ Ａ 種	
※ Ｂ 種	
・ Ｃ 種	

	⑤．セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 (6.3.2)

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
			富ケ丘北部会館新築工事		A- 2
			図面名称　特記仕様書－１　Scale		

6 コンクリート工事

⑥ 型枠 (6.9.3)

せき板の種類	板　厚(mm)	適用箇所	備　考
※ 合　板	※ １２　・		・宮城県グリーン製品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する

⊙ ひび割れ誘発目地 (6.9.2)
目地寸法　※ 図示
位　置　※ 図示

7. 軽量コンクリート (6.11.1)(表6.11.1)

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（ｔ／ｍ3）

8. 寒中コンクリート (6.12.2～4)
適用期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/mm２に達するまで行うこと。

⑨ 無筋コンクリート (6.14.1)
適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。

適　用　範　囲
発生強度18KN/㎟　施工箇所：捨てｺﾝｸﾘｰﾄ

10. 流動化コンクリート (6.16.1)(6.16.3)

種　別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０　・１２　・１５	・１８　・２１	

7 鉄骨工事

1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)
※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・ Ｓ　・ Ｈ　・ Ｍ　・ Ｒ　・ Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2. 施工管理技術者 (7.1.3)
※ 適用する　・ 適用しない

3. 鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)

材　質	規　格
・SS400　・SSC400　・STK400　・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4. 高力ボルト (7.2.2)
※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ ２種(S10T)　・
・ ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類　※ ２種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種(F8T相当)　・

5. 溶接部の試験
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 (7.6.11)

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備　考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６　・	
現場溶接			

⑥ 錆止め塗装 (7.8.3)(7.8.4)(表18.3.2)(表18.3.3)
※ 適用する　(標準仕様書18章3節による)
・ 適用しない

7. 耐火被覆 (7.9.2)(7.9.4～7)

種　別	材料及び工法製造所	備　考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※半乾式　・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8. アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種　別	適　用　箇　所
・ Ａ　種	
※ Ｂ　種	
・ Ｃ　種	

9. 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種　別	適　用　箇　所	柱底均しモルタル
※ Ａ　種		※無収縮モルタル
・ Ｂ　種		※無収縮モルタル

10. 溶融亜鉛めっき (7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適　用　箇　所
※ Ａ　種	

8 押出成型セメント板工事 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル

1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)
ブロックの種類
※ 空洞ブロック　１６　・

2. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)
ブロックの種類
※ 空洞ブロック　１６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック ０８ とすることができる）

3. ＡＬＣパネル (8.4.2)(8.4.3～5)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種　・Ｃ種 ・Ｄ種　・Ｅ種		
・屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		

4. 押出成形セメント板 (8.5.2～4)(表8.5.1)(表8.5.2)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種　・Ｂ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種　・Ｃ種		

9 防水工事

1. アスファルト防水・改質アスファルトシート防水 (9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
・ Ａ－１		・ ＡＩ－１	
・ Ｂ－２		・ ＢＩ－２	
・ Ｄ－１	室内(便所・浴室)	・ ＡＳ－２	
・ Ｅ－１			
・ ＡＳ－１			

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※ ３種
押さえ金物　（※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　）
・ 断熱材　※ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き
厚さ(mm)　・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　)
・ 溶接金網（規格　）
適用防水種別（・　）
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　)
製造所（　）

2. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ　(mm)	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
・ 脱気装置　（材質：　数量：　）
・ 絶縁シート　（発泡ポリエチレンシート　）
・ その他の材料（　）

3. 塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種　別	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・ウレタン系	・Ｘ－１　バルコニー	※カラー　・シルバー
	・Ｘ－２　ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－１　地下外壁	
	・Ｙ－２　室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　・　）
（設置数量：　箇所）

④ シーリング (9.6.2)
※ 被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。

5. 防水保証 (9.6.3)
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間とし、作成し提出する。

10 石工事

1. 石材 (10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品　質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2. 汚れ防止 (10.1.5)
床のワックスかけ　・ 行う　・行わない

11 タイル工事

1. タイル (11.2.1)
タイルの種類

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う

2. タイル下地コンクリート (11.3.3)
後張りタイル下地コンクリート素地面の処理
・ 行う（下記のいずれかとする）　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適　用　箇　所
ＭＣＲ工法	(15.2.5(C)) による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	(15.2.5(C)) による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし（6.9.3(e)）による。
目荒し工法の高圧水洗は（15.2.4(C)）による。
ポリマーセメントモルタルの調合は（15.2.3(b)）による。

3. 陶磁器質タイル張り (11.1.4)(表11.1.2)
接着力試験の引張接着強度

適　用	引張り接着強度（単位:N/mm²）
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

内装タイルの工法 (11.3.3)(表11.3.2)
※ 改良積上げ張り　施工箇所（　）
※ 接着剤張り　施工箇所（　）

外装タイルの工法 (11.3.3)(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所（　）
・ 改良圧着張り　施工箇所（　）

ユニットタイルの後張り工法 (11.3.3)(表11.3.2)
※ マスク張り

12 木工事

① 木材 (12.1.4)(表12.1.1)
表面仕上げの程度　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種
含水率　構造材　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.1)
下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種
造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種
造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.2)
代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※ なし　・ あり（　）

2. 集成材 (12.2.2)
造作用集成材12.2.2.(2)による

等　級	見掛かり	その他
	※ １等　・ ２等	※ １等　・ ２等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

③ 床張り用合板 (12.2.3)
床下貼り用合板
※ JASの構造用合板　特類　２級　Ｃ－Ｄ
・ （　）

④ 接着剤 (12.2.6)
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

⑤ 木材保存剤 (12.2.8)(12.2.9)
木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は、非有機リン系のものとする。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

① 金属板葺 (13.2.2)(表13.2.1)

材　種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備　考
・カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	JIS G 3312	※0.4 ・	※瓦棒葺（心木なし）	
・ガルバリウム鋼板（※無塗装　）	JIS G 3321	※0.4 ・	・	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※カラー　）	JIS G 3322	※0.4 ・	・	AL55%
・		・	・	

※監督員の承諾する業者とする。

2. 折板葺 (13.3.2)(表13.2.1)
JIS A 6514のJIS表示認証製品

材　種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8	・ 0920 ・ 1525 ・ 1730 ・	・有（　mm） ・無	・有（30分耐火） ・無
・カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322				
・ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744				
・					

・形　式（・ 重ね形　・ はぜ締め形）
・軒先面戸（　）

3. 粘土瓦葺 (13.4.2)
JIS A 5208の表示認証製品

種　類	大きさ	産　地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する ・ 提出しない

④ とい (13.5.2)(13.5.3)(表13.5.1)(表13.5.3)(表13.5.4)
といの材質

材　種	防　露
・配管用鋼管（ＳＧＰ）	※ （表13.5.4）により行う　・ 行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	

鋼管製といの防露巻き工法
※ （表13.5.4）による
・ 縫受石（材質・規格　）
※ 第一桝まで接続

5. ルーフドレン (13.5.3)
※ 鋳鉄製
※ 縦型　・ 横型

14 金属工事

① あと施工アンカー (14.1.3)
引抜き耐力の確認試験　・ 行う　※ 行わない

② ステンレス表面処理 (14.2.1)
※ ＨＬ　・ NO.2B

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種　類	施　工　箇　所	色　合
・ － 種		
・ － 種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

種　類	施　工　箇　所
・ 種	
・ 種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※ 行わない　・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※ 行わない　・ 行う

5. 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)
野縁などの種類
屋内　※ １９型　・ ２５型（室名：　）
屋外　・ １９型　※ ２５型
耐震性を考慮した補強 (14.4.3)(14.4.4)
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）
耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6. 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7. 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)
種　別（　）
表面処理（　）
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・ 設ける　・ 設けない

8. アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.7.1)
表面処理　※ Ｂ-1種　・ Ｂ-2種
隅角部及び突当り部の役物の使用
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

⑨ 手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地材
※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

15 左官工事

① セルフレベリング材 (15.4.2)(表15.4.1)
種別　・ 石こう系　⊙ セメント系
塗厚　※ 10mm　・

2. 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工　法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材　Ｅ ・内装薄塗材　Ｅ ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材　Ｃ ・内装厚塗材　Ｃ ・外装厚塗材　Ｅ ・	・	※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材　ＣＥ ※複層塗材　Ｅ ・複層塗材　ＲＳ ・複層塗材　ＲＥ ・複層塗材　Ｓｉ ・防水形複層塗材　Ｅ ・防水形複層塗材　ＲＳ ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　・ １種　・ ２種　※ ３種

3. ロックウール吹付け (耐火被覆は，７章による)
吹付け厚さ（mm）　※ １０　・ (15.7.3)

16 建具工事

① 一般事項
防火戸の指定 (16.1.3)
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号のニロの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの(監督員の承諾を受ける。)
※ 適用しない
防火戸との連動 (16.1.3)
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構　・ ヒューズ装置　・ 熱感知器　・ 煙感知器
※ 適用しない
見本の作成等 (16.1.4)
製　作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮　組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による） (16.1.6)

② アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ Ａ　種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は，１００）
・ Ｂ　種	Ｓ－５	Ａ－４	Ｗ－５	１００
・ Ｃ　種	Ｓ－６			

※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　⊙ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
⊙ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット，断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセット，耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

③ 網戸 (16.2.3)
使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式
⊙防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂
・防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
			富ケ丘北部会館新築工事		A- 3
			図面名称 特記仕様書－２　Scale		

16 建具工事

4．鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(表16.3.1)(表16.3.2)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

建具寸法が(16.3.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.3.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.3.2)に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.3.6)

5．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2～4)(表16.4.1)
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性 ※ Ａ－３ ・
・ 使用しない

戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.6)

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～5)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

表面処理 ・ ＨＬ ・
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦ 木製建具

(16.6.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧ 建具用金物

(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ・ 要 ⊙ 不要 (16.7.4)
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9．自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1～2)
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3)(表16.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
※ 補助センサー併用
・

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10．重量シャッター

(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	（JIS A 4705による強さの区分）	※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。
・ 防煙シャッター				

11．軽量シャッター

(16.11.2～4)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・（JIS A 4705による強さの区分）	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない

12．オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない

⑬ ガラス

(16.13.2)(16.13.3)(表16.13.1)
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ－１類 ・ Ⅱ－２類 ・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能 ・ １類 ・ ２類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン

複層ガラス
性能 ・ １種 ・ ２種
・ ３種（・ Ｕ３－１ ・Ｕ３－２）
・ ４種
封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性 ・ １種 ・ ２種 ・ ３種
耐久性 ・ Ａ類 ・ Ｂ類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側
映像調整 ・ 行う ・ 行わない

ガラスの留め材
※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

14．ガラスブロック（中空）

(16.13.5)

表面形状(JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５	・ １６０×１６０	・ ８０
	・ ２００×２００	・ ３２０×３２０	・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製（表面処理 ） ・ ステンレス製（表面仕上 ）	・ 規定しない ・ 有（ 分間）

17 カーテンウォール工事

1．カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

① 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (18.1.3)

② 素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ (18.2.2～7)

木部	※Ａ種（不透明塗料塗）	※Ｂ種（透明塗料塗）
鉄鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種 ※Ｂ種	・Ｃ種
モルタル・プラスター面	・Ａ種 ※Ｂ種	
コンクリート・ALC面	※Ａ種 ・Ｂ種	
ボード面	※Ａ種（継目処理工法）	※Ｂ種（その他）

③ 錆止め塗料塗り

塗料の種別 (18.3.2)

鉄鋼面	※Ａ種 ※Ｂ種（標準仕様書8節の場合）	
亜鉛めっき鋼面	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種(標準仕様書8節の場合)

(18.3.3)

錆止め塗料塗り		
鉄鋼面	※Ａ種（見え掛り）	※Ｂ種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	※Ａ種（鋼製建具等） ・Ｂ種	※Ｃ種(その他)

④ 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別 ※１種 ・２種 (18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3～5)

鉄鋼面	・Ａ種	※Ｂ種
木部	※Ａ種（屋外）	※Ｂ種（屋内）

⑤ クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.5.2)

6．アクリル樹脂非分散系塗料塗り（屋内）（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り (18.6.2)
コンクリート・モルタル面 ・Ａ種 ※Ｂ種

7．耐候性塗料塗り（屋外）（ＤＰ）

上塗りの等級 (18.7.2～3)(表18.7.1～2)

鉄鋼面	※１級	・２級	・３級
亜鉛めっき鋼面	※１級	・２級	・３級

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 (18.7.4)(表18.7.3)
・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種

8．つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (18.8.2～4)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）
鉄鋼面（屋内） ・Ａ種 ※Ｂ種

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り (18.9.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

10．合成樹脂エマルション模様塗料塗り（屋内）（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り (18.10.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

11．ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り (18.11.2)
・Ａ種 ※Ｂ種

⑫ 木材保護塗料塗り（ＷＰ）

木材保護塗料塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.13.2)

13．マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (18.14.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

19 内装工事

① ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＦＳ・ＴＳ	※無地・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
⊙ 発泡層のあるもの	・ＨＳ・ＫＳ	・	⊙ 2.3	・	・

② 化粧ビニル床シート

JIS Ａ5705のJIS表示認証製品で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＦＳ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3．ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ＫＴ	※300×300	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

4．ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

5．視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	３００×３００

6．ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 (19.2.2)
高さ(mm) ・ ６０ ※ ７５ ・ １００
厚さ(mm) ・ １．５ ※ ２．０

7．カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧ フローリング張り

・単層フローリング (19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※１５ 幅 ７５ ・ 長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※１５ 303×303 ・	・モルタル埋込み工法 ・接着工法	
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・６ ・８ ・９ ・	・接着工法	
・	・	・		

⑨ 畳敷き

・複層フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合１種フローリング ・ 複合２種フローリング ・ 複合３種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ⊙既塗装品
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法（体育館床）	

畳の種別 ・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 (19.6.2)(表19.6.1)
※ Ｃ種 ・ Ｄ種（ ）

⑩ 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)(表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃) 天井 ・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品	25(不燃)	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) 立体模様 ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301
せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁 12.5(準不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄	9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901

せっこうボードの目地処理 ⊙ 継目処理工法 ・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透しＬ工法

11．遮音シール材

・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑫ 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火種別
図示	ビニル	・不燃 ⊙準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

品質は参考商品名である。

⑬ 断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ	・ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（Ａ種）	・２種ｂ ・３種ｂ（スキン層あり）	下記以外 ※ 25 接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ⊙ 50	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	
・ フェノールフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種１ ・	・ ※ 20 ・	JIS A 9526による難燃性・２級 ※３級
・	・	・ ・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※Ａ種押出法２種ｂ	下記以外		
	※Ａ種押出法３種ｂ（スキン層あり）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
⊙ グラスウール保温材	※24Ｋ品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ⊙防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り （重ね100）

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図設計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

設計年月日	調査	設計	工事名称	全業	図面 No
			富ケ丘北部会館新築工事		A- 4
			図面名称 特記仕様書－３ Scale		

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル カーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部　※　一般部分の仕様に準ずる　・　図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　※　なし
・　有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2. 可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類　スタッド式密閉形
構成材の種類　アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
遮音性　３６dB以上
防火性能　不燃

3. 移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性　３６dB以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース (20.2.5)

表面材　メラミン化粧板（標準色）
幅　木　ステンレス製 H=６０
フレーム　アルミ製
扉　厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材　種　ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法　※　接着工法　・　埋込み工法

6. 床目地棒 (20.2.7)

ステンレスＦＢ（SUS304）　t５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

⑦. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式　⊙ 平面　・ 曲面

⑧. 鏡 (20.2.9)

耐湿鏡　ｔ＝５　ステンレスフレーム付き

⑨. 表　示 (20.2.10)

衝突防止表示　ステンレス製　ＨＬ仕上げ　Φ３０程度　市販品
誘導標識　市販品
室名札

10. 煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材　安全使用温度　４００℃

11. ブラインド (20.2.12)

形　式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式・コード式	※ ２本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ ２５ ・	・ ８０ ・ １００

12. ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式　・ スプリング式　※ チェーン式　・電動式
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

⑬ カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひ だ の 種 類	形　式	引分け装置
ドレープ ｼﾝｺｰﾙ　ｲｵｽG同等	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ⊙引分け	※手引　・ひも引 ・電動
レース ｼﾝｺｰﾙ TA-4598同等	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ⊙引分け	※手引　・ひも引 ・電動

⑭ カーテンレール (20.2.14)

材　質　※ ステンレス製　・ アルミニウム製
形　状　※ Ｄ型又は角型　・ Ｃ型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種

⑯ 点　検　口

施工箇所	材　種	寸　法	形　式
天　井	※ アルミニウム製 ・	※ ４５０×４５０ ・ ６００×６００	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

17. くつふきマット

材　種	受　わ　く
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱ ステンレス流し台

※ ＢＬ商品（システム　※ Ａ－１型 ）トラップ付
・

⑲ コンロ台

※ ＢＬ商品（システム　※ Ａ－１型 ）バックガード（※有 ・無）
・

20. つり戸棚

※ ＢＬ商品（システム　※ Ａ－１型 ）
・

21. 水切棚

※ １段　・ ２段　・

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品　彫り込みタイプ既製品

23. 旗　竿

形　式　※ テーパー式　・ 同一断面式　Ｈ＝
材　種　※ アルミニウム合金　・　m
操作方式　※ ハンドル式　・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品　アルミニウム製枠　表面発泡シート張り

㉕ 視覚障害者用誘導ブロック

屋　外　※ コンクリート製　⊙ 磁器質タイル
（※ １００角 ・ １５０角）

㉖ 出隅面取材

材　種　※ アルミニウム合金製　・
高　さ　※ 天井まで　・ １.８m程度

27. かぎ箱

市販品　フック数（本）　・ ３０　・ ４０
・ ６０　・ １００　・

㉘ 身障者用可動手すり

㉙ 消火器ボックス

鋼製　既製品

㉚ ピクチャーレール

アルミ製　既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物（4ｾｯﾄ／m）共

㉛ 郵便受

図示

21 排水工事

1. グレーチング (21.2.2)

※ 鋼製　・ ステンレス製

2. 鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

22 舗装工

① 再　生　材 (22.1.3)

※ 使用する　・ 使用しない

2. 盛土材料 (22.2.3)

路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料 (22.2.2)(22.2.3)

遮　断　層　※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

路床安定処理添加材料
※ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントＢ種
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・１号）　・ 消石灰（・特号　・１号）

⑤. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験 (22.2.5)

※ 行わない　・ 行う（※ 乱した土　・ 乱さない土）

⑥. 路床締固め度の試験 (22.2.5)

※ 行わない　・ 行う

⑦. 砂の粒度試験 (22.2.5)

※ 行わない　・ 行う

8. 路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3)

※ 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０
（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン　Ｃ－４０
・ クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

⑨. 路盤の締固め度の試験 (22.3.5)

※ 行わない　・ 行う

10. アスファルト舗装 (22.4.4)(表22.4.6)

加熱アスファルト混合物の種類

表　層	※	再生密粒度アスファルト混合物（１３）
	・	密粒度アスファルト混合物（１３）
	・	細粒度アスファルト混合物（１３）
	・	
基　層	※	再生粗粒度アスファルト混合物（２０）
	・	粗粒度アスファルト混合物（２０）
	・	

アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

⑪ コンクリート舗装 (22.5.3)

早強セメント　・ 使用する　※ 使用しない
溶接金網　※ あり　・ なし

コンクリート版の厚さの試験 (22.5.6)

・ 行う　※ 行わない

12. カラー舗装 (22.6.2)

種　類		部　位	厚　さ
加熱系	※ アスファルト混合物	・ 車道部　・ 歩道部	・ ３０
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部　・ 歩道部	・ ５０
常温系	・ 樹脂系混合物	・ 車道部　・ 歩道部	・
	・ ニート工法	・ 車道部　・ 歩道部	・
	・ 塗布工法	・ 車道部　・ 歩道部	・

着色骨材・自然石（　） (22.6.3)

⑬ ブロック系舗装 (22.9.2)(表22.9.1)

・ コンクリート平板舗装　※ 砂目地　・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装　基　層　※ コンクリート舗装　・ アスファルト舗装

14. 縁石及び側溝 (22.10.2)

地業の材料　・再生クラッシャラン　・

⑮ 砂利敷き (22.11.2)

・ Ａ種　※ Ｂ種　・

16. 区　画　線

※ ＪＩＳＫ５６６５　３種１号
・

23 植栽工事

1. 植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認　※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験　・ 行う ※ 行わない

②. 植栽基盤 (23.2.2)(表23.2.2)

・ 適用する　※ 適用しない

種　別	樹　種　等	植栽基盤の適用
・ Ａ種	樹木	・ 適用する　※ 適用しない
・ Ｂ種	芝，地被類木	※ 適用する　・ 適用しない
・ Ｃ種		
・ Ｄ種		

3. 植込み用土 (23.2.3)

※ 現場発生の良質土　・ 客土

4. 土壌改良材 (23.2.3)

※ 適用する　・ 適用しない
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

5. 芝 (23.4.2)

種　別　※ こうらい芝の類　・ 野芝の類

6. 屋上緑化 (23.5.2)(23.5.3)

工　法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ ６ｃｍ ・ １２ｃｍ ・ ３０ｃｍ	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材 ・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

24 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定仕様書

1. 一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1），2）の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3. 測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	870 μg/m3	0.20 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m3	0.02 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m3	0.0076 ppm
⑫クロルピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400 μg/m3	（暫定目標値）

4. 測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・ 室名：集会室・調理室

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・ 室名：
・ 屋外（周囲の建物から離れた場所１か所）

5. 測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度（屋外，室内），天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他

表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
			富ケ丘北部会館新築工事		A- 5
			図面名称 特記仕様書－４　Scale		

各工事の区分表

工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○			
工場製作間仕切及び同左の天井，床，各種設備器具の穴開け，取付枠及び補強								
天井付各種設備器具の穴開け，取付枠及び補強・補修	※	○	○	○				※下地補強のみ建築
設備関係諸室のシンダーコンクリート	○							
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○							
同上　仕上（防水）	○							
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ，埋込み		○	○	○				
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※						※煙感からの信号、１次配線
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整			○					ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ除く
同上ダクト接続				○				
同上電源用配管，配線及び接続		○						
ユニットバス（ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ含む以下同じ）墨出し及び据付工事	○							
浴槽及び据付	○							浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○							
同上廻りシーリング打ち	○							
同上への配線及び配管接続		○	○					※１次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事	○							
同上への配管接続			○					
吊戸棚，水切棚及び取付（バックガード共）	○							
同上への照明用電源配線及び接続		○						
洗面台及び据付			○					
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○							
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
洗濯パン			○					
設備機器用スリーブ，給気用スリーブ及び取付			○	○				
ダクト用ベントキャップ及び取付				○				
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○							設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付，配線		※		○				※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付				○				
床暖房工事	※1	※2	※2					※１仕上げは建築　※２電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器			○					
同上表示及び収納箱	○							
各種配管，ダクトの雨掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○	○				
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック	○							
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板					○			
三方枠廻りのノロ詰め					○			
エレベーター機械室床，穴開け復旧工事	○							
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○							
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○							
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）						○		
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ、アンカーボルト取付工事		○						
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※				※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○		※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）						○		
同上照明器具及び接続		○						
プロパンボンベ庫	○	※	※					
同上配管工事			○					
便所の目皿・手摺り	○							便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○					
手洗い乾燥機			○					
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※		○					※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場，歩道工事						○		
雨水排水側溝設置工事						○		
同上排水管接続			○					

	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構			備考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金，	○	○	○	○	○	○			
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○			
3	１，２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○			
4	上下水道・ガス・電気等の加入金，負担金								○	

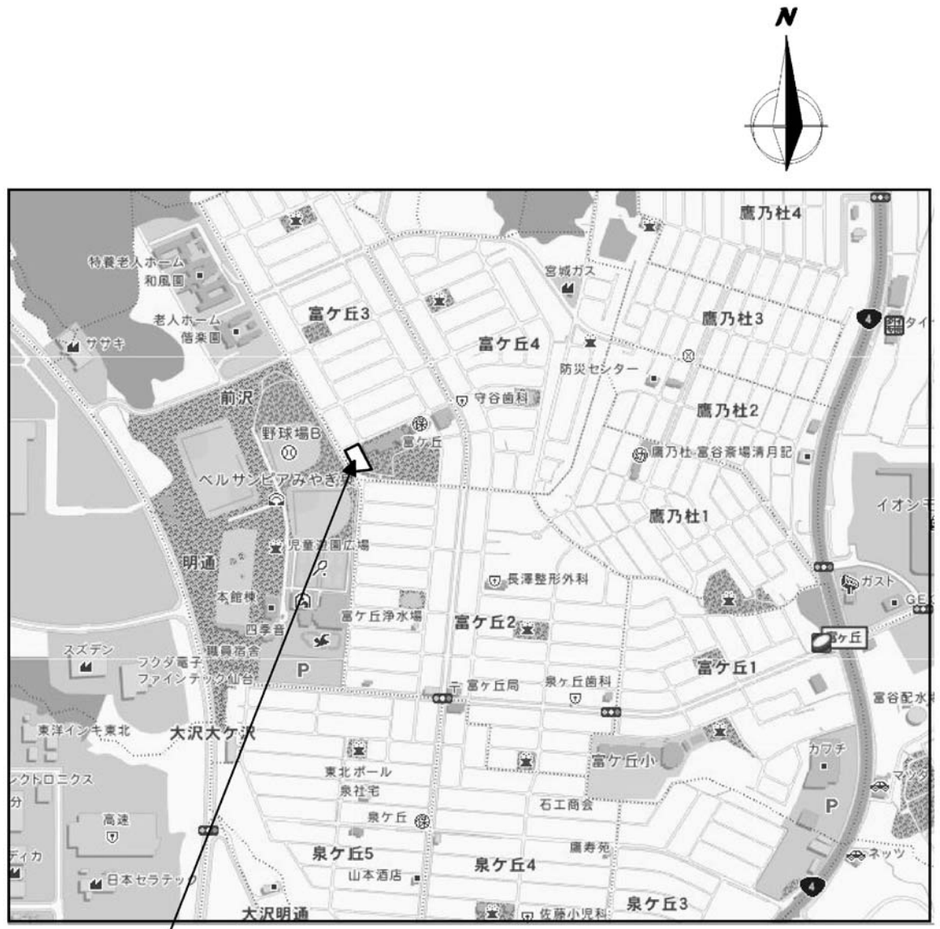
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

設計年月日	調査	設計	工事名称	全業	図面 No
			富ケ丘北部会館新築工事		
			図面名称 各工事の区分表　Scale		A- 6

計画概要

工事名称	平成２６年度 富ケ丘北部会館新築工事	
建築主	住所	黒川郡富谷町字坂松田３０
	氏名	富谷町長　若生 英俊
敷地概要	地名地番	宮城県黒川郡富谷町富ケ丘三丁目１－３９８の一部
	住居表示	
	都市計画区域	都市計画区域内
	用途地域	第二種中高層住居専用地域
	防火地域	指定無し（法２２条地域）
	指定建坪率	６０％
	指定容積率	２００％
	高さ制限	指定無し
	日影規制	指定無し
	外壁の後退	指定無し
	風致地区	指定無し
	その他の指定	無し
	上水道	富谷町上水道（取り出し無し）
	下水道	富谷町下水道（取り出し無し）
	前面道路	北側前面道路 6.0m 接道長さ 23.3m 西側前面道路 6.0m 接道長さ46.78m
	敷地面積	1180.57㎡（357.12坪）
建物概要	建物用途	地区集会所
	構造	木造在来軸組工法
	階数	地上１階
	最高の高さ	6.9m
	軒の高さ	4.05m
	建築面積	299.77㎡（90.68坪）
	床面積	264.99㎡（80.16坪）
	建坪率	25.39%
	容積率	22.44%

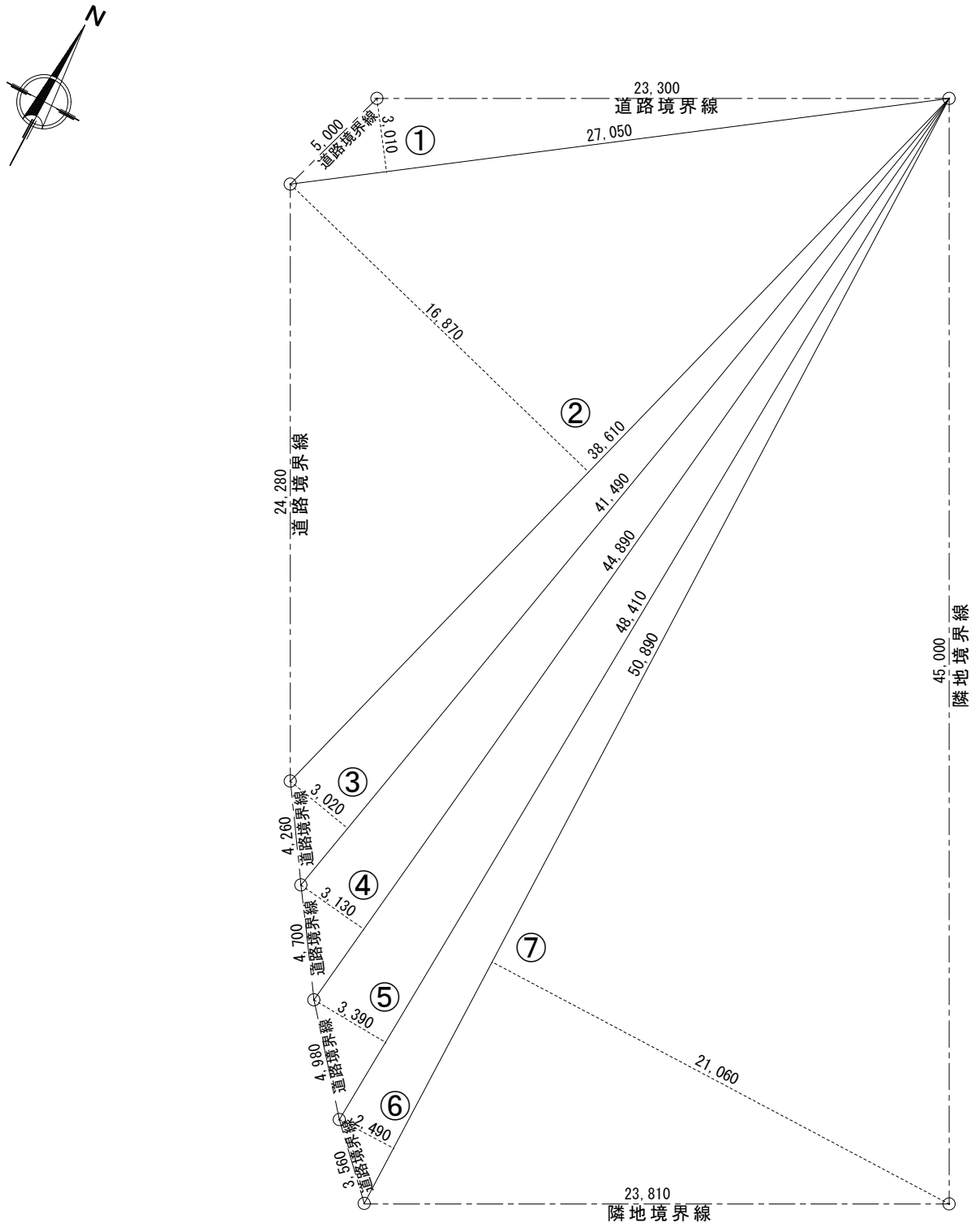
案内図



宮城県黒川郡富谷町富ケ丘三丁目１-398の一部

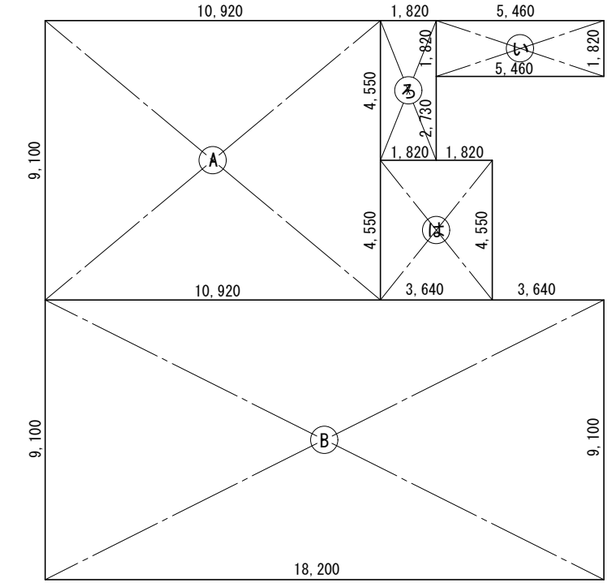
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/	計画概要、案内図
	A- 7



敷地面積求積図 S=1/250

敷地面積算定表				
番号	底辺 (m)	高さ (m)	× 1/2	計 (㎡)
①	27.05	3.01	1/2	40.71025
②	38.61	16.87	1/2	325.67535
③	41.49	3.02	1/2	62.64990
④	44.89	3.13	1/2	70.25285
⑤	48.41	3.39	1/2	82.05495
⑥	50.89	2.49	1/2	63.35805
⑦	50.89	21.06	1/2	535.87170
小計				1,180.57305
合計				1,180.57 ㎡



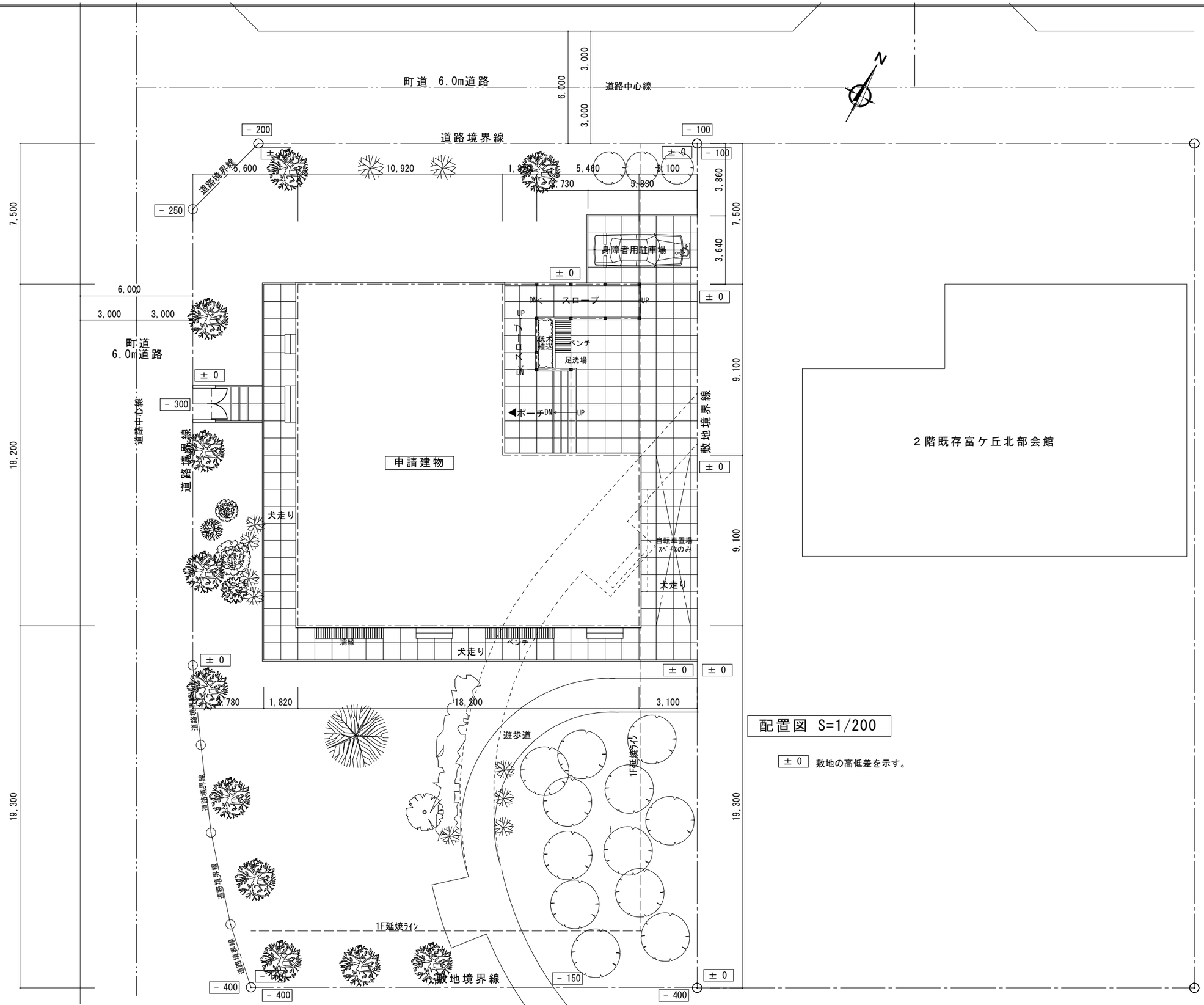
平面図 S=1/200

床面積算定表		
番号	計算式	面積
Ⓐ	10.92 * 9.10	99.372
Ⓑ	18.20 * 9.10	165.620
小計		264.992
計		264.99 ㎡ ―― Ⓧ
		80.16 坪

建築面積算定表		
番号	計算式	面積
Ⓧ		264.99 ㎡ ―― Ⓧ
Ⓘ	5.46 * 1.82	9.9372
Ⓡ	4.55 * 1.82	8.281
Ⓗ	3.64 * 4.55	16.562
小計		299.7702
計		299.77 ㎡ ―― Ⓨ
		90.68 坪

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/250	敷地面積求積図 床面積・建築面積求積図
	A- 8



配置図 S=1/200

± 0 敷地の高低差を示す。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/200	配置図
	A- 9

外部仕上

部　位	仕　上	下　地	準防火地域の場合
屋　根 （通気工法）	ガルバリウム塗装鋼板(ｱ)0.40mm横葺き　　換気棟材 破風･鼻隠：杉板　24×150　屋根同材包み 棟押・雨押：雪止め 軒樋：塩ビ製（鋼製心）φ100半円　竪樋：同左φ60	下葺：構造用合板12mm(特類)千鳥張り＋ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22Kg品張り 垂木：45×90@455(杉)　破風・鼻隠：24×60　24×150（杉）	
軒　裏	t6カラー防火ライト張り(一部t6有孔カラー防火ライト張り)		延焼のおそれのある部分：防火軒天材12mm　無孔板(QF030RS-0154)同等品 一部防火有孔板(QF030RS-0155)同等品
外　壁	腰壁 防火窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16mm(縦張り 板木目　　) 壁 防火窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16mm(平柄) 土台水切（防鼠材あり）　その他専用止め金具 水切：ガルバリウム鋼板0.4mm加工	t100グラスウール16K(表面加工品)＋ 構造用構造用合板12mm張り＋ 透湿防水シート ＋　サイディング用通気金具止め	
基　礎	見え掛り：コンクリート打ち放しｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ補修塗り		
ポーチ	床・洗い出し仕上げ　　手摺(市販品) 天井・t6カラー防火ライト張り(一部t6有孔カラー防火ライト張り)	モルタル下地	
スロープ	床・洗い出し仕上げ　　手摺(市販品) 天井・窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ14mm(木目調張り)　木部現しキシラデコール塗り	モルタル下地	
障害者用駐車場 自転車置場　犬走り	洗い出し仕上げ　　（駐車場のみ車止めブロック有り）	モルタル下地	
開 口 部	玄関ドア：断熱玄関片引戸（ｋ２仕様）H2330 サッシ：住宅用アルミ樹脂一体　複層ガラス断熱サッシ（3-A12-3）		延焼のおそれのある部分の開口部は防火設備とする （認定番号EB-9117　EB-9117）複層ガラス

構造概要

	仕　様
地盤改良	（地盤調査により地盤改良が必要な場合は別途工事とする。）
基　礎	べた基礎 / 底版厚 / 基礎幅 / 立上り / 根入れ / 基礎天端 / 使用鉄筋 ＲＣ造 / 150 / 150 / 350 / 設計GL－500 / 設計GL＋400 / SD295A　D13
躯　体	木造（在来軸組工法）　柱：120×120(杉)
屋　根	屋根通気工法　3/10勾配
外　壁	外壁通気工法
床　下	土台：120×120(加圧式防腐防蟻材)米栂　大引：90*90　120*120(米栂) ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ束@910
１階床組	（ネダレス）構造用合板28mm（実付）　釘N75　@150川の字打ち
防蟻・防腐	構造耐力上主要な部分の地盤面から１ｍ以内木材保護塗料塗装

内部仕上

室　名		床 仕上 / 下地	厚	巾木 仕上 / 高さ	腰壁 仕上 / 下地	厚	壁 仕上 / 下地	厚	廻り縁 仕上	天井 仕上 / 下地	厚	ＣＨ 高さ	備考
１階	玄関	ｺﾝｸﾘｰﾄ洗い出し仕上げ		磁器質ﾀｲﾙ			ビニルクロス		木製既製品 30*30	ビニルクロス		2,700	上り框・下駄箱・掲示板900*1800
		ｺﾝｸﾘｰﾄ増し打ち	100	100			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		木製ベンチ・手摺・傘立
	ホール・廊下	フローリング張り	12	ソフト巾木			ビニルクロス		木製既製品 30*30	ビニルクロス		2,700	手摺
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	集会室	フローリング張り	12	t=15杉板	H=900杉板実継ぎ張りOSCL	12	ビニルクロス		木製既製品 30*30	ロックウール化粧吸音板張り		2,850	室名札・可動式ベンチ　箇所・木製カーテンボックス カーテンレール（Ｗ）・額縁受・紅白幕用ﾌｯｸ金物 ピクチャーレール・遮光１級カーテン・レースカーテン
		構造用合板(実付け)	28	100	石膏ボード	12.5	石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	和室18帖	畳敷き	50	t=12杉板			ビニルクロス		杉材 30*30	化粧しな合板化粧目地仕上	6	2,700	室名札 ・炉
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	水屋付き床	フローリング張り	12	t=12杉板	H=450化粧杉板合板張り	6.0	ビニルクロス		杉材 30*30	化粧しな合板化粧目地仕上	6	2,700	
		構造用合板(実付け)	28	60	石膏ボード	12.5	石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	押入	ラワン合板張り	12	雑巾摺り			押入用石膏ボード	9.5	塩ビ製	押入用石膏ボード	9.5	2,400	中段棚・枕棚
		構造用合板(実付け)	28	15									
	踏込	フローリング張り	12	t=12杉板			ビニルクロス		杉材 30*30	化粧しな合板化粧目地仕上	6	2,850	スリッパ置場２箇所
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	調理室	クッションフロアー貼り	2.3	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	ビニルクロス		2,700	室名札・食器棚２箇所・システムキッチン
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		レンジﾌｰﾄﾞ・木製ブラインドBOX・ブラインド
	和室4.5帖	フローリング張り	12	t=12杉板			ビニルクロス		塩ビ製	ビニルクロス		2,400	室名札　t15畳マット900角
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	押入・物入	ラワン合板張り	12	雑巾摺り			押入用石膏ボード	9.5	塩ビ製	押入用石膏ボード	9.5	2,400	中段棚・枕棚
		構造用合板(実付け)	28	15									
	印刷室	フローリング張り	12	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	ビニルクロス		2,400	木製棚 ・室 名札 ・ 小屋裏用スライド梯子
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	掃除具入	長尺塩ビシート貼り	2	ソフト巾木			ｹｲｶﾙ板 EP	6	塩ビ製	化粧石膏ボード張り	9	2,400	室名札・ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			耐水合板	12					
	物入	長尺塩ビシート貼り	2	ソフト巾木			ｹｲｶﾙ板 EP	6	塩ビ製	化粧石膏ボード張り	9	2,400	室名札・枕棚
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			耐水合板	12					
	多目的便所	長尺塩ビシート貼り	2	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	化粧石膏ボード張り	9	2,400	室名札・手摺
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			耐水石膏ボード（継目処理）	12.5					ベビーチェアー・ベビーシート
	男子便所	長尺塩ビシート貼り	2	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	化粧石膏ボード張り	9	2,400	室名札・手摺
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			耐水石膏ボード（継目処理）	12.5					
	女子便所	長尺塩ビシート貼り	2	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	化粧石膏ボード張り	9	2,400	室名札・手摺
		構造用合板(実付け) ＋ 耐水合板	28+12	60			耐水石膏ボード（継目処理）	12.5					
	倉庫	フローリング張り	12	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	ビニルクロス		2,400	室名札・木製棚
		構造用合板(実付け)	28	60			石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		
	小屋裏倉庫	フローリング張り	12	ソフト巾木			ビニルクロス		塩ビ製	ビニルクロス		1,400	木製棚 ・ スライド梯子
		構造用合板(実付け)	28	60			耐水石膏ボード（継目処理）	12.5		石膏ボード（継目処理）	9.5		

断熱・防湿仕様

部　位	仕　様
屋根下 天井裏	t100グラスウール16K(表面加工品)充填
外　壁	t100グラスウール16K(表面加工品)充填
１階床	t50押し出しポリスチレンフォーム３種断熱材
基礎下	ポリエチレンフィルム0.15mm敷設　重ね幅300mm以上
貫通部	現場発泡材充填
サッシ廻り	現場発泡材充填　　防水気密テープ

シックハウス対策

① 内装仕上制限：仕上材は全て新上位規格F-4☆印材を使用の事。
（断熱材・調理台・食器棚類・建具・その他造作家具類を含む。）

② 居室は２４時間換気(換気回数0.5/時)とする。　別図参照

③ クロルピリホスを添加した建材は全て使用禁止とする。

④ ホルムアルデヒドの発散建材は全て使用禁止とする。

⑤ 天井裏等の制限：全て制限を受けない材料(上記)とする。(下地材・断熱材等)

その他　特記事項

■サウンディング調査を行う事。（調査結果により基礎の変更又は、地盤改良有り。）
■内外部とも木部見掛りは木材保護塗料塗装とする。（指定以外）
■ホルムアルデヒド放散量
　屋内(天井裏、小屋裏、壁内、床下を含む)に使用する建材
　(合板、集成材、接着剤、塗料、家具、建具、住設機器、設備等)はすべてＦ☆☆☆☆
　又は、規制対象外（天然材料等）とする。

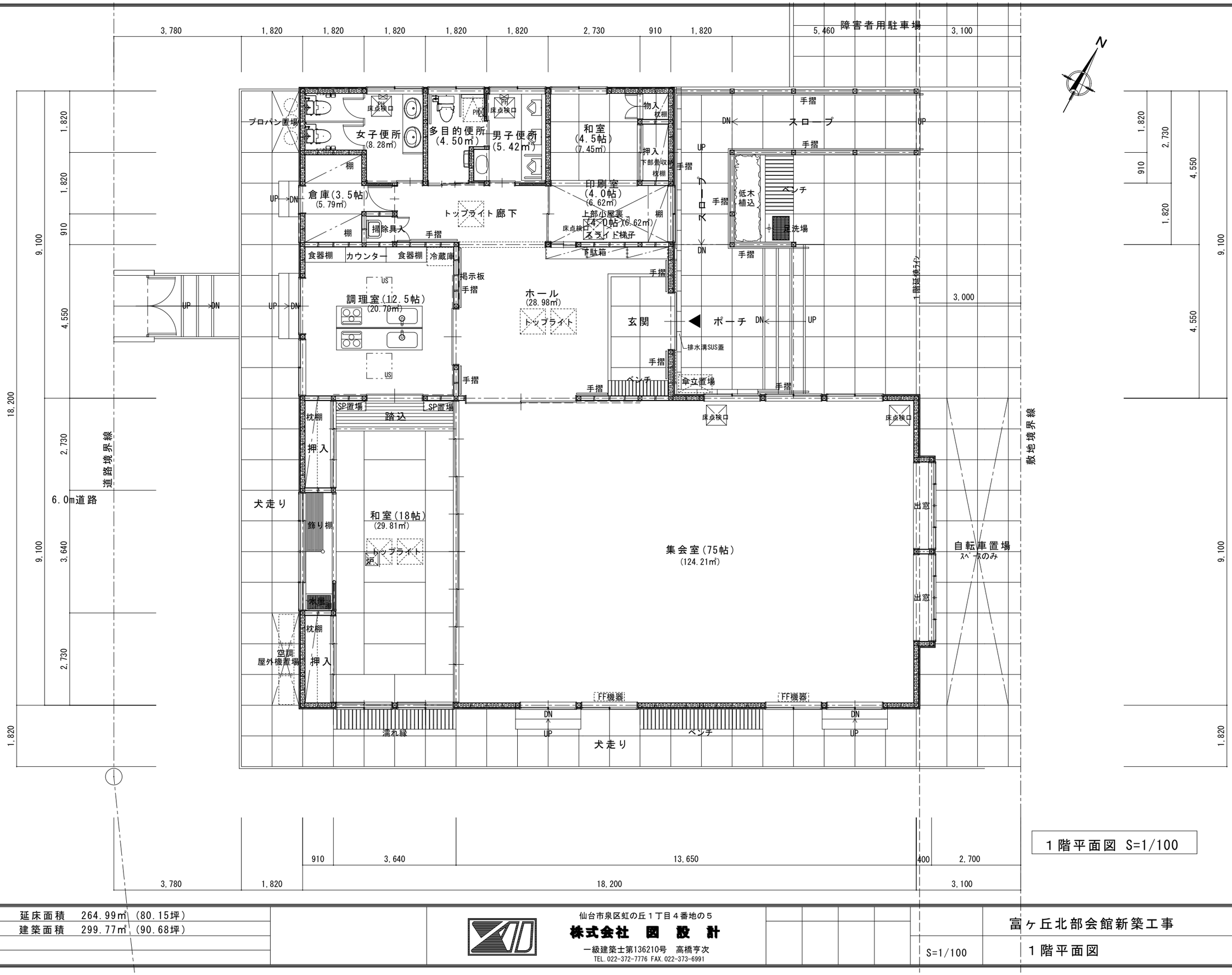
■最新版「官房官庁監修木造工事共通仕様書」を適用
■最新版　長期優良住宅編を適用

使用建材認定番号

- 石膏ボード（t12.5 , t9.5）　準不燃　QM-9826
- 耐水石膏ボード（t12.5 , t9.5）　準不燃　QM-9826
- ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ　準不燃　QM-9448
- 屋根ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板　不燃　NM-8697
- 外壁t14窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ　準耐火　QF060BE-9225
- 軒天耐火ボード　準耐火　QF045RS-9122

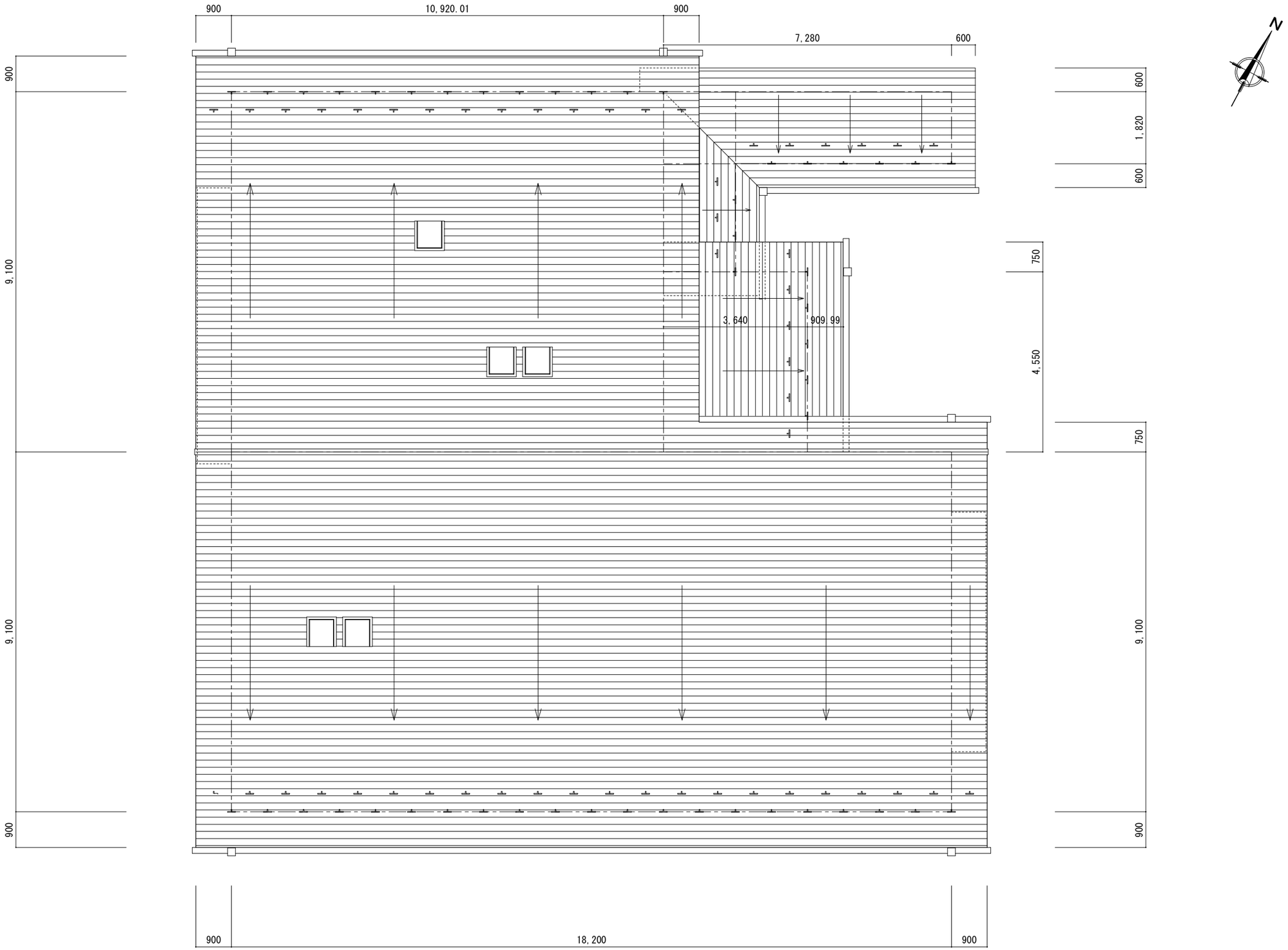
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/	仕上表
	A-10



1階平面図 S=1/100

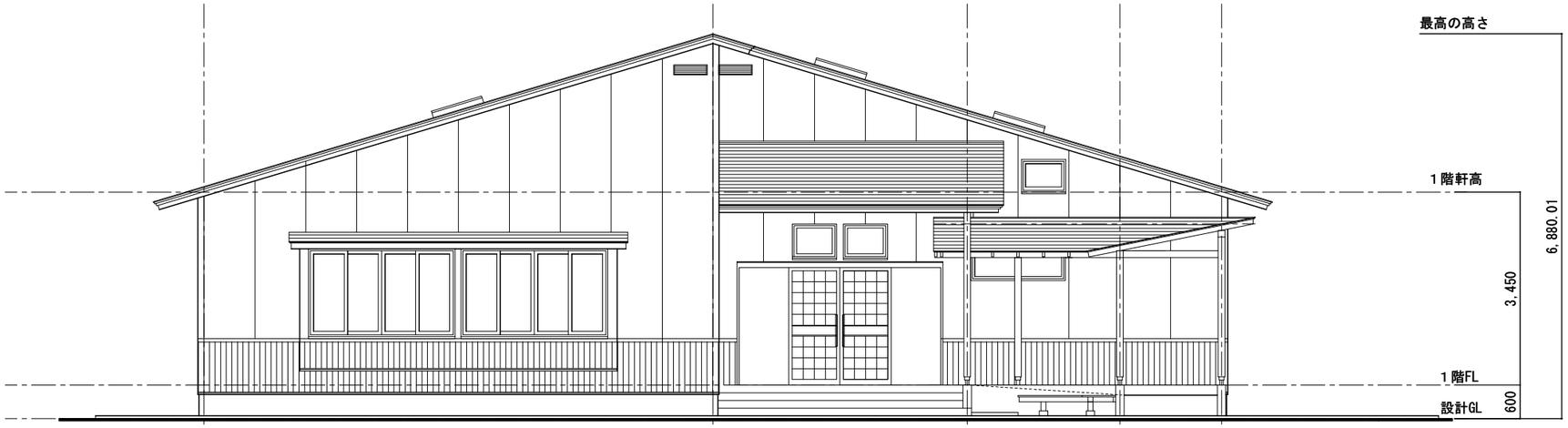
延床面積　264.99㎡（80.15坪）		仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５			富ヶ丘北部会館新築工事
建築面積　299.77㎡（90.68坪）		株式会社　図　設　計		S=1/100	1階平面図
		一級建築士第136210号　高橋亨次			A-11
		TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991			



屋根平面図 S=1/100

			仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５ **株式会社　図　設　計** 一級建築士第136210号　高橋亨次 TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991						富ヶ丘北部会館新築工事	
								S=1/100	屋根平面図	A-12

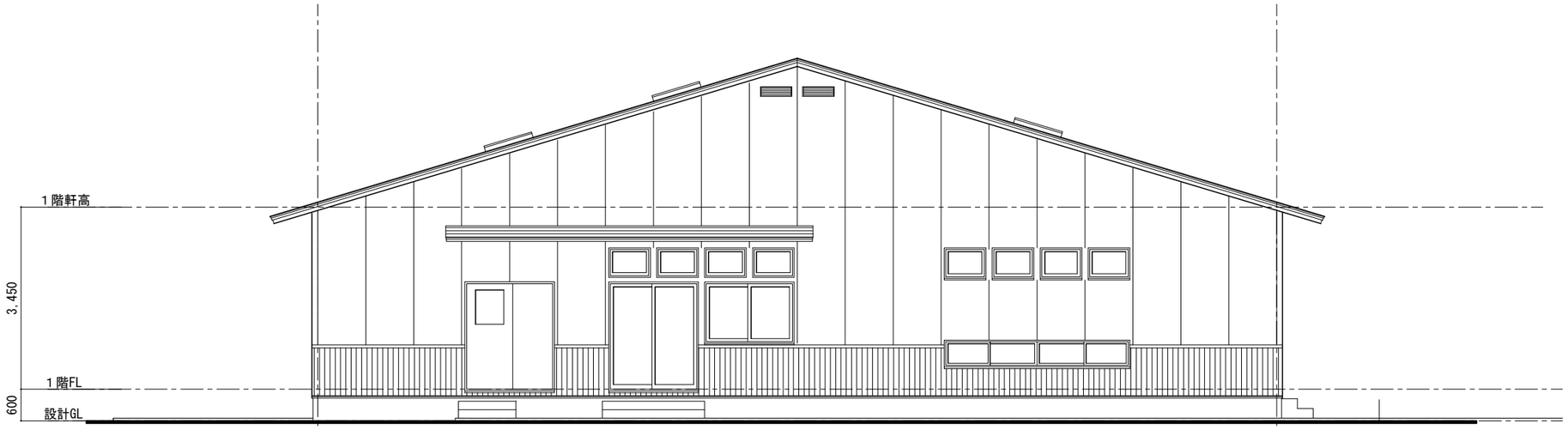
南側立面図 S=1/100



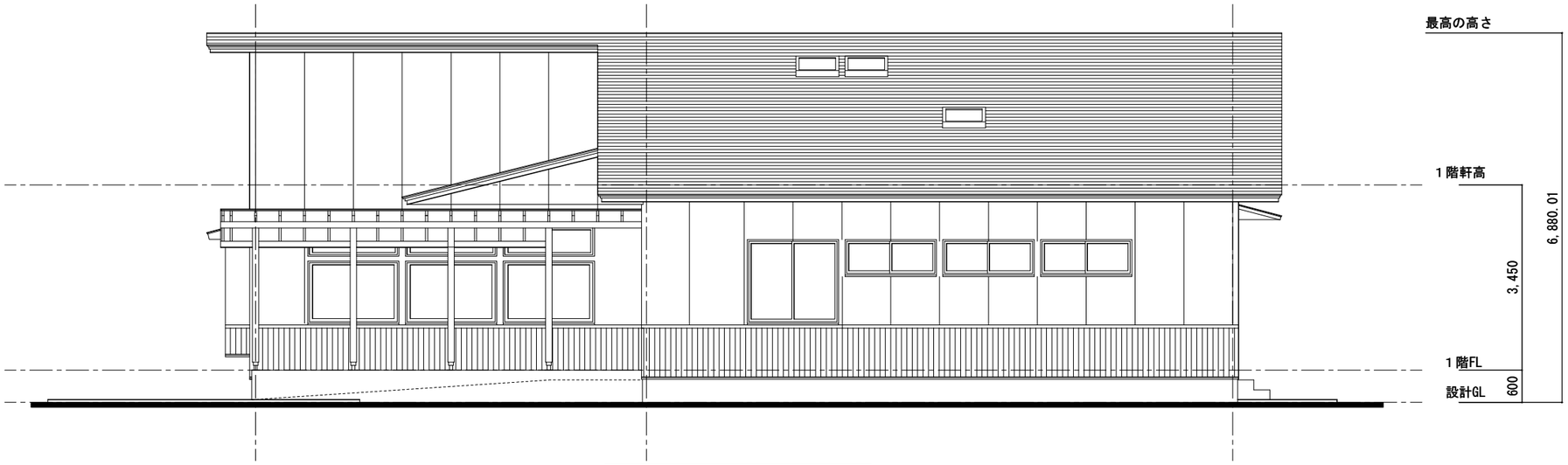
東側立面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事
	南側・東側立面図
	A-13



西側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

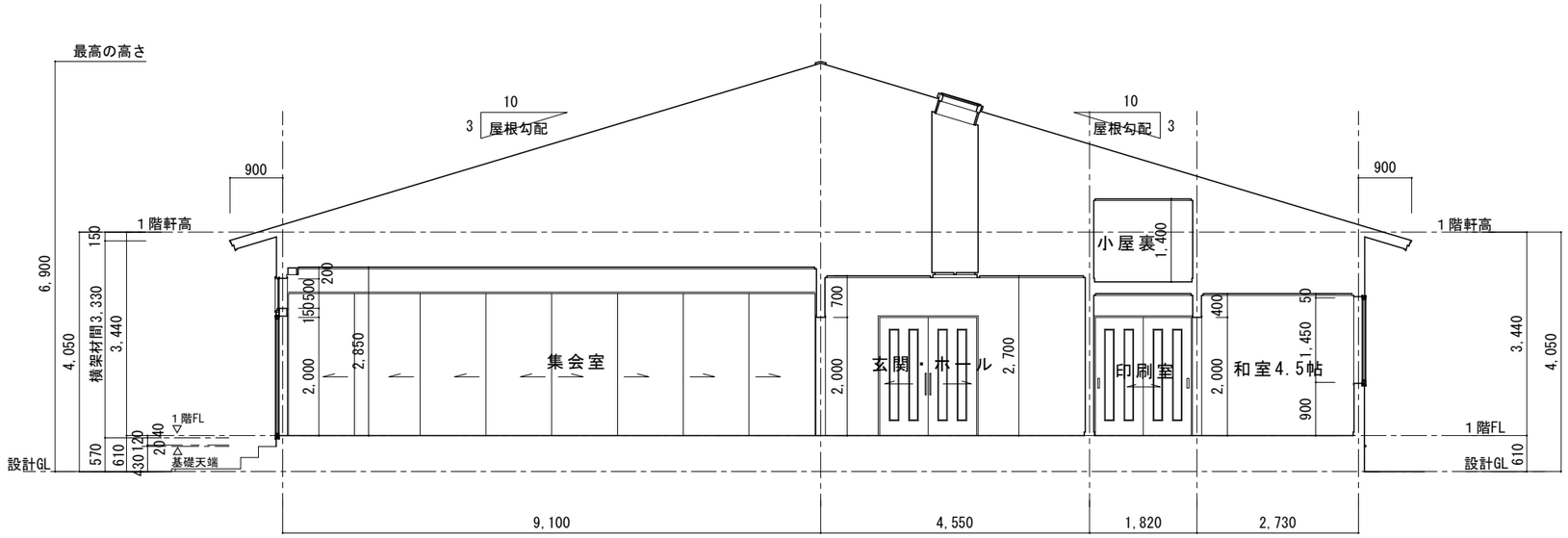
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/

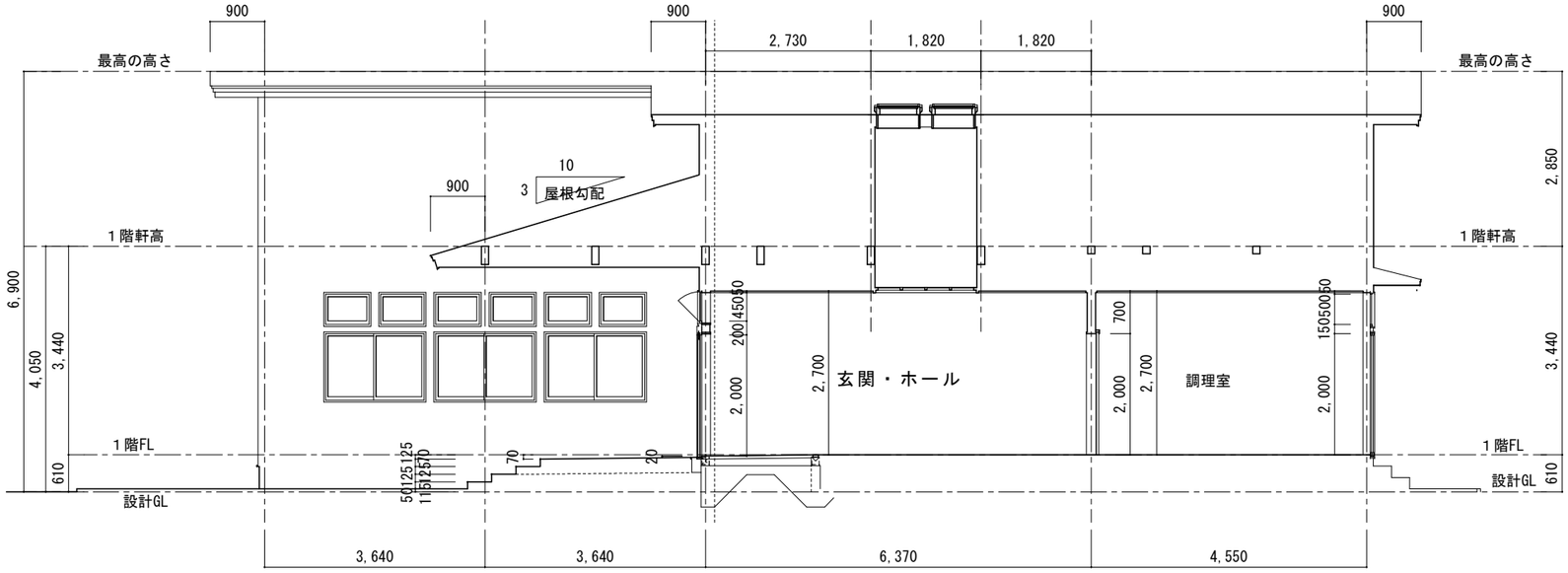
富ヶ丘北部会館新築工事

西側・北側立面図

A-14



Y方向断面図 S=1/100

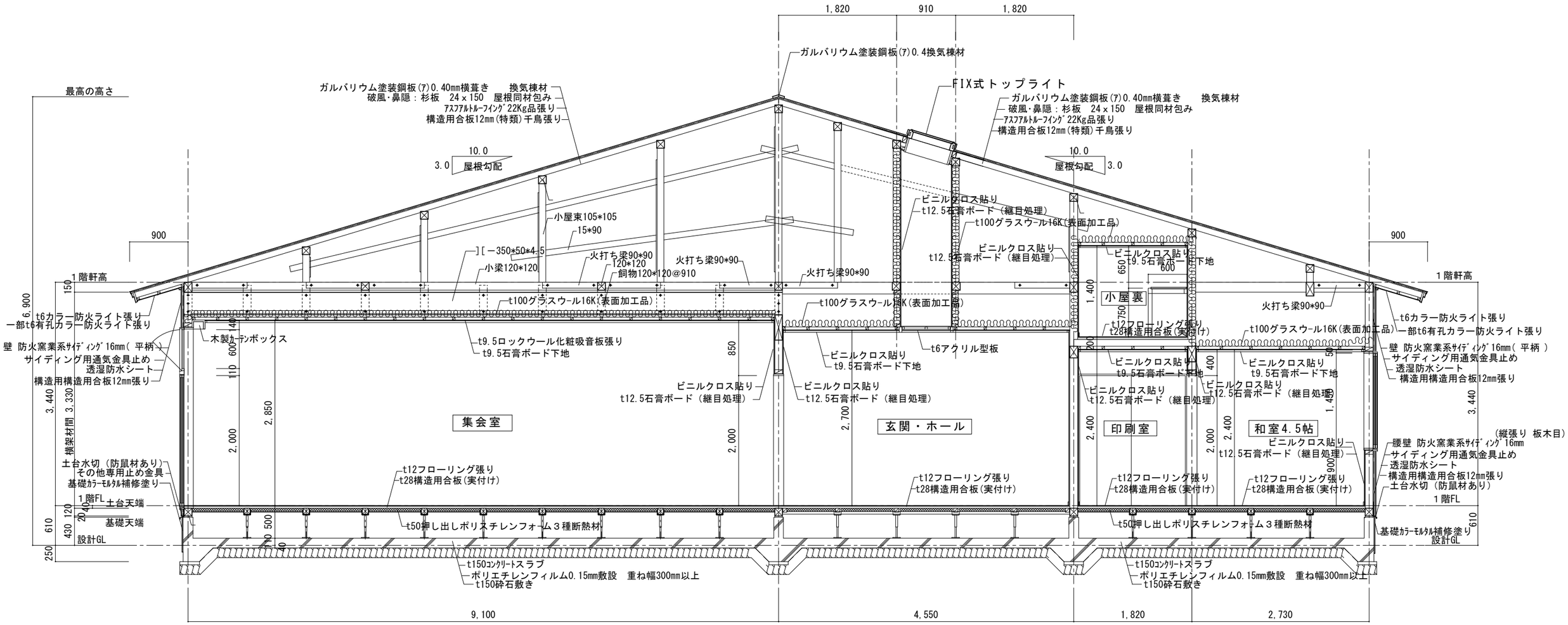


X方向断面図 S=1/100

Y方向断面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/100	断面図
	A-15

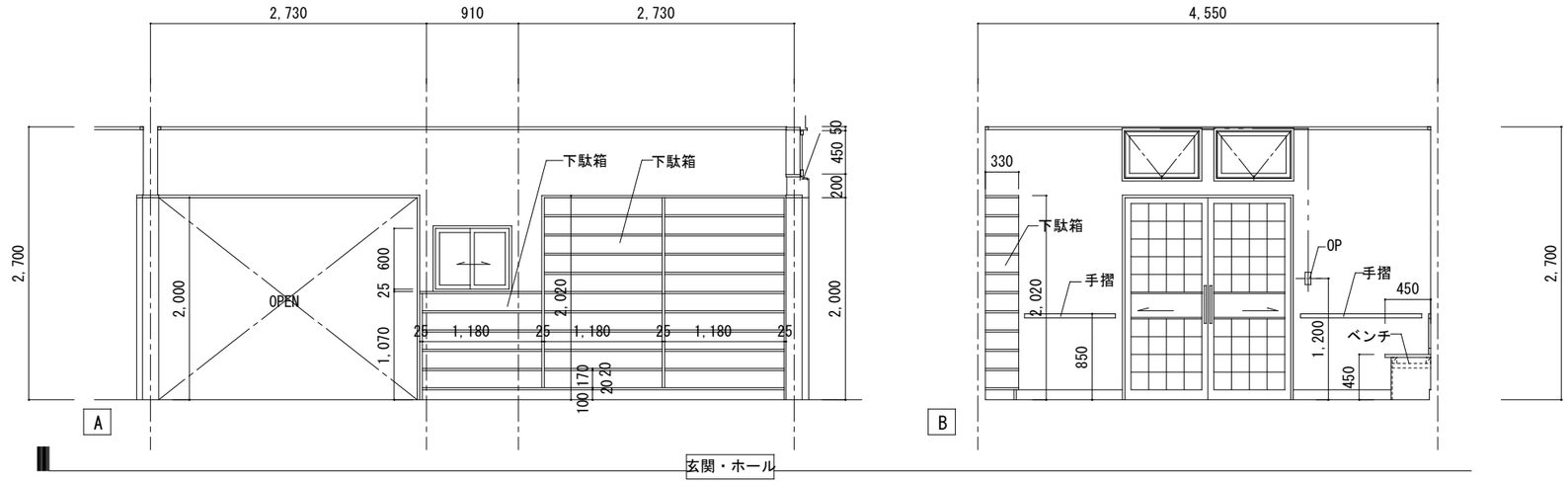


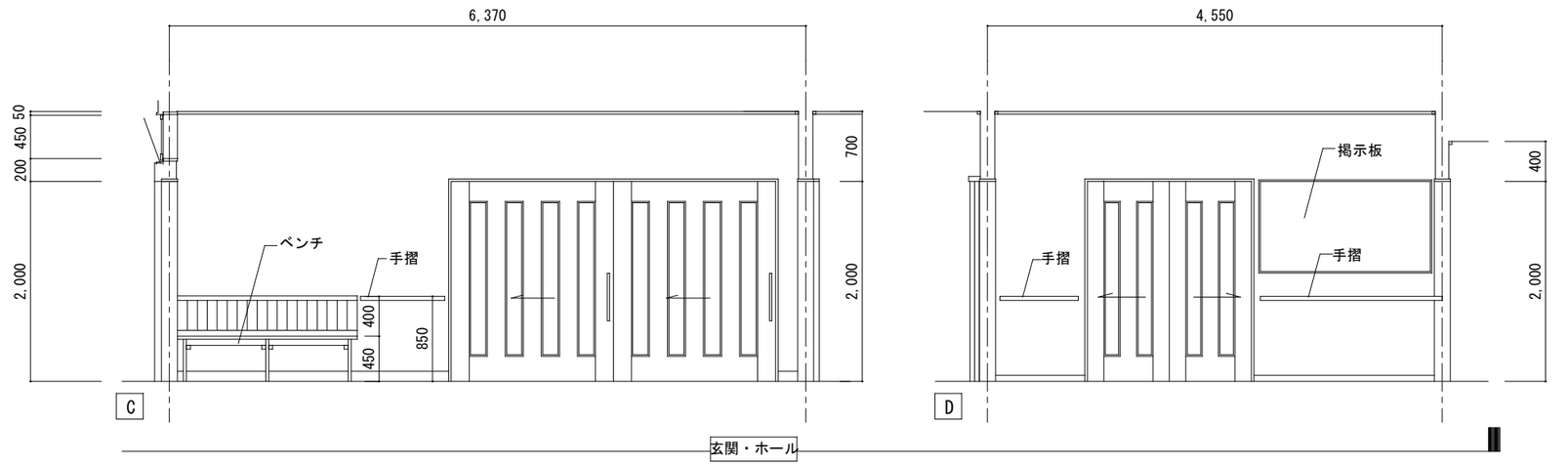
矩計図 S=1/60

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

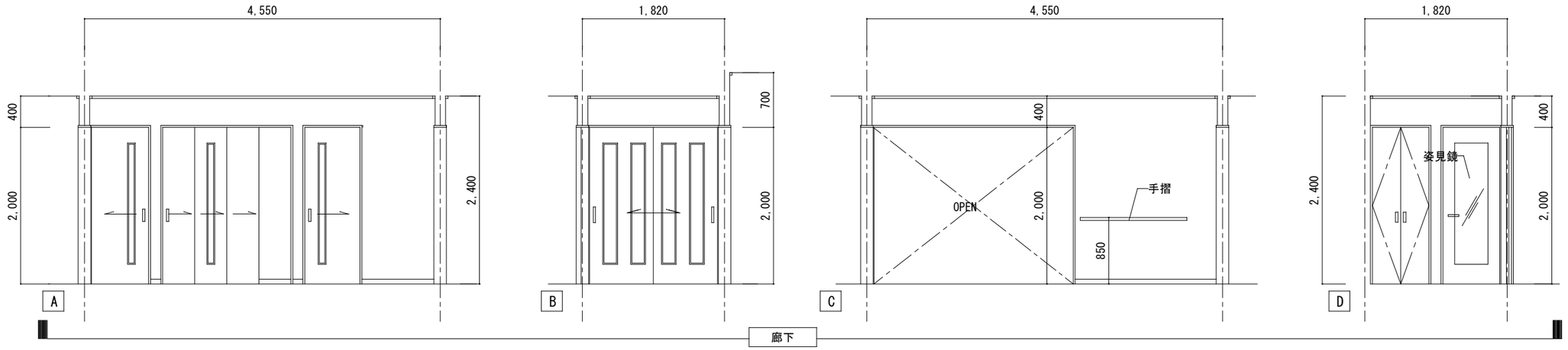
富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/60	矩計図
	A-16

室名	玄関・ホール
床	洗い出し仕上・t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	ソフト巾木・磁器質ﾀｲﾙ貼りH=100
腰壁	―――
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	ビニールｸﾛｽ貼り
廻縁	木製既製品30*30
備考	トップライト　下駄箱　　手摺
	ベンチ　掲示板





室名	廊下
床	t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	ビニールｸﾛｽ貼り
廻縁	木製既製品30*30
備考	トップライト　手摺　姿見鏡



仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776　FAX. 022-373-6991

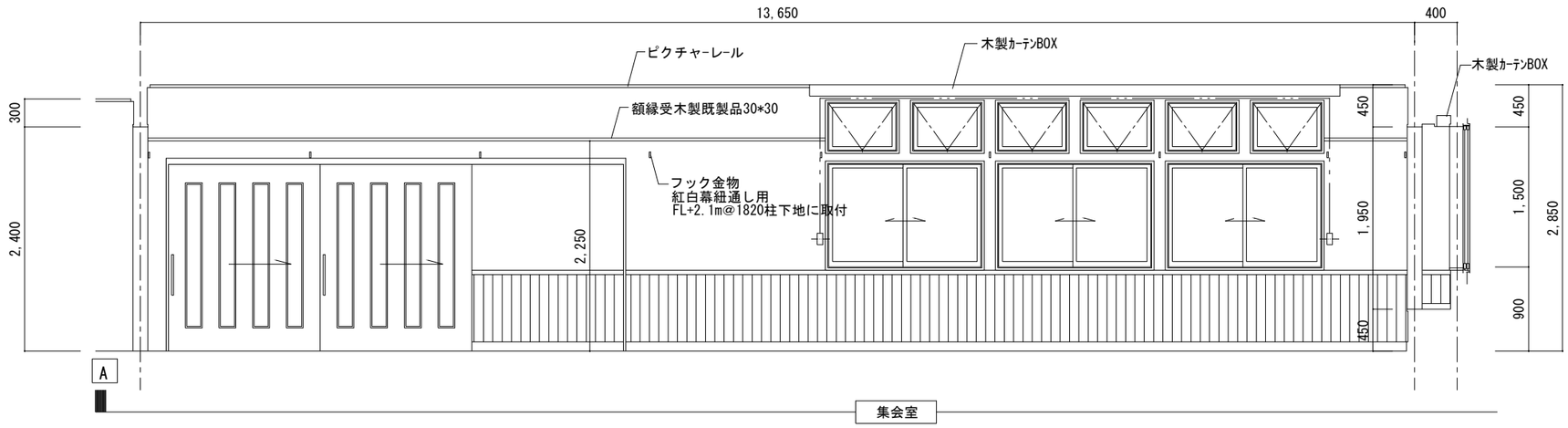
S=1/60

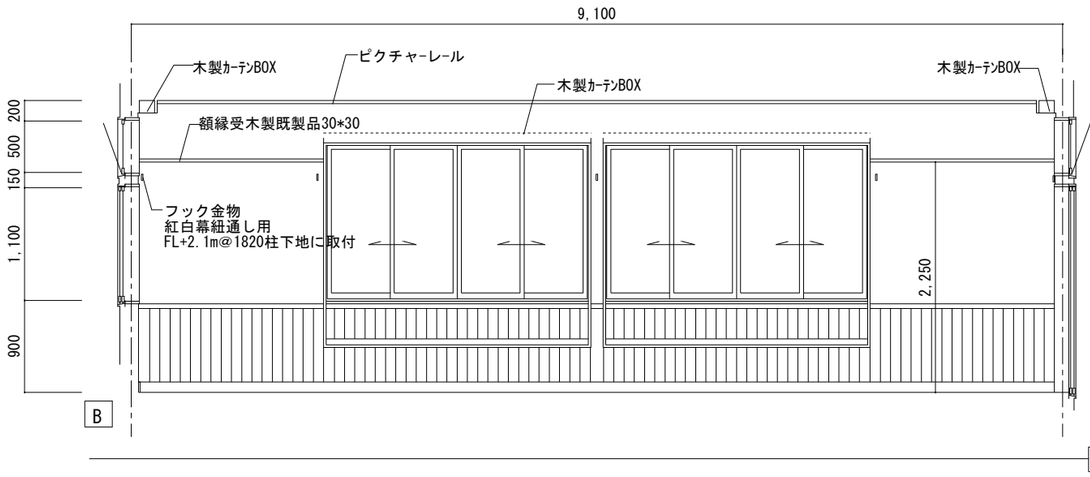
富ヶ丘北部会館新築工事

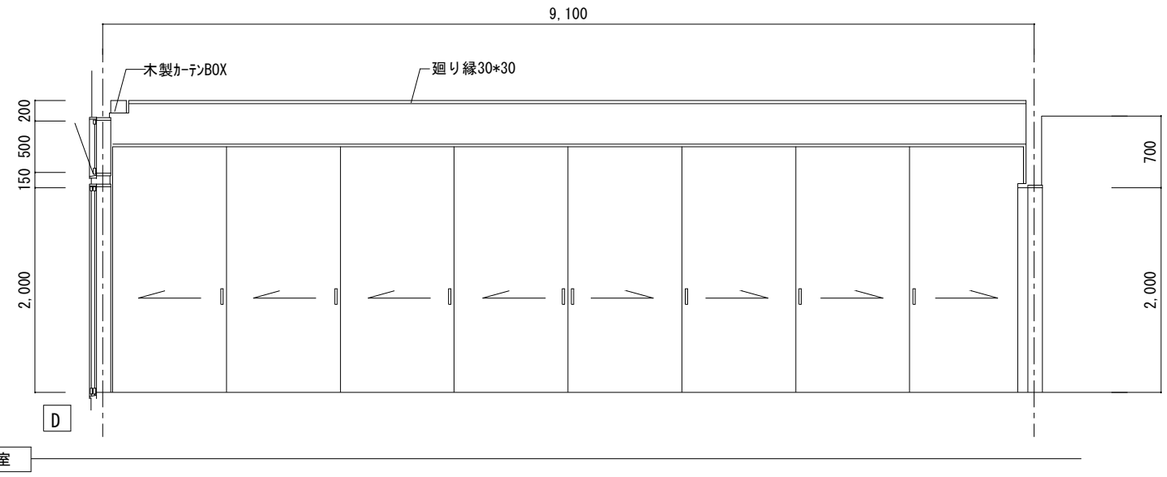
展開図－１

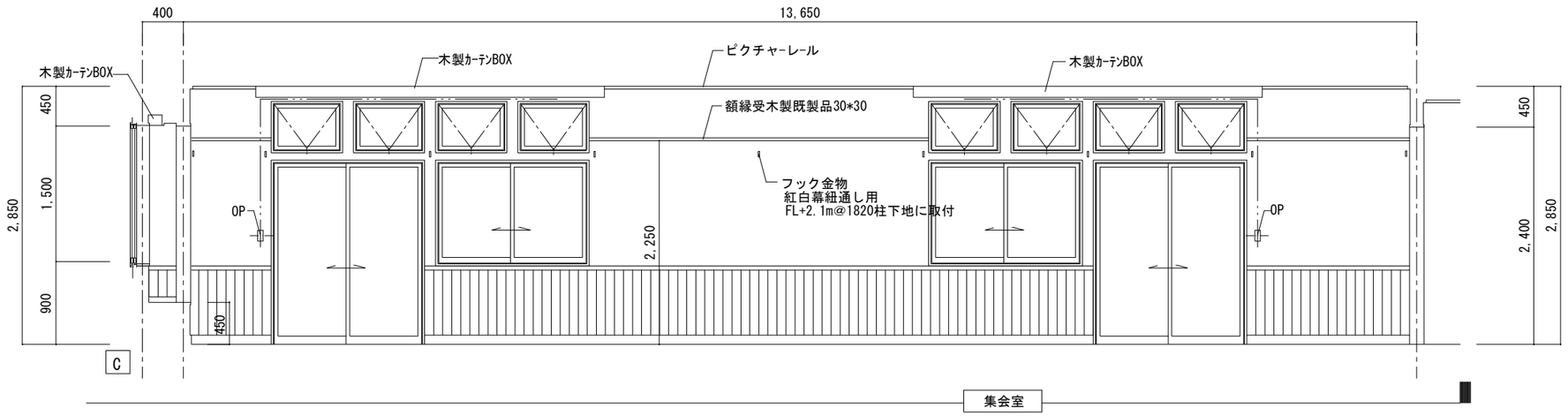
A-17

室名	集会室
床	t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	t15杉板H=100
腰壁	t12杉板実継ぎ張りOSCL
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り
天井	t9ロックウｰル吸音板張り
廻縁	30*30木製既製品
備考	木製ｶｰﾃﾝBOX　床下点検口　室名札
ピクチャｰレｰル　紅白紐通し用金物　額縁受	





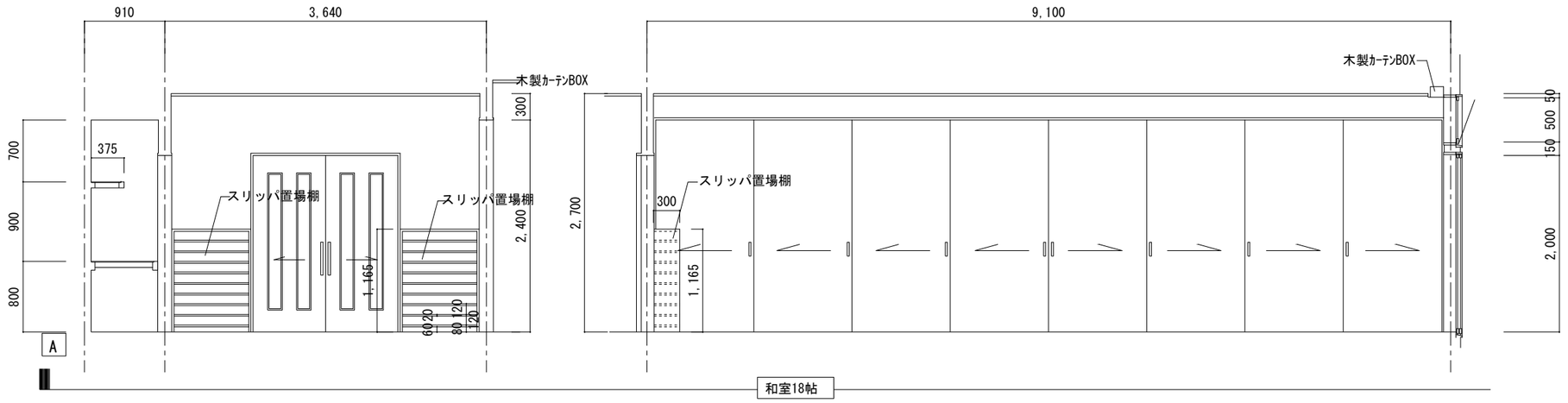


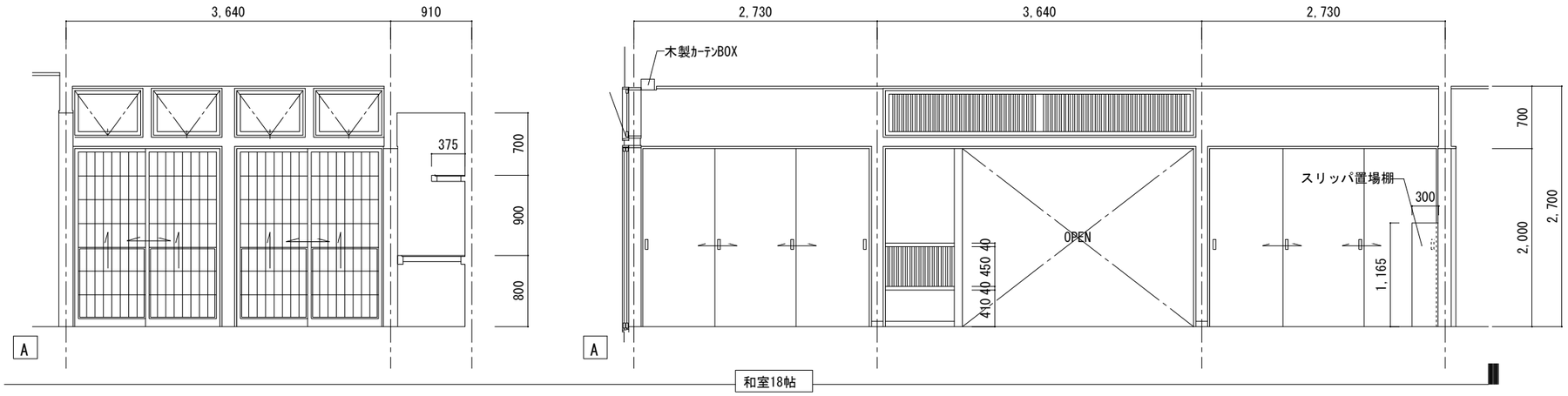


仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL　022-372-7776　FAX　022-373-6991

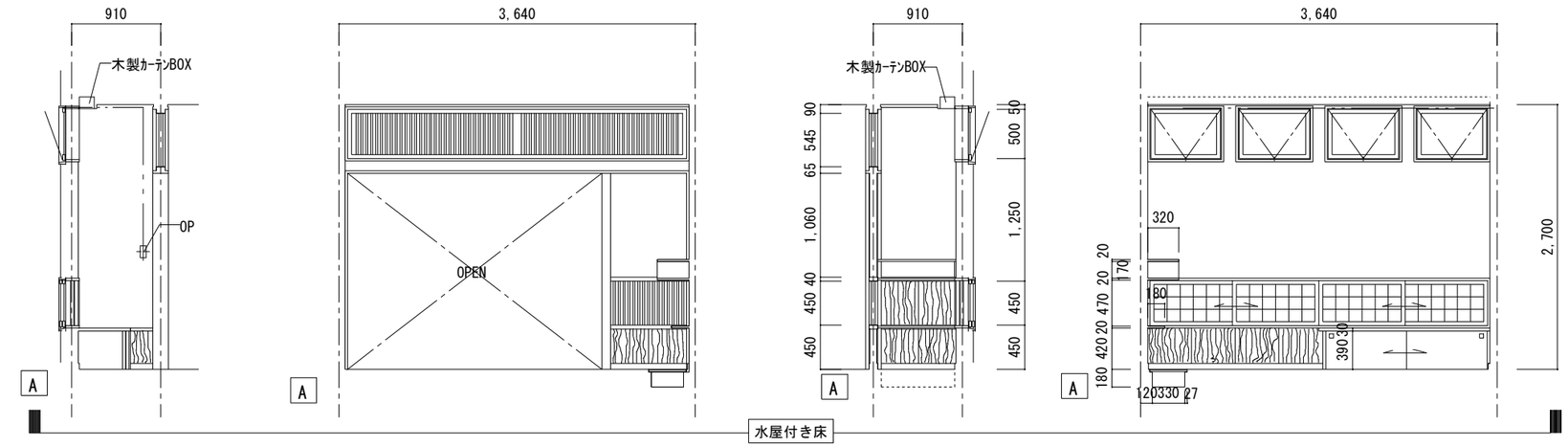
	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/60	展開図－２
	A-18

室名	水屋付き床
床	畳敷き一部t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	t12杉板H=60
腰壁	
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	t6化粧しな合板化粧目地仕上げ
廻縁	杉材30*30
備考	スリッパ置場棚　室名札
	木製ｶｰﾃﾝBOX





室名	水屋付き床
床	t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	t12杉板H=60
腰壁	t6化粧杉合板張り
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	t6化粧しな合板化粧目地仕上げ
廻縁	杉材30*30
備考	水屋　棚　　格子欄間　飾り棚



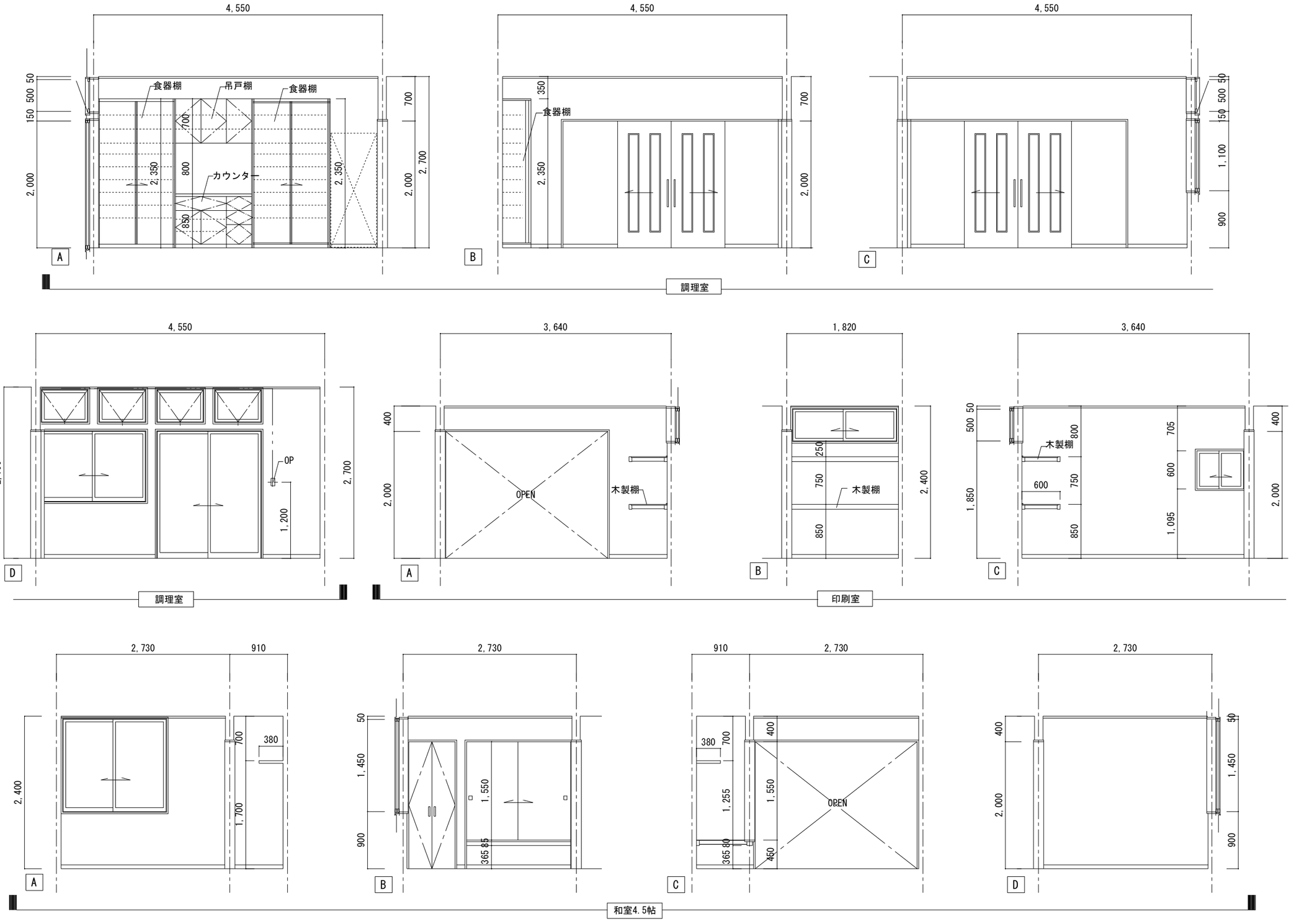
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776　FAX. 022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/60	展開図－３
	A-19

室名	調理室
床	t2.3クッションフロア-貼り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――――
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	ビニールｸﾛｽ貼り
廻縁	木製既製品30*30
備考	調理台 レンジﾌｰﾄﾞ床下収納 室名札
	食器棚　カウンター　吊戸棚

室名	印刷室
床	t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――――
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	ビニールｸﾛｽ貼り
廻縁	木製既製品30*30
備考	木製棚　室名札
	小屋裏用スライド梯子

室名	和室4.5帖
床	t12ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	t12杉材H=60
腰壁	―――――
壁	ビニールｸﾛｽ貼り
天井	ビニールｸﾛｽ貼り
廻縁	木製既製品30*30
備考	t15畳マット900角



仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL　022-372-7776　FAX　022-373-6991

S=1/60

富ヶ丘北部会館新築工事

展開図－４

A-20

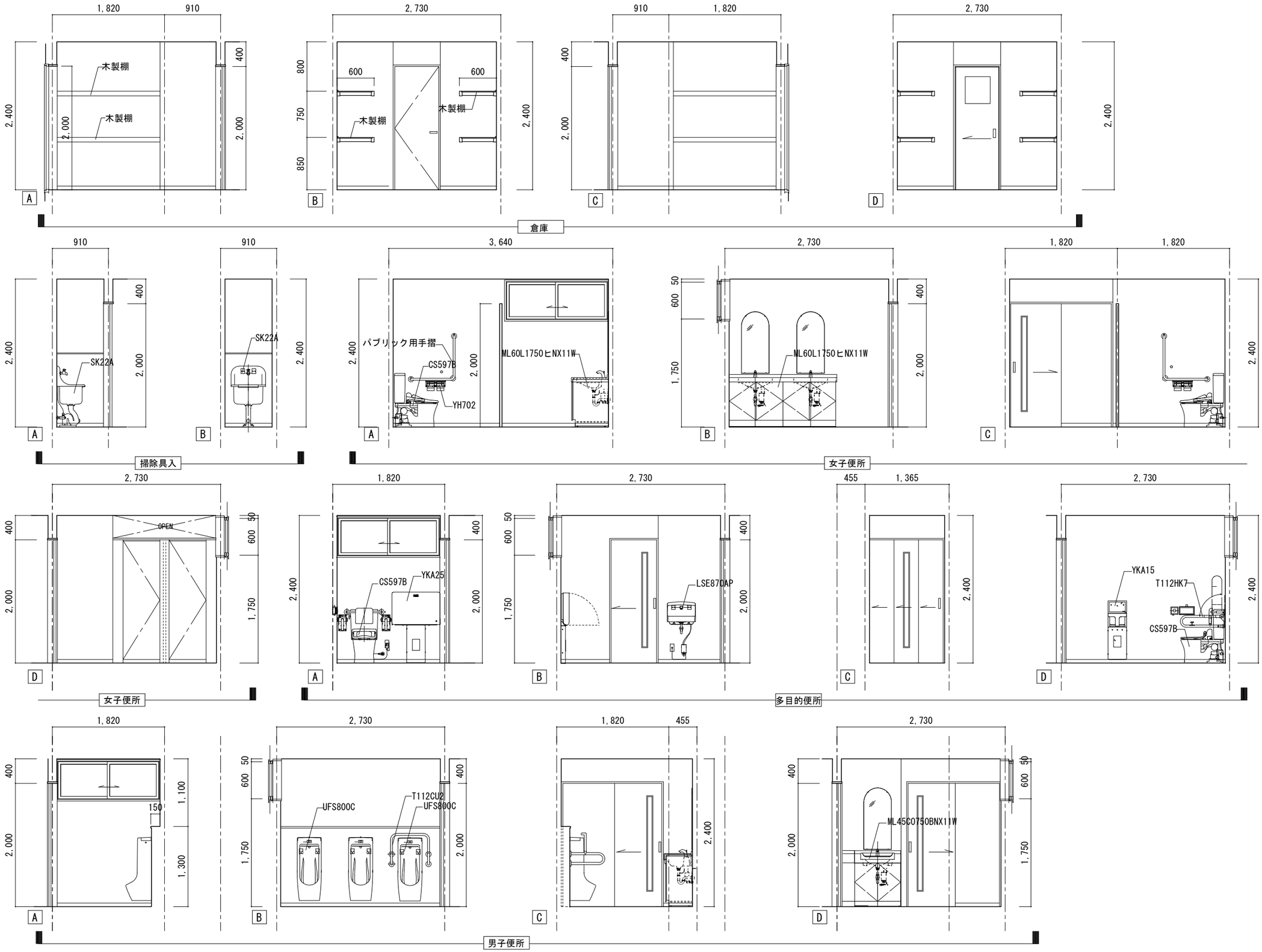
室名	倉庫
床	t2ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――
壁	ビニルｸﾛｽ貼り
天井	ビニルｸﾛｽ貼り
廻縁	塩ビ製
備考	木製棚　室名札

室名	掃除具入
床	t2長尺塩ビｼｰﾄ貼り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	t6ケイカル板EP
壁	t12耐水合板張り
天井	t9化粧石膏ボード張り
廻縁	塩ビ製
備考	掃除用流し　室名札

室名	女子便所
床	t2長尺塩ビｼｰﾄ貼り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――
壁	t12.5石膏ボード下地ｸﾛｽ貼り
天井	t9化粧石膏ボード張り
廻縁	塩ビ製
備考	紙巻器 トイレキャビネット
	手摺

室名	多目的便所
床	t2長尺塩ビｼｰﾄ貼り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――
壁	t12.5石膏ボード下地ｸﾛｽ貼り
天井	t9化粧石膏ボード張り
廻縁	塩ビ製
備考	紙巻器 トイレキャビネット
	手摺

室名	男子便所
床	t2長尺塩ビｼｰﾄ貼り
巾木	ソフト巾木H=60
腰壁	―――
壁	t12.5石膏ボード下地ｸﾛｽ貼り
天井	t9化粧石膏ボード張り
廻縁	塩ビ製
備考	紙巻器 トイレキャビネット
	手摺



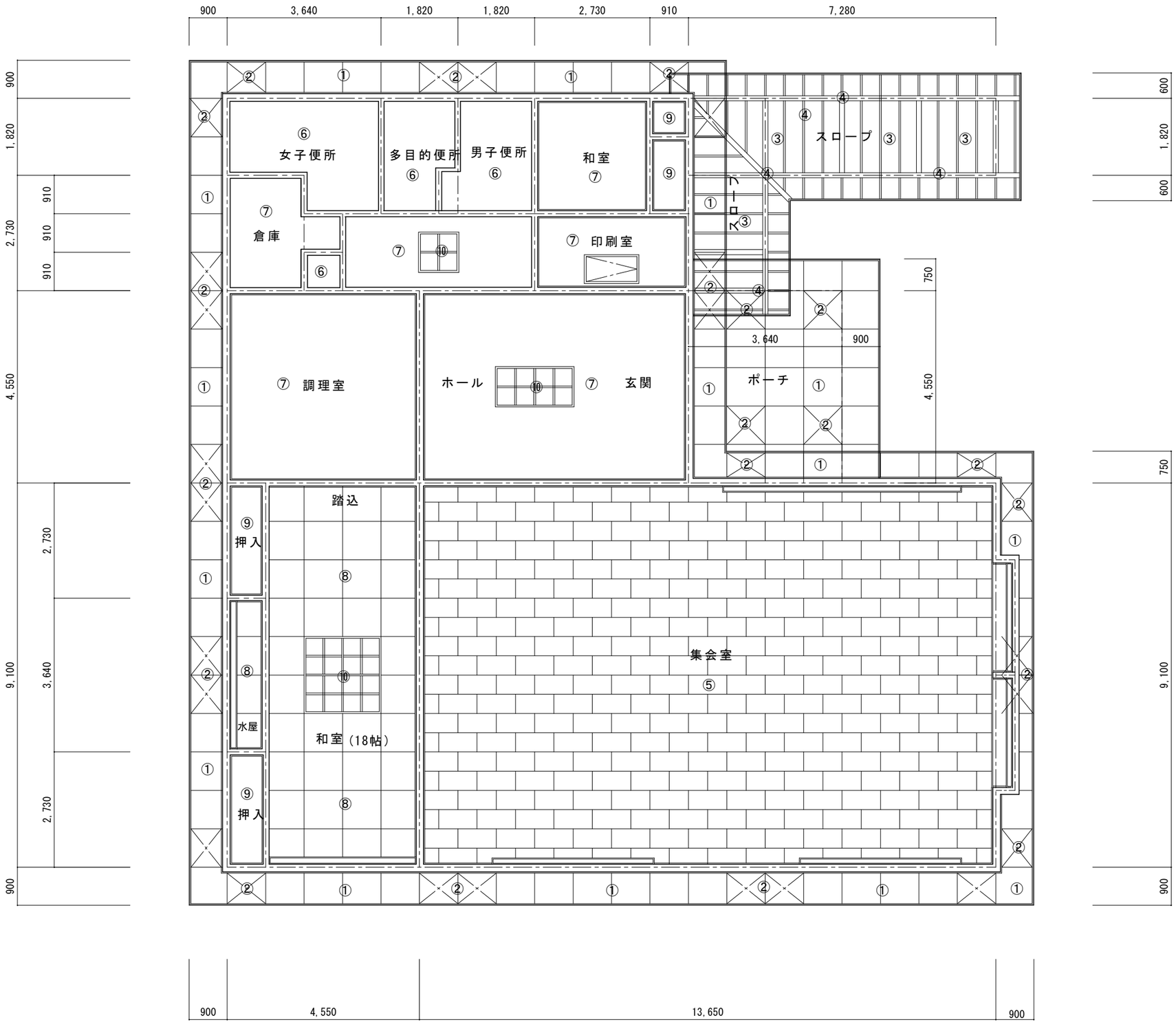
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/60

富ヶ丘北部会館新築工事

展開図－５

A-21



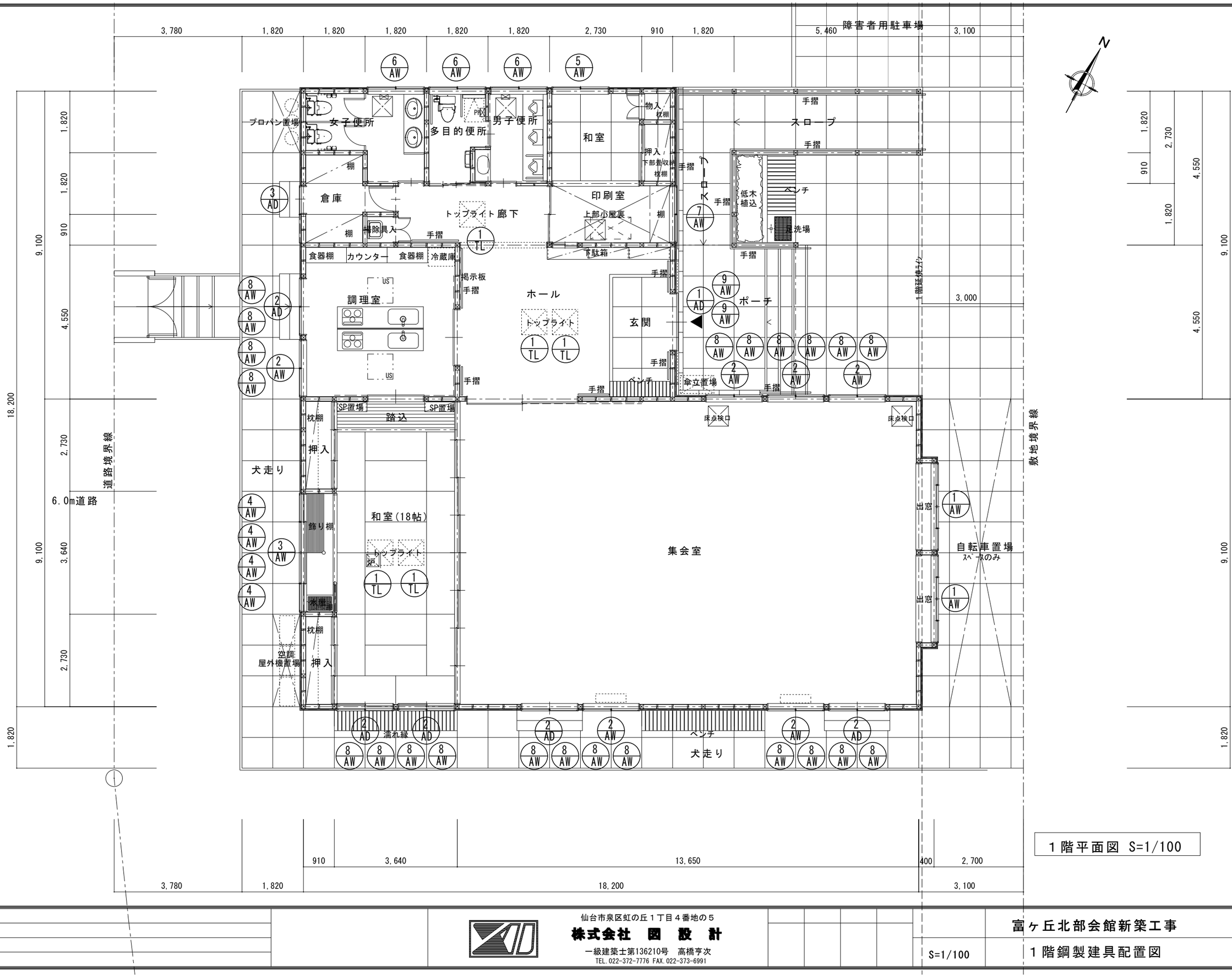
天井伏図 S=1/100

凡例

番号	下地	仕上げ
①		t6カラー防火ライト張り
②		t6有孔カラー防火ライト張り
③		t14窯業系サイディング木目調張り
④		木部現し（キシラデコ-ル塗り）
⑤	t9.5PB下地	t9ロックウール化粧吸音板張り
⑥	t9.5PB下地	t9.5化粧石膏ボード張り
⑦	t9.5PB下地	ビニ-ルｸﾛｽ貼り
⑧	t9.5PB下地	t6化粧しな合板化粧目地仕上げ
⑨		t9.5押入用石膏ボード張り
⑩		t6アクリル型板

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事	A-22
	天井伏図	

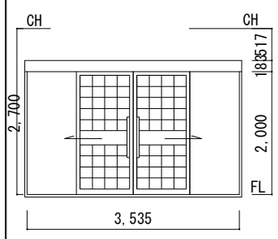
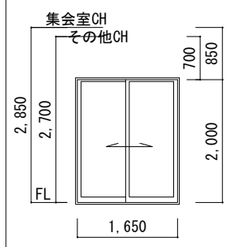
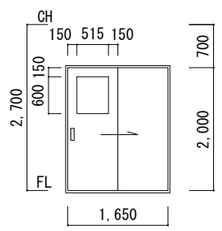
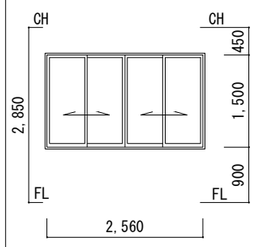
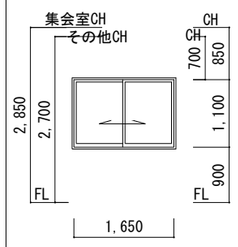
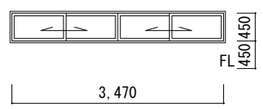
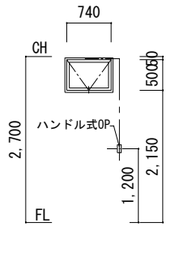


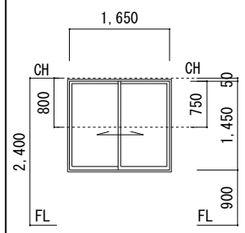
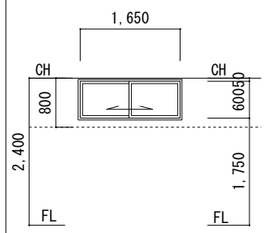
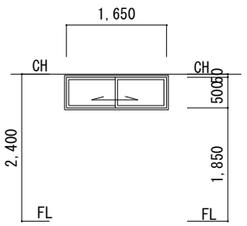
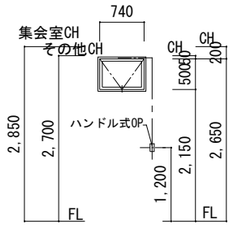
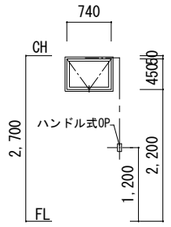
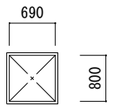
1階平面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事 １階鋼製建具配置図	A-23

建　具　表

建具番号　形式	1 AD フロントハンガー引き分け戸	2 AD 引違いアルミ戸	3 AD 片引きアルミ戸		1 AW ４枚引違いアルミ窓	2 AW 引違いアルミ窓	3 AW ４枚引違いアルミ窓	4 AW 外倒しアルミ窓
姿図								
取付場所　数量	玄関　1	集会室・和室・調理室　5	倉庫　1		集会室　2	集会室・和室・調理室　6	和室　1	和室　4
見込　硝子	80　t5透明TG	70　t5透明TG+6A+t5FLG	70　t5型板TG		70　t5透明TG+6A+t5FLG	同左　同左	同左 t5透明TG+6A+t3FLG	同左 t5透明TG+6A+t4FG
仕上　塗装	カラーアルミ	同左	同左		カラーアルミ	同左	同左	同左
付属金物	付属金物一式	同左	同左　本締錠		付属金物一式	同左	同左	同左
特記事項	握り棒　本締錠	網戸			網戸	同左	同左	

建具番号　形式	5 AW 引違いアルミ窓	6 AW 引違いアルミ窓	7 AW 引違いアルミ窓	8 AW 外倒し排煙アルミ窓	9 AW 外倒し排煙アルミ窓		1 TL FIX式トップライト	
姿図								
取付場所　数量	和室4.5帖　1	便所　3	印刷室　1	集会室・和室・調理室　22	玄関　2		和室・ホール・廊下　5	
見込　硝子	70　t5透明TG+6A+t4FG	同左　同左	同左　同左	同左　t5透明TG+6A+t4FG	同左　同左		131　合せ6+6A+3FLG	
仕上　塗装	カラーアルミ	同左	同左	同左	同左		カラーアルミ	
付属金物	付属金物一式	同左	同左	同左	同左		付属金物一式	
特記事項	網戸	同左	同左					

建具記号

ＡＤ　：アルミ製扉	ＢＳＤ：鋼製防音扉	ＳＳＧ：ステンレス製ガラリ	Ｆ　：襖
ＡＦ　：アルミ製枠	ＳＦ　：鋼製枠	ＳＳＷ：ステンレス製窓	Ｓ　：障子
ＡＧ　：アルミ製ガラリ	ＳＧ　：鋼製ガラリ	ＷＤ　：木製扉	Ｐ　：パーティション
ＡＷ　：アルミ製窓	ＳＷ　：鋼製窓	ＷＦ　：木製枠	
ＡＳ　：アルミ製シャッター	ＳＳ　：鋼製シャッター	ＷＧ　：木製ガラリ	
ＡＯＤ：アルミ製オートドア	ＳＯＤ：鋼製オートドア	ＷＷ　：木製窓	
ＡＣＷ：アルミ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	ＳＳＤ：ステンレス製扉	ＬＳＤ：鋼製軽量扉	
ＳＤ　：鋼製扉	ＳＳＦ：ステンレス製枠	ＳＦＤ：鋼製甲種防火戸	

ガラス記号

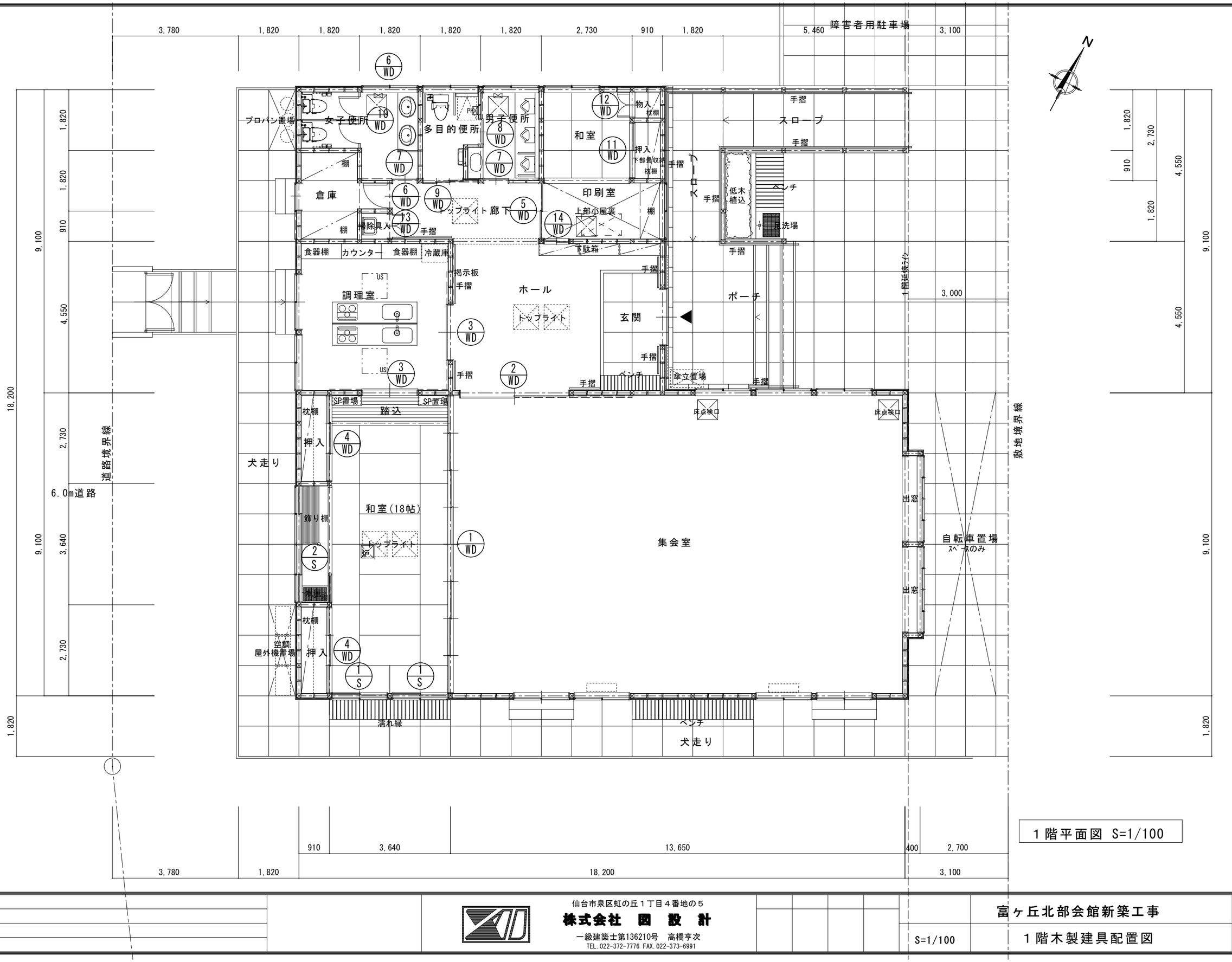
ＦＬＧ：透明板ガラス	ＴＧ　：強化ガラス
ＦＧ　：型板ガラス	ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＰＷＧ：網入り透明板ガラス	Ａ　：空気層
ＦＷＧ：網入り型板ガラス	：

金物記号

ＬＨ　：レバーハンドル	ＤＣ　：ドアクローザー	Ｈ　：丁番	
Ｐ　：引き手	ＣＤＣ：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	ＤＳ　：戸当たり	
ＧＨ　：グレモンハンドル	ＯＲ　：排煙用オペレーター	ＦＬ　：フラッターレール	
ＣＨ　：ケースハンドル	ＦＯ　：フランス落とし	ＶＬ　：Ｖレール	
ＰＨ　：ピボットヒンジ	Ｃ　：クレセント	ＡＡ　：アルミアングル	
ＡＨ　：オートヒンジ	ＳＬ　：サムターン錠	ＡＫ　：アルミ結露受	
ＡＰ　：オートピボット	ＣＬ　：シリンダー錠	ＡＧ　：アルミ額縁	
ＦＨ　：フロアヒンジ	ＳＨ　：スプリングヒンジ	ＡＰ　：アルミパネル	

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事
	鋼製建具表
	A-24



1階平面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

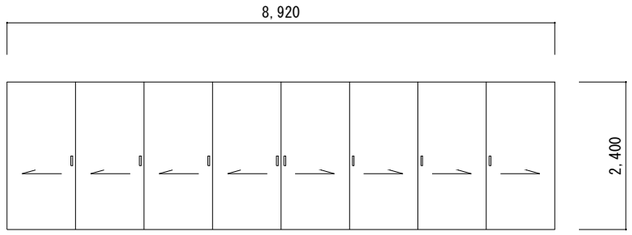
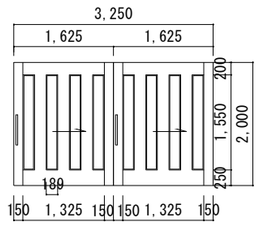
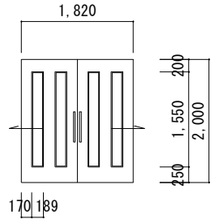
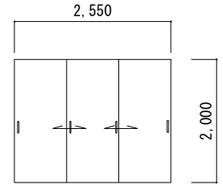
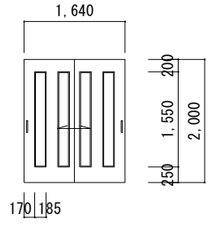
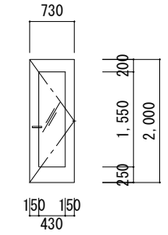
S=1/100

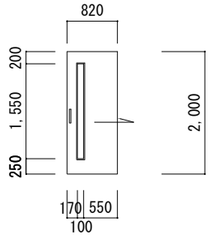
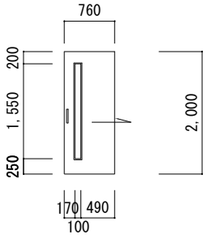
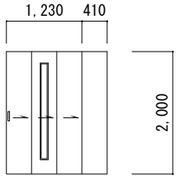
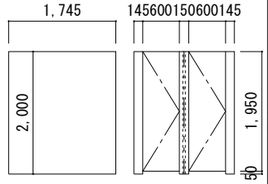
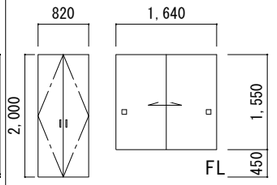
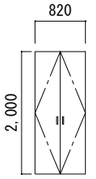
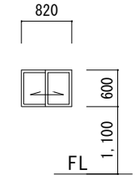
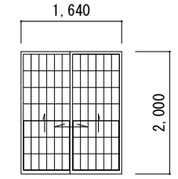
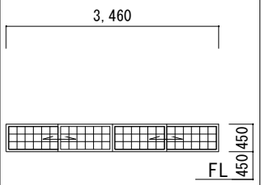
富ヶ丘北部会館新築工事

１階木製建具配置図

A-25

建　具　表

建具番号　形式	1 WD　８枚引き分け木製フラッシュ戸	2 WD　２枚引き額入フラッシュ戸	3 WD　引分け額入フラッシュ戸	4 WD　３枚引きフラッシュ戸	5 WD　引違い額入フラッシュ戸	6 WD　片開きフラッシュ戸
姿図						
取付場所　数量	和室　1	集会室　1	調理室　2	和室　2	印刷室　1	倉庫　1
見込　硝子	40	40　t4FG	36　同左	同左	同左	同左　片面t4姿見鏡張り
仕上　塗装	両面ｸﾛｽ貼り	両面化粧合板	両面化粧合板	片面化粧合板	両化粧合板	同左
付属金物	P　VL	握り棒　VL	同左	P　VL	同左	LH　H　DS
特記事項						

建具番号　形式	7 WD　片引き額入フラッシュ戸	8 WD　片引き額入フラッシュ戸	9 WD　３枚引き額入フラッシュ戸	10 WD　片開きフラッシュ戸	11 WD　引違い戸襖 12 WD　両開き戸襖	13 WD　両開きフラッシュ戸	14 WD　引違い窓	1 S　引違い雪見障子	2 S　４枚引違い障子
姿図									
取付場所　数量	男子・女子便所　2	多目的便所　1	多目的便所　1	女子便所　1	和室4.5帖　1	掃除具入　1	ホール　1	和室　2	和室　1
見込　硝子	36　t4FG	同左　同左	同左　同左	同左	33	36	33	33　t3FLG	同左
仕上　塗装	両面化粧合板	同左	同左	両面ポリ合板	片面鳥の子紙	片面化粧合板	スプルース CL	スプルース CL 和紙	同左
付属金物	P　VL	P　SL　VL	P　SL　VL	スライドラッチ　DS	P　引手　H	引手　H	P	P	同左
特記事項									

建具記号

ＡＤ　：アルミ製扉	ＢＳＤ：鋼製防音扉	ＳＳＧ：ステンレス製ガラリ	Ｆ　：襖
ＡＦ　：アルミ製枠	ＳＦ　：鋼製枠	ＳＳＷ：ステンレス製窓	Ｓ　：障子
ＡＧ　：アルミ製ガラリ	ＳＧ　：鋼製ガラリ	ＷＤ　：木製扉	Ｐ　：パーティション
ＡＷ　：アルミ製窓	ＳＷ　：鋼製窓	ＷＦ　：木製枠	
ＡＳ　：アルミ製シャッター	ＳＳ　：鋼製シャッター	ＷＧ　：木製ガラリ	
ＡＯＤ：アルミ製オートドア	ＳＯＤ：鋼製オートドア	ＷＷ　：木製窓	
ＡＣＷ：アルミ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	ＳＳＤ：ステンレス製扉	ＬＳＤ：鋼製軽量扉	
ＳＤ　：鋼製扉	ＳＳＦ：ステンレス製枠	ＳＦＤ：鋼製甲種防火戸	

ガラス記号

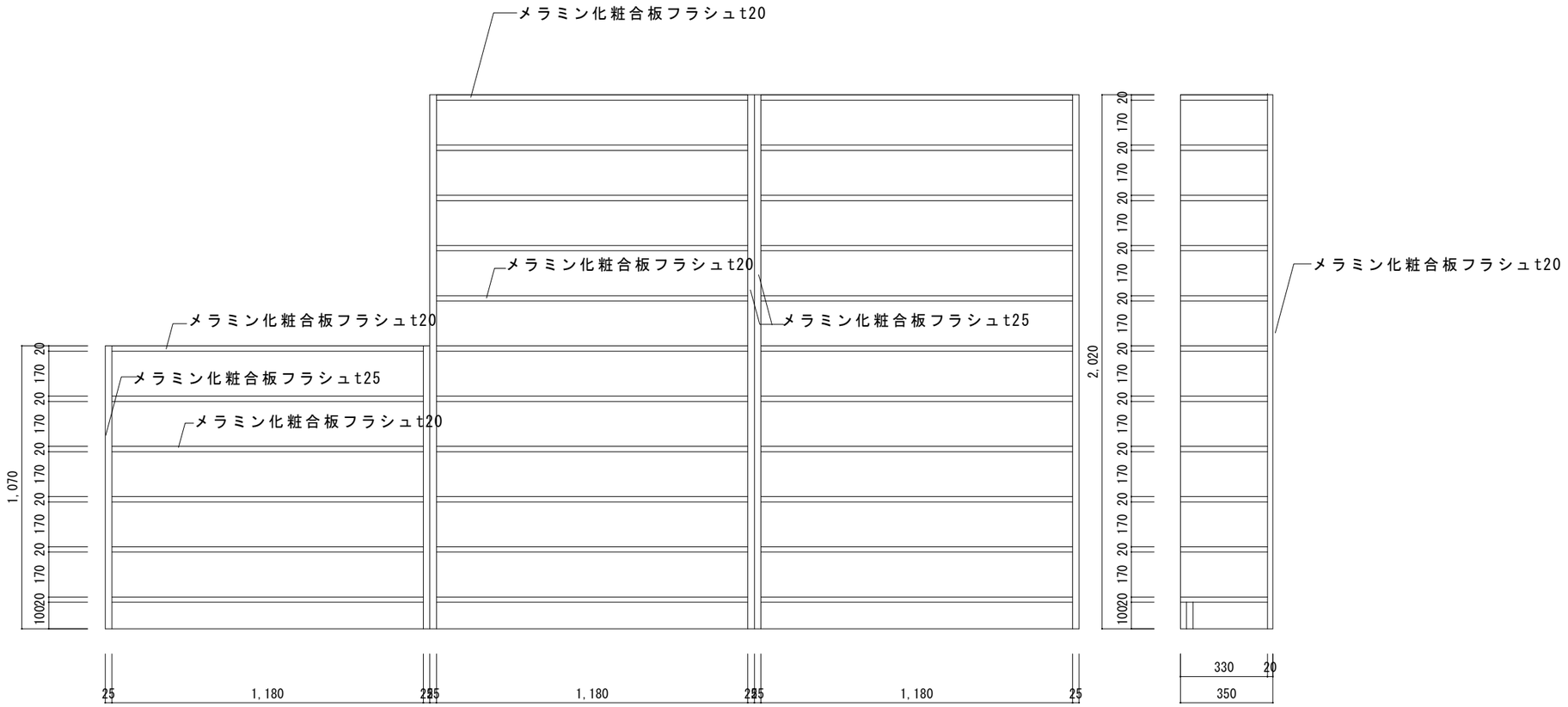
ＦＬＧ：透明板ガラス	
ＦＧ　：型板ガラス	
ＰＷＧ：網入り透明板ガラス	
ＦＷＧ：網入り型板ガラス	
ＴＧ　：強化ガラス	
ＲＧ　：熱線反射ガラス	
Ａ　：空気層	
：	

金物記号

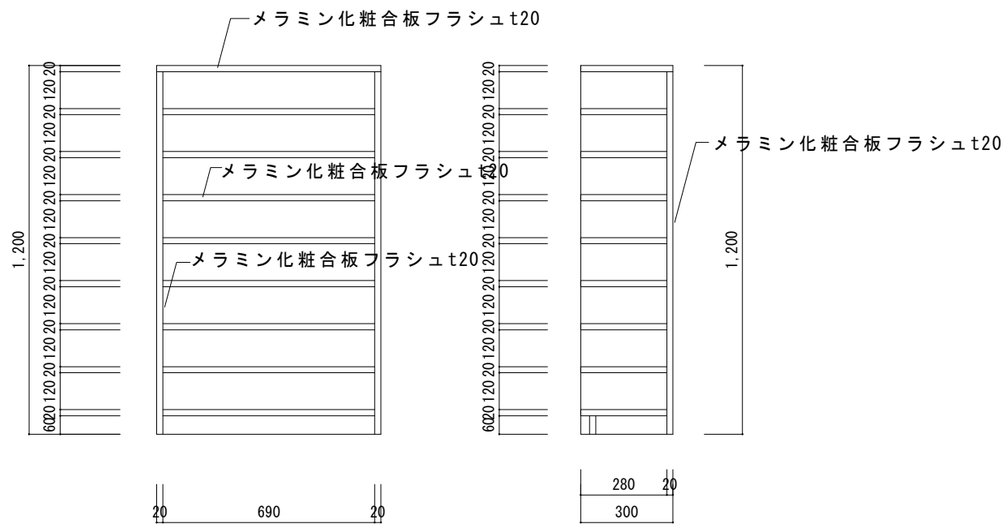
ＬＨ　：レバーハンドル	ＤＣ　：ドアクローザー	Ｈ　：丁番	
Ｐ　：引き手	ＣＤＣ：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	ＤＳ　：戸当たり	
ＧＨ　：グレモンハンドル	ＯＲ　：排煙用オペレーター	ＦＬ　：フラッターレール	
ＣＨ　：ケースハンドル	ＦＯ　：フランス落とし	ＶＬ　：Ｖレール	
ＰＨ　：ピボットヒンジ	Ｃ　：クレセント	ＡＡ　：アルミアングル	
ＡＨ　：オートヒンジ	ＳＬ　：サムターン錠	ＡＫ　：アルミ結露受	
ＡＰ　：オートピボット	ＣＬ　：シリンダー錠	ＡＧ　：アルミ額縁	
ＦＨ　：フロアヒンジ	ＳＨ　：スプリングヒンジ	ＡＰ　：アルミパネル	

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事
	木製建具表
	A-26

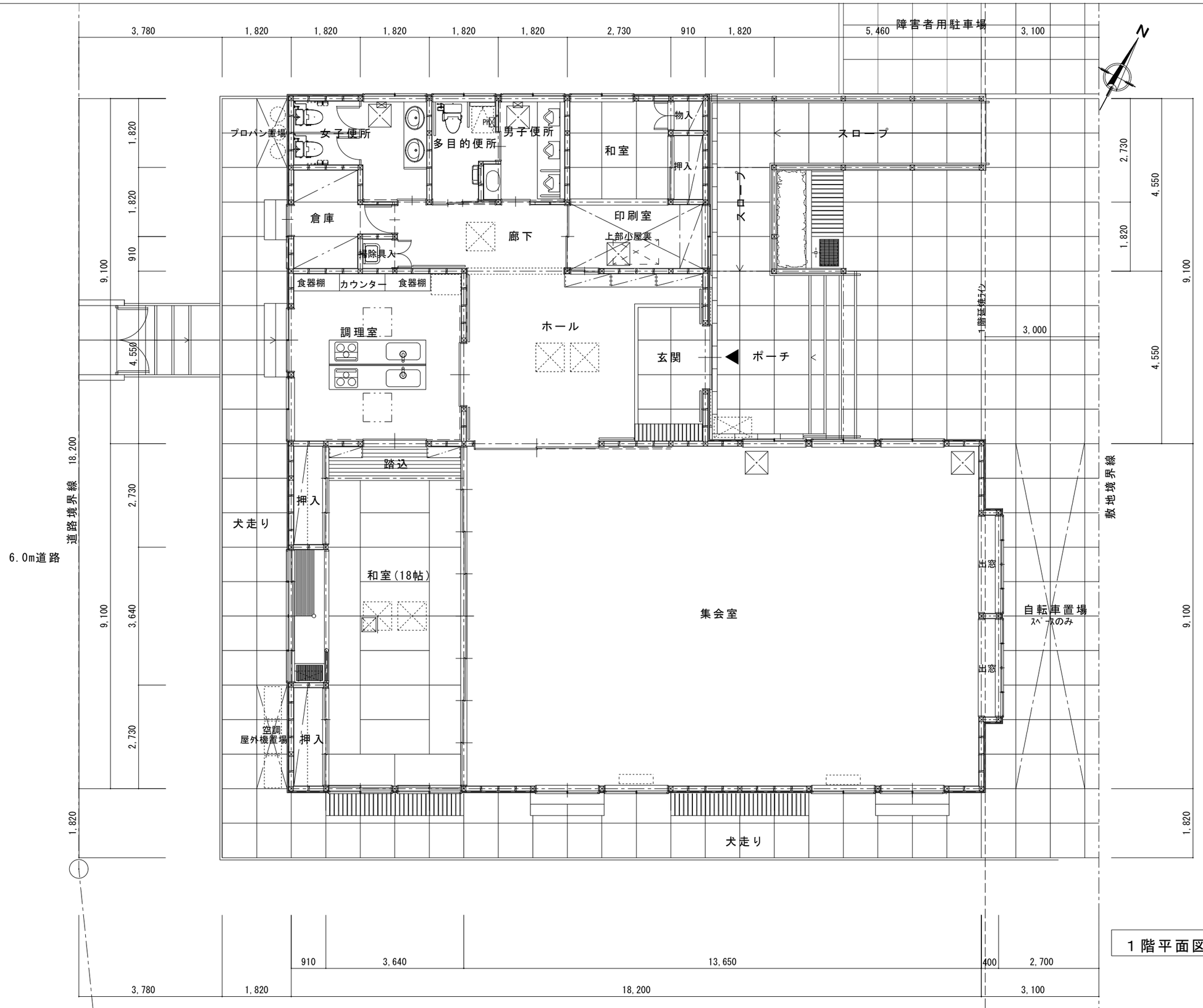


下駄箱詳細図 S=1/20



スリッパ置き場詳細図 S=1/20

		仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５ **株式会社 図 設 計** 一級建築士第136210号 高橋亨次 TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991						富ヶ丘北部会館新築工事	
							S=1/20	家具詳細図	A-27



採光・換気・排煙計算

室名	床面積	法的	必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	判定
集会室	124.21	採光	124.21*1/7=17.74	3.26*2+1.79*5+0.36*14+3.81*2=28.13	OK
		換気	124.21*1/20=6.21	0.36*14+1.63*2+1.79*5+1.90*2=21.00	OK
		排煙	124.21*1/50=2.48	0.36*14=5.04	OK
和室18帖	36.33	採光	36.33*1/7=5.19	0.36*4+3.26*2=7.96	OK
		換気	36.33*1/20=1.81	0.36*4+1.63*2=4.70	OK
		排煙	36.33*1/50=0.72	0.36*4=1.44	OK
調理室	20.70	採光	20.70*1/7=2.95	3.26*1.79+0.36*4=6.49	OK
		換気	20.70*1/20=1.03	1.63*0.89+0.36*4=3.96	OK
		排煙	20.70*1/50=0.41	0.36*4=1.44	OK
玄関・ホール廊下	37.26	採光	———	———	
		換気	37.26*1/20=1.86	0.33*2+1.63*2=3.92	OK
		排煙	37.26*1/50=0.74	0.33*2+1.63*0.07=0.77	OK
印刷室和室	14.07	採光	14.07*1/7=2.01	1.63*1.45=2.36	OK
		換気	14.07*1/20=0.70	2.36*1/2=1.18	OK
		排煙	14.07*1/50=0.28	1.63*0.75*1/2=0.61	OK
女子便所	8.28	採光	———	———	
		換気	8.28*1/20=0.41	1.63*0.60=0.97	OK
		排煙	8.28*1/50=0.16	1.63*0.60*1/2=0.48	OK
多目的便所	4.50	採光	———	———	
		換気	4.50*1/20=0.22	1.63*0.60=0.97	OK
		排煙	4.50*1/50=0.09	1.63*0.60*1/2=0.48	OK
男子便所	5.42	採光	———	———	
		換気	5.42*1/20=0.27	1.63*0.60=0.97	OK
		排煙	5.42*1/50=0.11	1.63*0.60*1/2=0.48	OK

普通階・無窓階の判定

		判定
必要開口面積	264.99㎡ * 1/30 = 8.83㎡	
有効開口	1/AD 1.63W * 2.0H = 3.26㎡	
	2/AD 0.81W * 2.0H * 5箇所 = 8.10㎡	
	2/AW 1.63/2W * 1.1H * 6箇所 = 5.37㎡	
	計 16.73㎡	OK

1階平面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100

富ヶ丘北部会館新築工事

法的チェック図

A-28

使用建築材料表・機械換気設備・天井裏等の措置

（換気計画上一体となっている部分）

居室の種類	□住宅等の居室 ■住宅等の居室以外の居室	換気の種別 換気回数	□第１種　□第２種　■第３種 換気回数(回/h)　□ 0.3　■ 0.5　□ 0.7	クロルピリホスの使用 □ 有り　■ 無し

使用建築材料

階	室　名 （面積　㎡）	内装仕上の部分	使用材料(a)	下地材料(b) 透過性仕上の場合のみ	接着剤(c) 透過性仕上の場合のみ	塗装(d)	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ建材種別	使用面積（㎡）	係数	使用面積小計（㎡）	使用面積合計（㎡）	床面積小計（㎡）	判定
1	集会室 124.21㎡	床	ﾌﾛｱｰ合板	合板			F☆☆☆☆						ＯＫ
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			規制対象外						
		出入口（引戸）	化粧合板				F☆☆☆☆						
	出窓 2.48㎡												
	和室16帖 33.12㎡	床	畳、ﾌﾛｱｰ合板				F☆☆☆☆						
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	化粧ｼﾅ合板化粧目地	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			規制対象外						
		出入口戸	戸襖	合板			F☆☆☆☆						
	床の間 3.31㎡												
	調理室 20.70㎡	床	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ	合板			F☆☆☆☆						
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆						
	和室、 印刷室 14.07㎡	床	畳、ﾌﾛｱｰ合板	合板			F☆☆☆☆						
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		規制対象外						
		出入口戸	襖　化粧合板	合板			F☆☆☆☆						
	ホール、 廊下、 玄関 37.26㎡	床	ﾌﾛｱｰ合板　ｺﾝｸﾘｰﾄ洗出し	合板			F☆☆☆☆						
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆						
	トイレ、 洗面所 SK 19.02㎡	床	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ	合板			F☆☆☆☆						
		壁	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	でんぷん系		F☆☆☆☆						
		天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ				規制対象外						
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆						
	物入、 押入、 倉庫 8.27㎡	床	ﾌﾛｱ合板、ﾍﾞﾆｱ合板				F☆☆☆☆						
		壁	耐水合板、押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞ				F☆☆☆☆						
		天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞ				規制対象外						
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆						
		収納棚	合板				F☆☆☆☆						

機械換気設備

天上高（ｍ）	気積（m^3）	気積合計（m^3）	給気量（m^3）	排気量（m^3）	排気回数（回/h）	判定
2.85	353.99		給気口 P-18KFSD(K)	VD-15ZLXP9-CS ×2ヶ所 83×2	0.46	ＯＫ
1.95	4.89	358.83		166		
2.7	89.42		給気口 P-18KFSD(K)	V-08PFLD6	0.48	
2.7	8.93	98.35		48		
2.7	55.89	89.65	給気口 P-18KFSD(K)		0.53	
2.4	33.76		給気口 P-18KFSU(K)	V-08PFLD6 48		

天井裏等の措置

部位	措置内容	使用材料
外壁	イ	構造用パネル
間仕切壁（1）	イ	石膏ボード
間仕切壁（2）	イ	防湿フイルム
小屋裏（天井裏）	イ	野地合板
中間階天井裏（床裏）		
最下階床裏	イ	普通合板

物置等（収納スペース）

室名及び部位	措置内容	使用材料
調理室ｷｯﾁﾝ	イ	特殊加工化粧合板
洗面　化粧台	イ	特殊加工化粧合板
下駄箱	イ	特殊加工化粧合板

室名及び部位	措置内容	使用材料

天井裏等の措置内容

イ.規制対象外建材 を使用　（F☆☆☆☆）
ロ.第３種建材 を使用　（F☆☆☆）
ハ.気密層又は通気止め措置
ニ.換気設備等による措置 （天井裏等を機械換気又は居室より負圧とする措置）

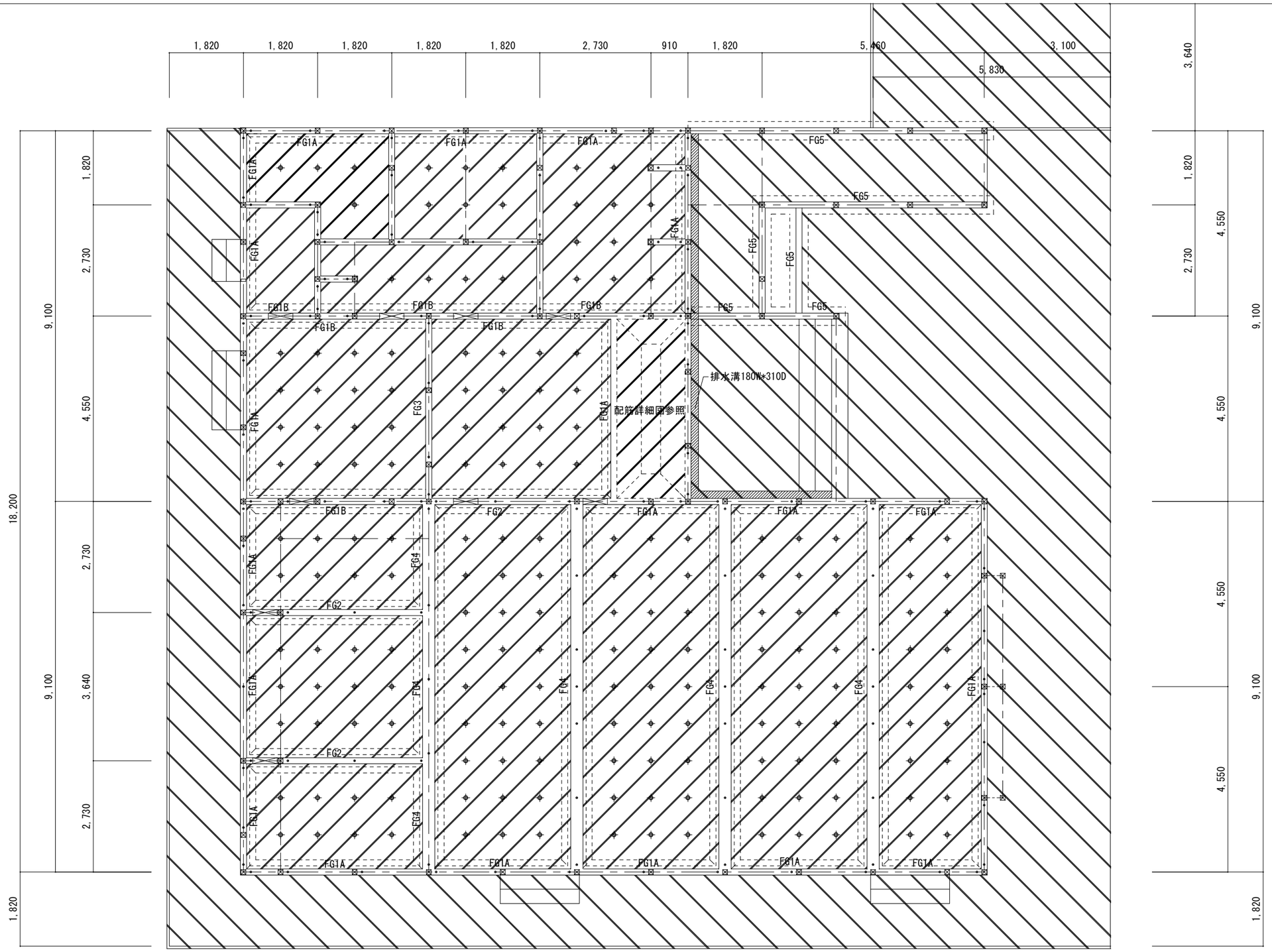
使用材料は、上記のイ～ハの場合のみ記入

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

シックハウス検討表

A-29

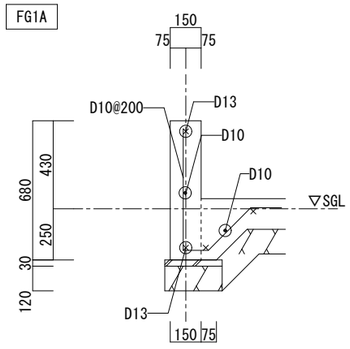


- アンカーボルトM12 L=450 Zマーク 柱芯より200以内設置、埋め込み長=240以上
- 基礎開口部（人通口）320*550

			仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５ **株式会社 図 設 計** 一級建築士第136210号 高橋亨次 TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991						富ヶ丘北部会館新築工事	
								S=1/100	基礎伏せ図	A-30

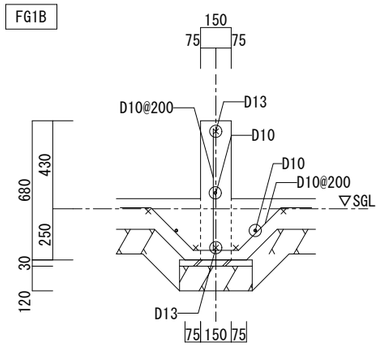
基礎梁リスト

FG1A



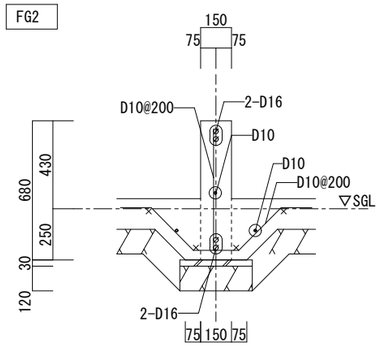
B × D	150 × 680
上端筋	1-D13
下端筋	1-D13
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	1-D10@200

FG1B



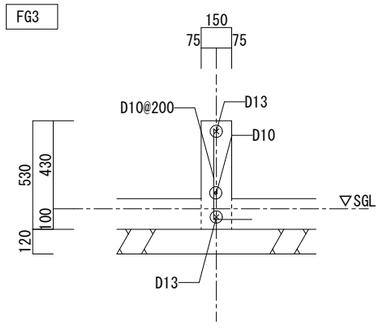
B × D	150 × 680
上端筋	1-D13
下端筋	1-D13
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	1-D10@200

FG2



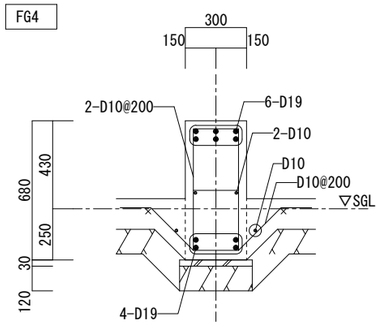
B × D	150 × 680
上端筋	2-D16
下端筋	2-D16
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	1-D10@200

FG3



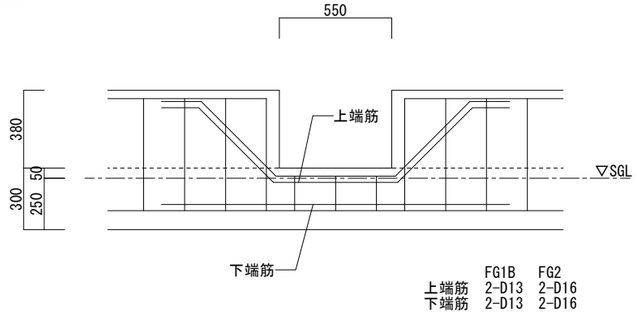
B × D	150 × 530
上端筋	1-D13
下端筋	1-D13
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	1-D10@200

FG4



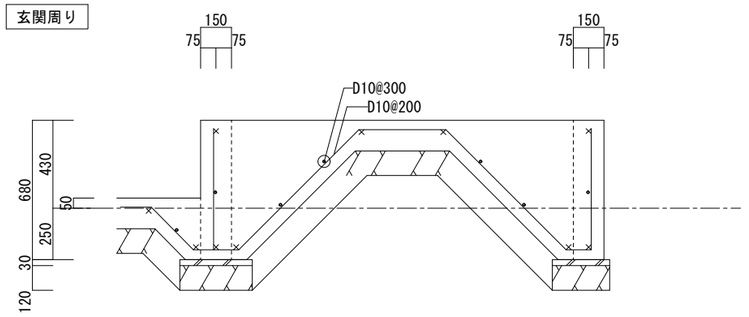
B × D	300 × 680
上端筋	6-D19
下端筋	4-D19
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	2-D10@200

人通口

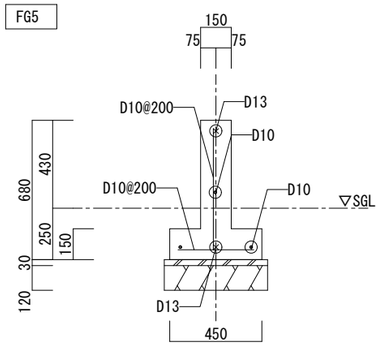


	FG1B	FG2
上端筋	2-D13	2-D16
下端筋	2-D13	2-D16

玄関周り



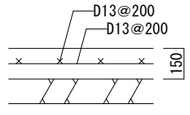
FG5



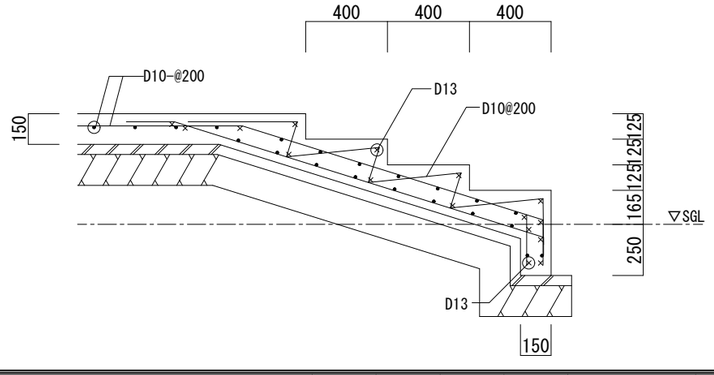
床版リスト

FS1

床厚	150
主力筋(短辺)	D13@200ｼﾝｸﾞﾙ
配力筋(長辺)	D13@200ｼﾝｸﾞﾙ



階段



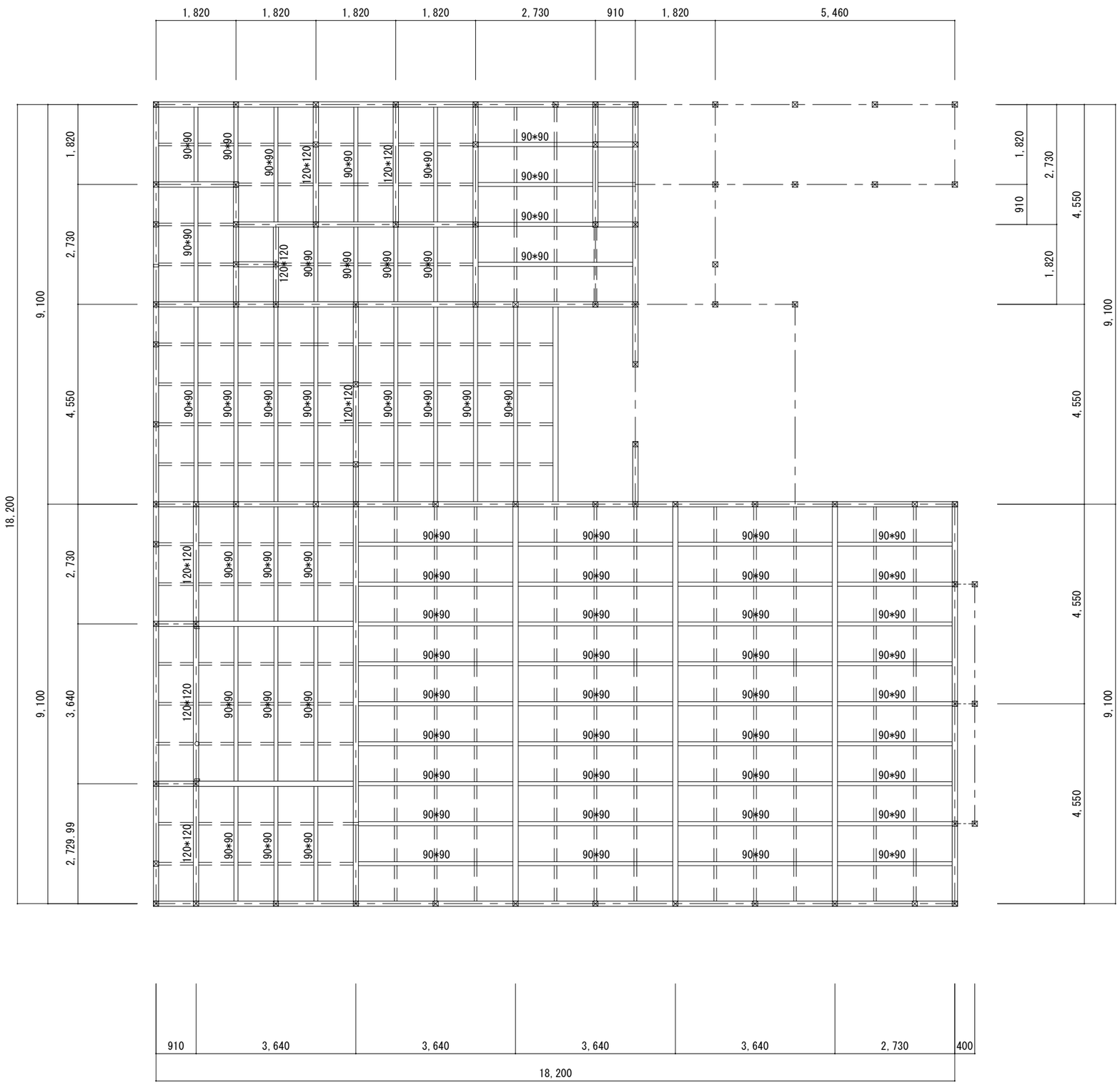
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/30

富ケ丘北部会館新築工事

配筋詳細図

A-31



部材リスト		
部材	寸法	材種
土台	120*120	加圧式防腐防蟻材（米栂）
大引（一般）	90*90 @910	米栂
（一部図示）	120*120	米栂
合板受け	60*60 @910	米栂
床下地	t28	構造用ネタレス合板
柱（一般）	120*120	杉
柱（和室）	120*120	杉　桧集成化粧柱
間柱（大壁）	40*120	杉　米栂
（片真壁）	40*90	杉　米栂
筋違い	45*90	杉　米栂
胴縁	40*45 @455	杉一等

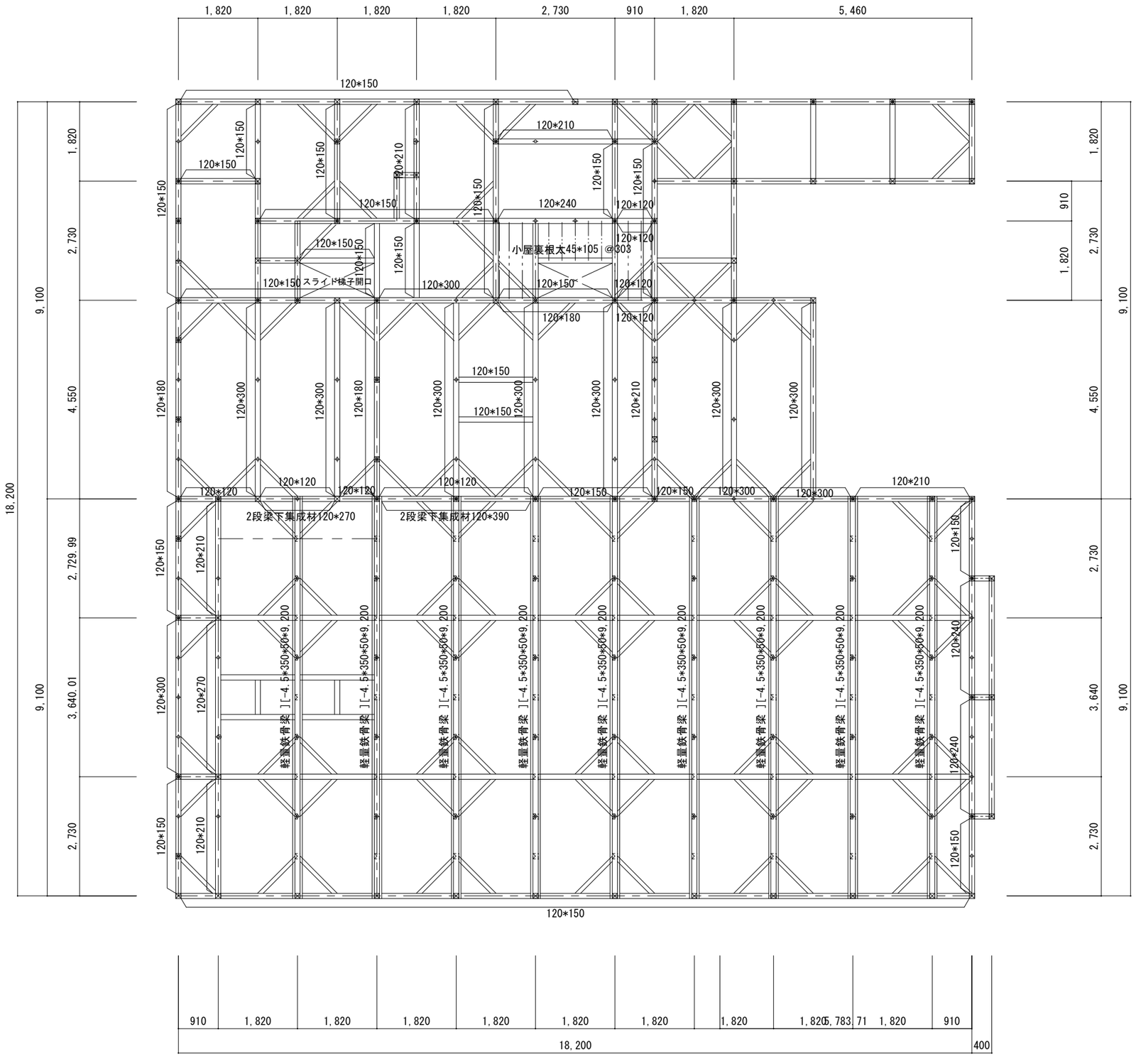
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/100

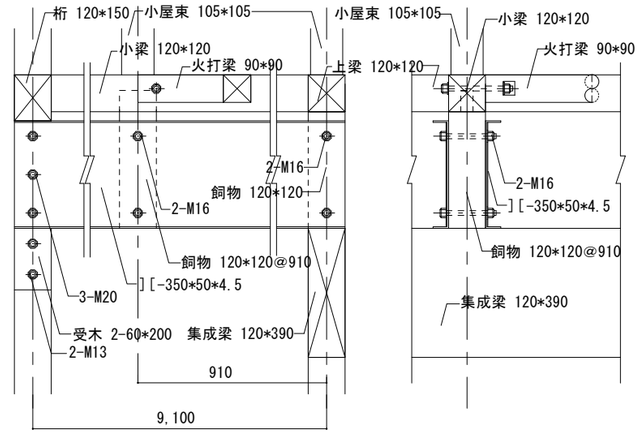
富ヶ丘北部会館新築工事

床伏せ図

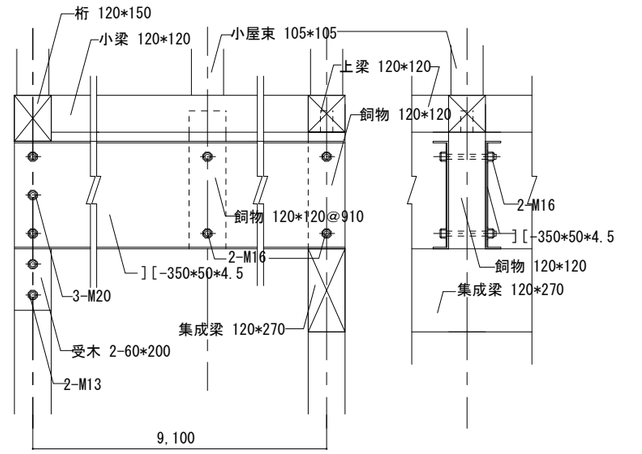
A-32



軽量鉄骨梁と梁・柱の接合詳細図 S=1/20



受梁H=390取合詳細図



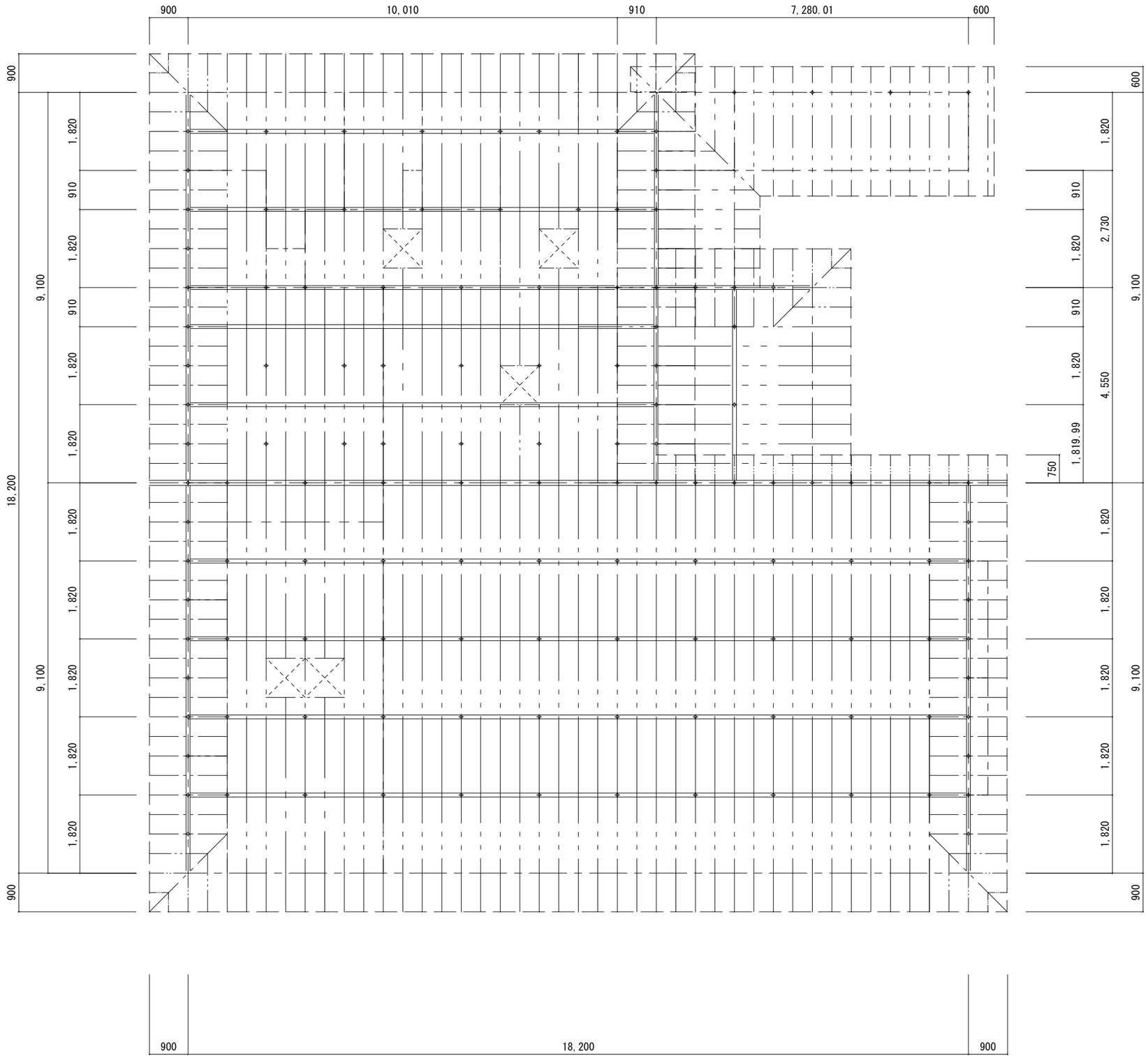
受梁H=270取合詳細図

凡例

部材名	寸法	材質
特記なき部材	120*120	杉
棟木	120*120	杉
母屋	120*120 @1820	杉
小屋束	105*105 @1820以内	杉
たる木	45*90 @455	杉
雲・小屋筋違い	15*90	杉
火打梁	90*90 又は火打金物HB同等品	杉
１階管柱	120*120	杉
小屋裏根太	45*105 @303	杉

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100	富ヶ丘北部会館新築工事
	小屋伏せ図
	A-33



凡例

部材名	寸法	材質
特記なき部材	120*120	杉
棟木	120*120	杉
母屋	120*120 @1820	杉
小屋束	105*105 @1820以内	杉
たる木	45*90 @455	杉
雲・小屋筋違い	15*90	杉

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100

富ヶ丘北部会館新築工事

屋根伏せ図

A-34

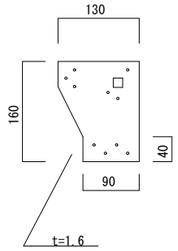
金物標準図

【建築基準法施行令第46条第4項　告示第1460号】　※使用金物はＺマーク金物又は同等認定品とすること。

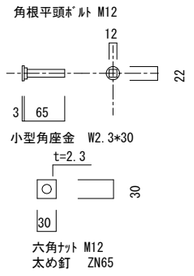
筋かい端部の取合い

筋違いﾌﾟﾚｰﾄ ＢＰ

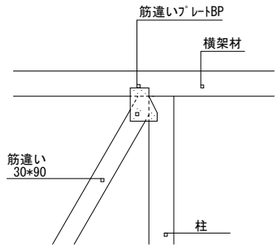
【寸法形状】



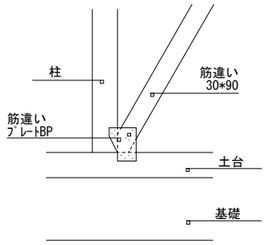
【使用接合具】



【用途】
筋違いを柱と横架材に同時に接合

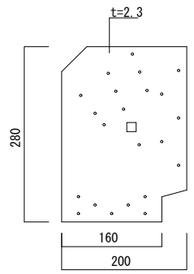


※筋違い断面寸法30*90に使用



筋違いﾌﾟﾚｰﾄ ＢＰ－２

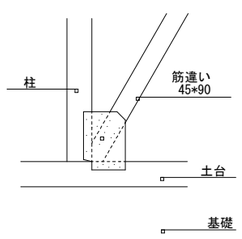
【寸法形状】



【使用接合具】

角根平頭ﾎﾞﾙﾄ　M12
小型角座金　W2.3*30
六角ﾅｯﾄ　M12
ｽｸﾘｭｰ釘　ZS50

【用途】
筋違いを柱と横架材に同時に接合



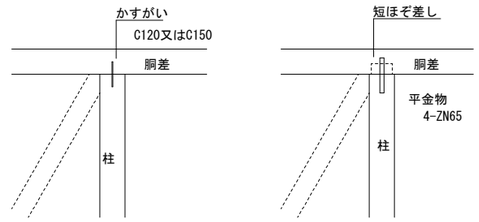
※筋違い断面寸法45*90に使用

※　筋交い部分
角根平頭ﾎﾞﾙﾄM12
ｽｸﾘｭｰ釘　7-ZS50平打ち

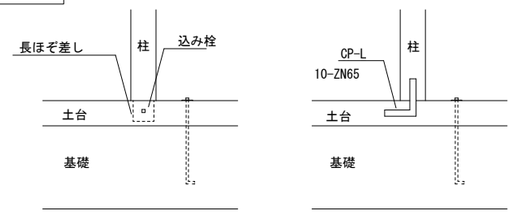
柱及び横架材部分
ｽｸﾘｭｰ釘　各々 5-ZS50平打ち

柱端部の取合い

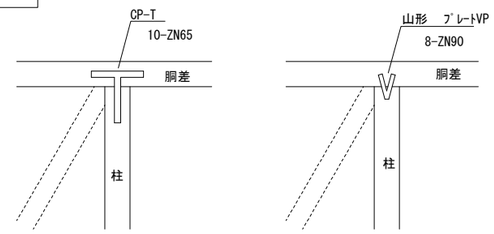
（い）



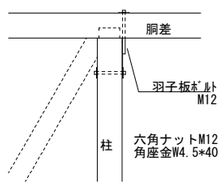
（ろ）

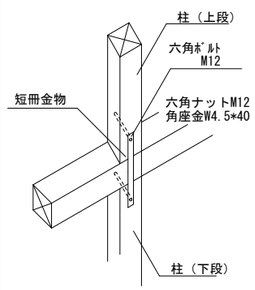


（は）

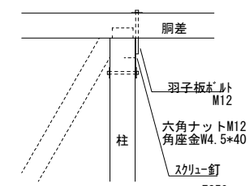


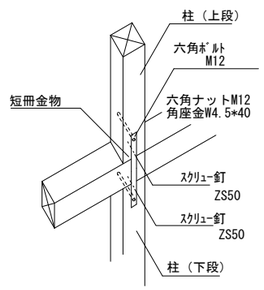
（に）



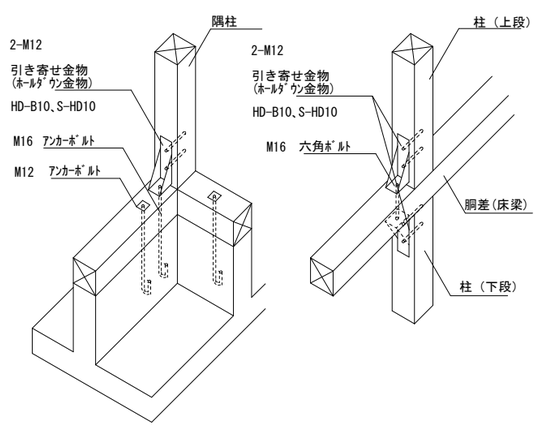


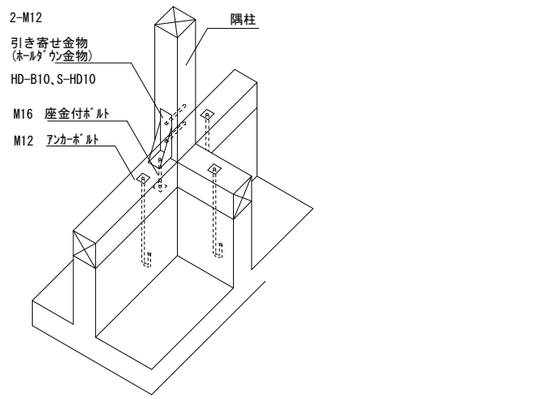
（ほ）



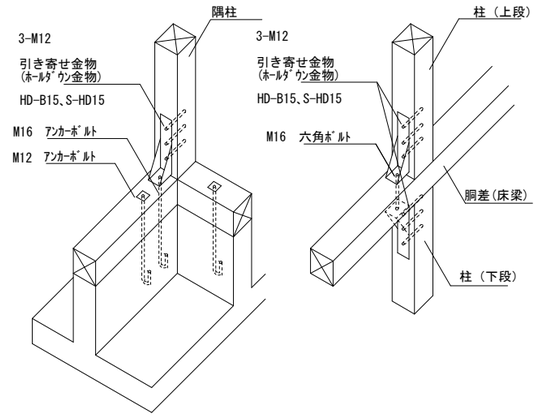


（へ）

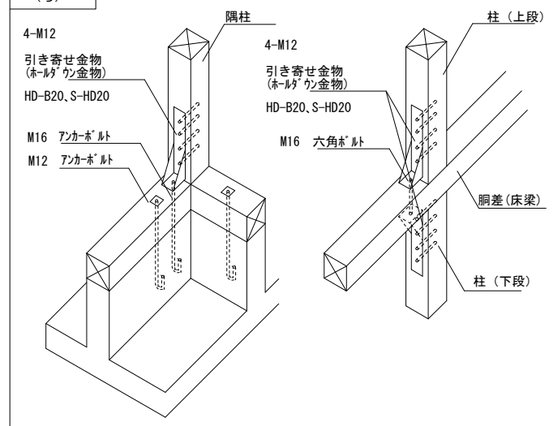




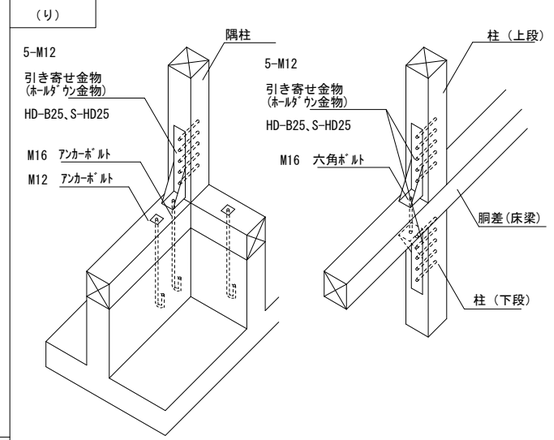
（と）



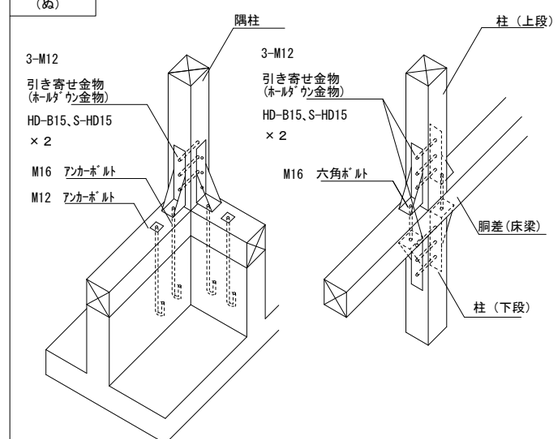
（ち）



（り）



（ぬ）



※（る）は、（ち）金物×２とし、取付は（ぬ）に準ずる。
※（を）は、（り）金物×２とし、取付は（ぬ）に準ずる。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/※※

富ケ丘北部会館新築工事

金物標準図

A-35

建物諸元

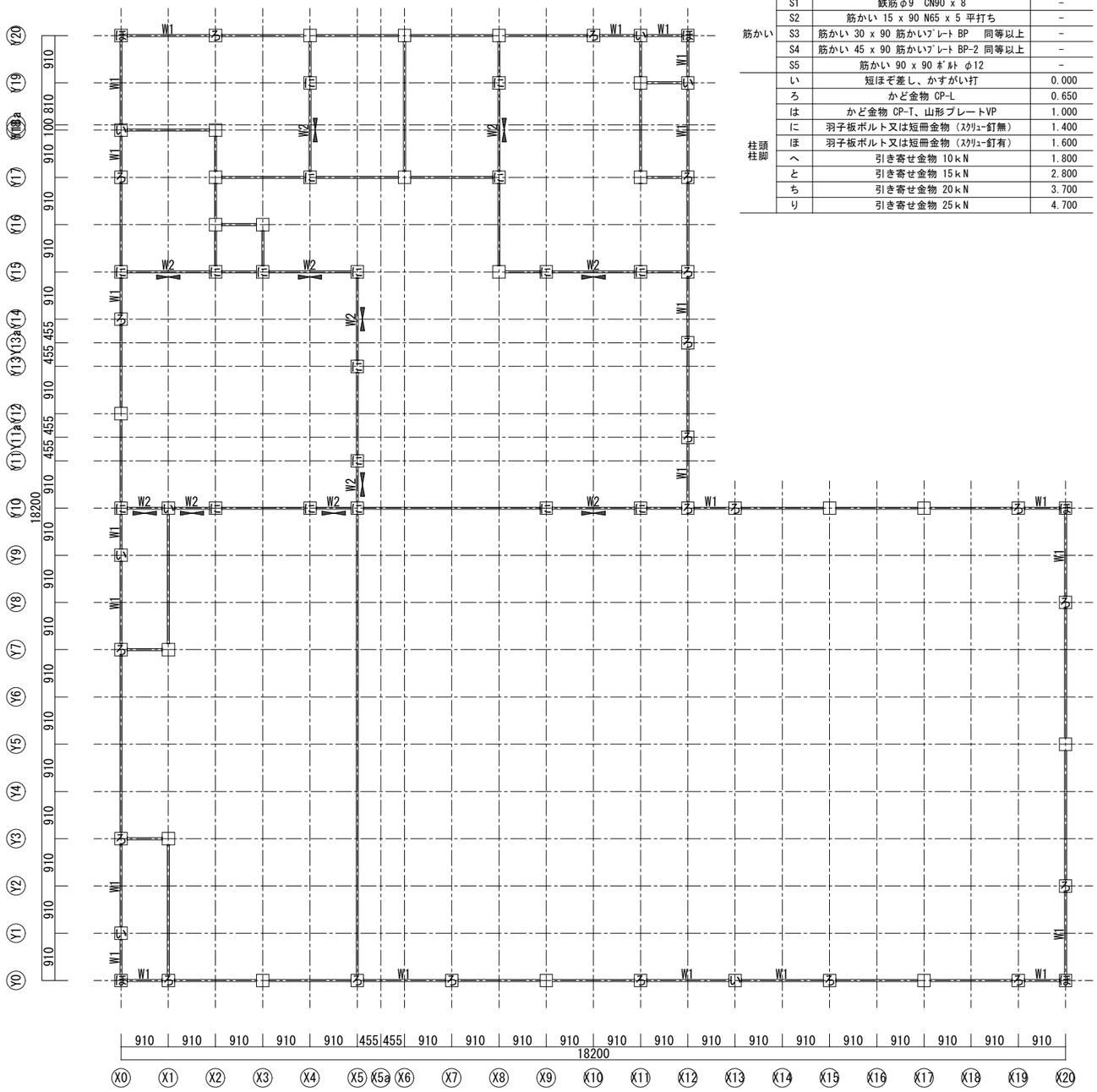
建物名称	富ケ丘北部会館
階数	1
屋根重量	軽い屋根
多雪区域	外
壁量計算用床面積	1F- 264.992 (㎡)

壁倍率

記号	壁倍率	筋かい		面材
		種類	向き	種類
W1	2.500	-	-	告 構造用合板(面材張り大壁)
W2	4.000	木材45x90	X	-

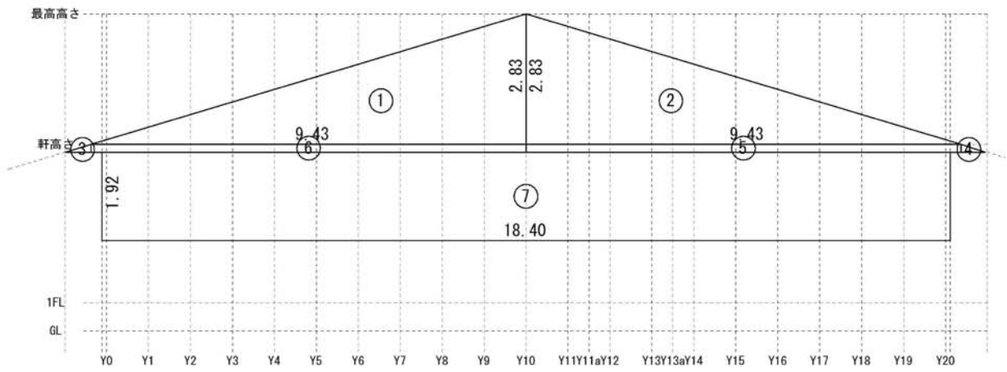
接合部の仕様

種類	記号	仕様	接合部倍率
筋かい	S1	鉄筋φ9 CN90 x 8	-
	S2	筋かい 15 x 90 N65 x 5 平打ち	-
	S3	筋かい 30 x 90 筋かいﾌﾟﾚｰﾄ BP 同等以上	-
	S4	筋かい 45 x 90 筋かいﾌﾟﾚｰﾄ BP-2 同等以上	-
	S5	筋かい 90 x 90 ﾎﾞﾙﾄ φ12	-
柱頭 柱脚	い	短ほぞ差し、かすがい打	0.000
	ろ	かど金物 CP-L	0.650
	は	かど金物 CP-T、山形プレートVP	1.000
	に	羽子板ボルト又は短冊金物 (ｽｸﾘｭｰ釘無)	1.400
	ほ	羽子板ボルト又は短冊金物 (ｽｸﾘｭｰ釘有)	1.600
	へ	引き寄せ金物 10ｋN	1.800
	と	引き寄せ金物 15ｋN	2.800
	ち	引き寄せ金物 20ｋN	3.700
	り	引き寄せ金物 25ｋN	4.700



耐力壁・金物伏図 (S=1/100)

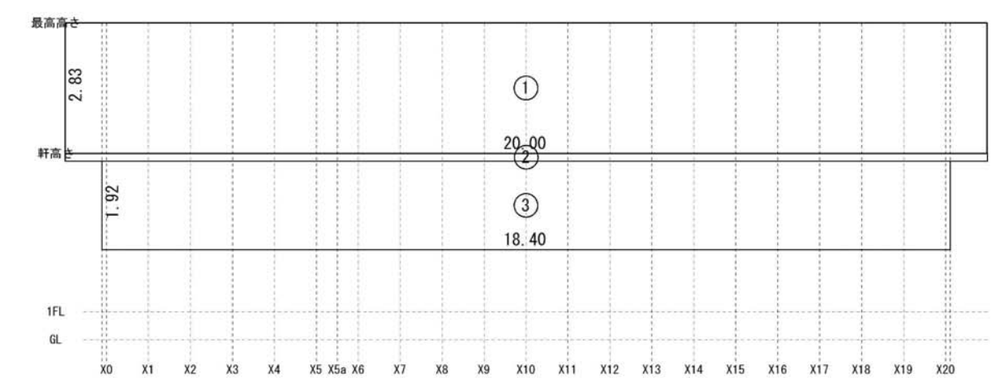
1F X軸方向(Y面)



■見付面積表

区画	形状	幅(m)	高さ(m)	面積(㎡)
①	△	9.433	x 2.830 ÷2	= 13.348
②	△	9.433	x 2.830 ÷2	= 13.348
③	△	0.567	x 0.170 ÷2	= 0.048
④	△	0.528	x 0.170 ÷2	= 0.045
⑤	□	9.433	x 0.170	= 1.604
⑥	□	9.433	x 0.170	= 1.603
⑦	□	18.400	x 1.920	= 35.328
合計	-	-	-	65.324

1F Y軸方向(X面)



■見付面積表

区画	形状	幅(m)	高さ(m)	面積(㎡)
①	□	20.000	x 2.830	= 56.600
②	□	20.010	x 0.170	= 3.402
③	□	18.400	x 1.920	= 35.328
合計	-	-	-	95.330

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ケ丘北部会館新築工事	
S=1/100	耐力壁・金物配置図	A-36

建築基準法の壁量のチェックとバランスよい壁配置のチェック

方向 階	ゾーン	通り *:直接入力	耐力壁の存在壁量の計算					建築基準法の地震に関する必要壁量の計算と壁のバランスよい壁配置のチェック							建築基準法の風に関する必要壁量の計算			建築基準法の壁量のチェック		
			①壁倍率	②壁1枚の長さ(cm)	③ 枚数	④=②x③ 壁の実長 (cm)	⑤=①x④ 存在壁量 (cm)	⑥床面積 (㎡) *:直接入力	⑦床面積に乗ずる係数 (cm/㎡)	⑧=⑥x⑦ 耐震必要壁量 (cm)	⑨=⑤/⑧ 壁量 充足率	壁量充足率による判定 ⑨両側>1 適	⑩壁率比	壁率比による判定 ⑩≧0.5 適	⑪見付面積 (㎡)	⑫見付面積に乗ずる係数 (cm/㎡)	⑬=⑪x⑫ 耐風必要壁量 (cm)	⑭必要壁量	⑮存在壁量	判定 ⑮≧⑭ 適
X軸方向 1F	北側 1/4	Y16～Y20	**2.500**	**182.000**	**1**	**182.000**	**455.000**													
			2.500	91.000	2	182.000	455.000	49.686	11.000	546.546	1.665	適			65.324	50.000	3266.200	3266.200	7189.000	適
	中央	Y5～Y16	4.000	91.000	3	273.000	1092.000													
			4.000	182.000	4	728.000	2912.000	132.496	–	–	–									
			2.500	91.000	2	182.000	455.000													
	南側 1/4	Y0～Y5	2.500	91.000	2	182.000	455.000	82.810	11.000	910.910	1.998									
			2.500	182.000	3	546.000	1365.000													
	合計						7189.000	264.992	11.000	2914.912	–	–	–	–						
Y軸方向 1F	西側 1/4	X0～X5	2.500	91.000	4	364.000	910.000													
			2.500	182.000	3	546.000	1365.000	82.810	11.000	910.910	4.496									
			4.000	182.000	2	364.000	1456.000													
			4.000	91.000	1	91.000	364.000													
	中央	X5～X15	4.000	182.000	1	182.000	728.000													
			2.500	136.500	2	273.000	682.500	140.777	–	–	–									
			2.500	182.000	1	182.000	455.000													
			2.500	91.000	1	91.000	227.500													
	東側 1/4	X15～X20	2.500	182.000	2	364.000	910.000	41.405	11.000	455.455	1.998									
	合計						7098.000	264.992	11.000	2914.912	–	–	–	–						

柱頭・柱脚の接合部および胴差しと通し柱の接合部のチェック

①階	②柱位置	③方向	柱頭・柱脚の接合部							
			出隅の柱 (◎:自動,○:直接入力, ×:その他) ④2階の柱	 ⑤1階の柱	⑥ X,Y方向 :A1(土補正値) x B1 + A2(土補正値) x B2 - L1 (*:直接入力) 斜め方向:取りつく耐力壁のうち最大の壁倍率		⑦N	⑧接合部の仕様	⑨接合部倍率	⑩判定
1F	X0Y0	X	–	◎	2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600	ほ	1.600	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600			
	X1Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X5Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X7Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X11Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X13Y0	X	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X15Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X19Y0	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X20Y0	X	–	◎	2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600	ほ	1.600	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600			
	X0Y1	Y	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X20Y2	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y3	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y7	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X20Y8	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y9	Y	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X0Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650			
	X1Y10	X	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X2Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X4Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X5Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
		Y			4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400			
	X9Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X11Y10	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y10	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650			
	X13Y10	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X19Y10	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X20Y10	X	–	◎	2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600	ほ	1.600	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600			
	X5Y11	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y11a	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X5Y13	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y13a	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y14	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650			
	X2Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X3Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X5Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
		Y			4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400			
	X9Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X11Y15	X	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y15	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y17	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X4Y17	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X8Y17	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y17	Y	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X0Y18	Y	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X4Y19	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X8Y19	Y	–	×	4.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	1.400	に	1.400	適
	X12Y19	Y	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X0Y20	X	–	◎	2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600	ほ	1.600	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600			
	X2Y20	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X10Y20	X	–	×	2.5(+0.0) x 0.5	– 0.6	0.650	ろ	0.650	適
	X11Y20	X	–	×	0.0(+0.0) x 0.5	– 0.6	-0.600	い	0.000	適
	X12Y20	X	–	◎	2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600	ほ	1.600	適
		Y			2.5(+0.0) x 0.8	– 0.4	1.600			

(注)斜め方向から耐力壁が取りつく場合は、出隅柱として計算します。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ケ丘北部会館新築工事	
S=1/100	壁量計算書・N値計算書
	A-37

町道 6.0m道路

道路中心線

道路境界線

広報掲示板設置
設置位置については、監督員との協議による

N

3,000
6,000
3,000

7,500

道路境界線 3,600 10,920 1,820 5,460 3,100

2,730 5,830

3,860
3,640
7,500

身障者用駐車場

6,000

3,000 3,000

町道
6.0m道路

DN スロープ UP

UP スロープ DN

低木植込

ベンチ

足洗場

◀ポーチ DN UP

コンクリート柵立ち上がり撤去
150D*600H

緑石ブロック撤去
L=26500
既存U字溝300A 新設グレーチング蓋設置

9,100

18,200

道路中心線

道路境界線

敷地境界線

申請建物

2階既存富ケ丘北部会館

犬走り

既存遊歩道アスファルト舗装撤去

自転車置場
ｽﾍﾟｰｽのみ

犬走り

9,100

溝線

ベンチ

犬走り

3,780 1,820 18,200 3,100

道路境界線

遊歩道

1F延焼ﾗｲﾝ

新設遊歩道アスファルト舗装

19,300

19,300

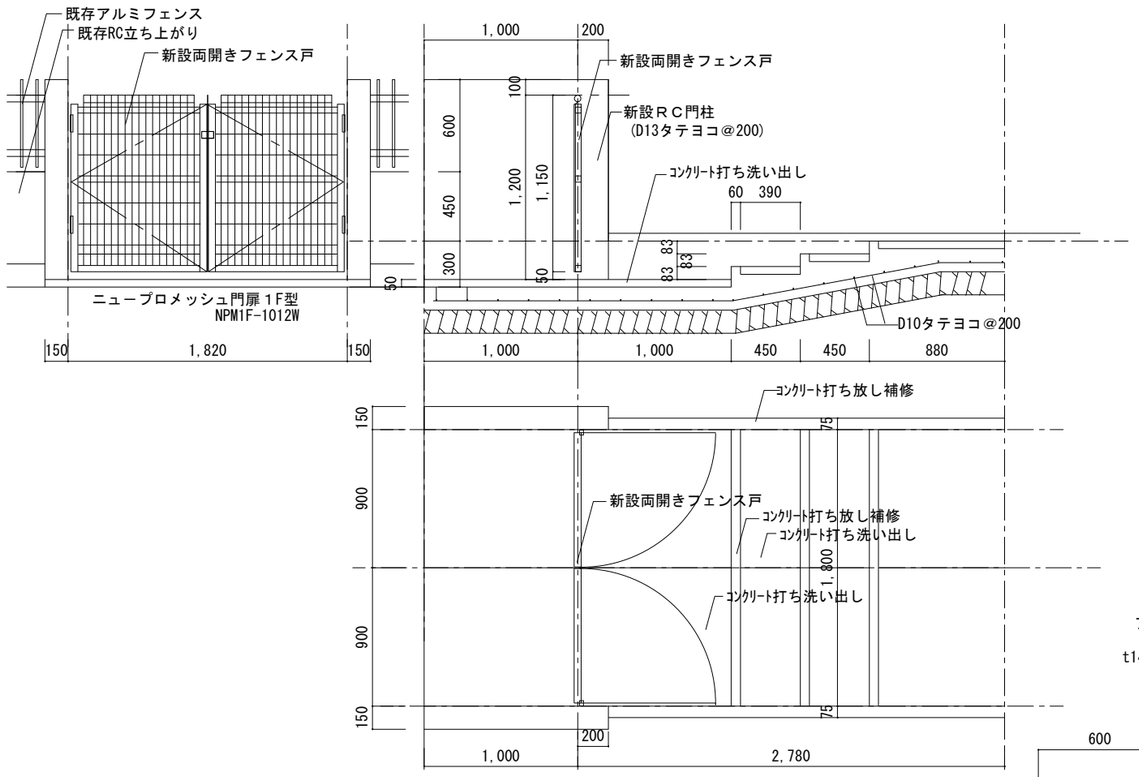
1F延焼ﾗｲﾝ

敷地境界線

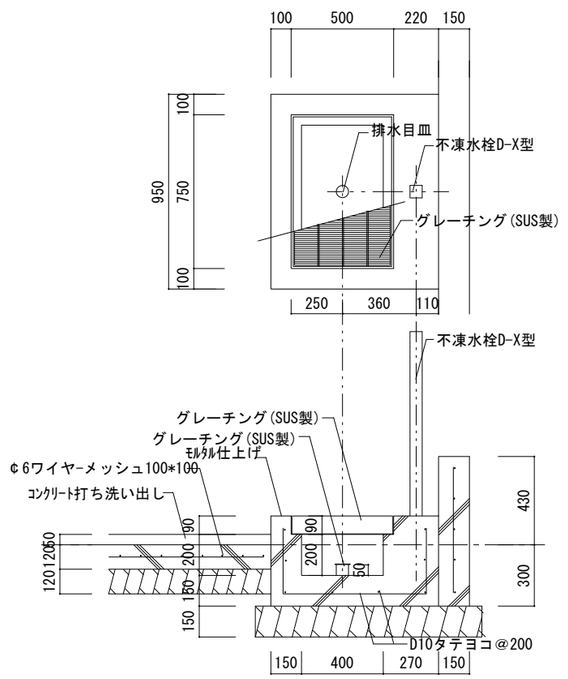
外構平面図 S=1/200

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

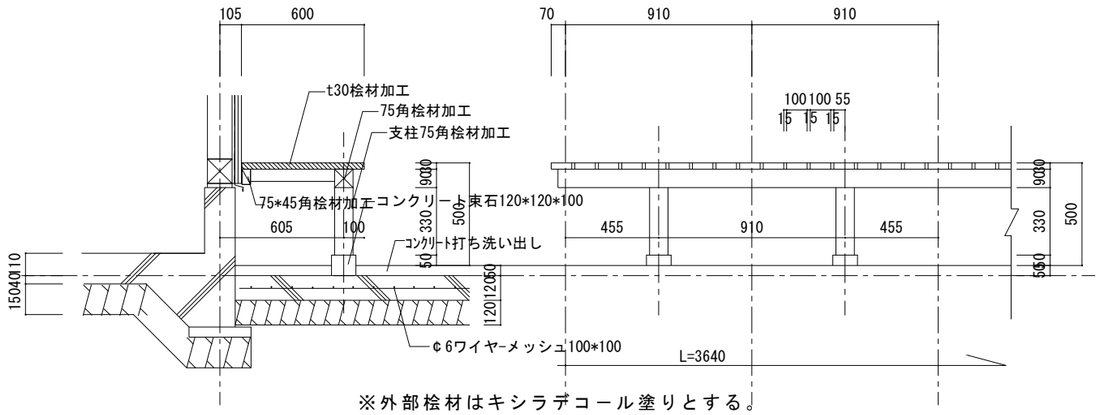
	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/200	外構平面図
	A-38



西側通用口詳細図 S=1/40

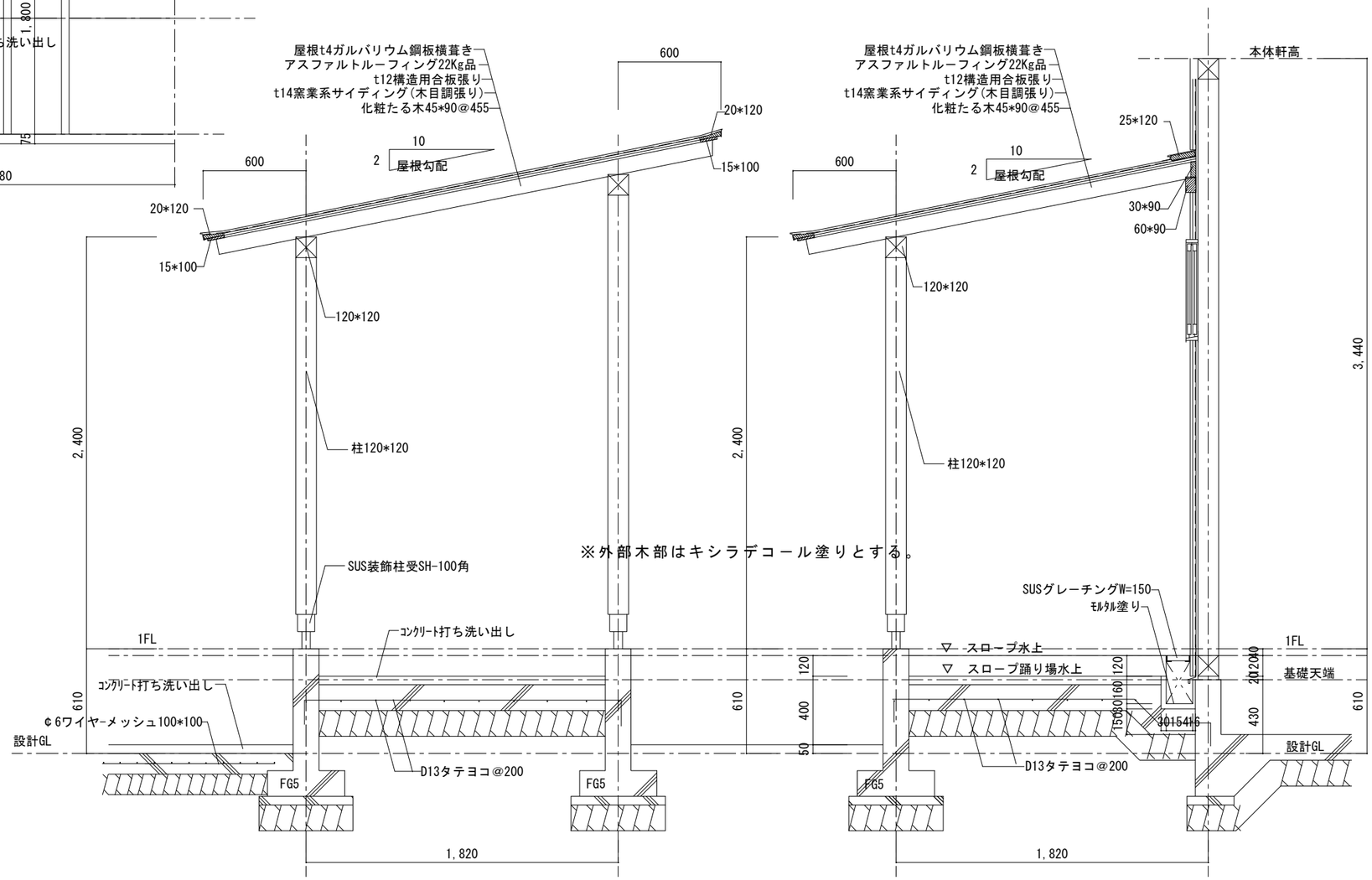


足洗い場詳細図 S=1/30



※外部桧材はキシラデコール塗りとする。

外部ベンチ詳細図 S=1/30

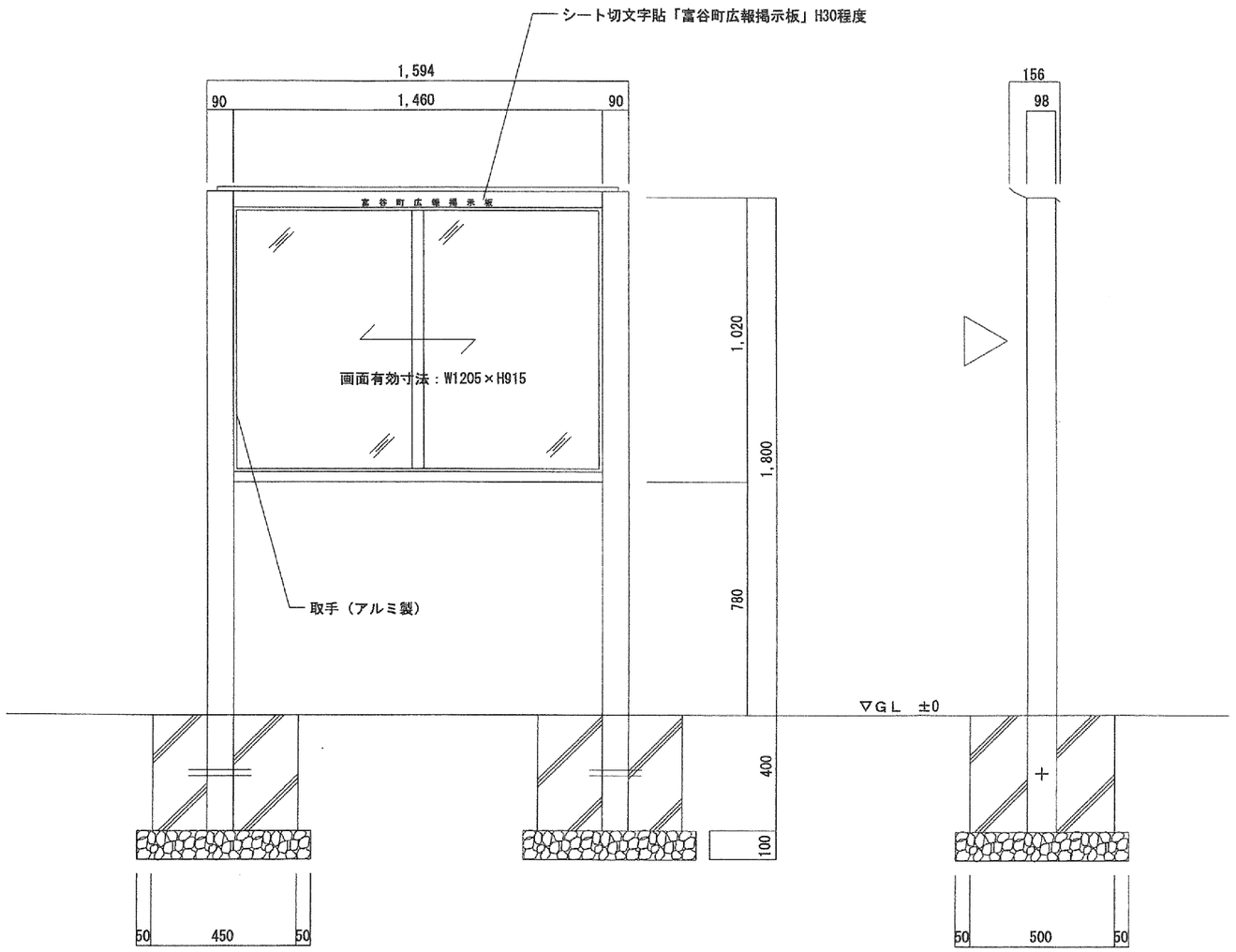


※外部木部はキシラデコール塗りとする。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/40 S=1/30	富ヶ丘北部会館新築工事 外構詳細図

A-39



本体：アルミ押出鋳（ブラウン）
地域シャワーコム　FWR　４０１２同等
面板：ｔ５透明アクリル板　引戸式
掲示面：樹脂レザー貼（グリーン）
※製品は、生産物賠償責任保険加入品とする。

※設置場所については、係員の指示による。

広報掲示板詳細図 1/20

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/20	富ヶ丘北部会館新築工事
	広報掲示板詳細図
	A-40

竣　　工

平成２６年１１月

富　谷　町

材質：ステンレスＨＬ程度

寸法：２００Ｗ×１００×２Ｔ　程度

※設置場所については係員の指示による。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

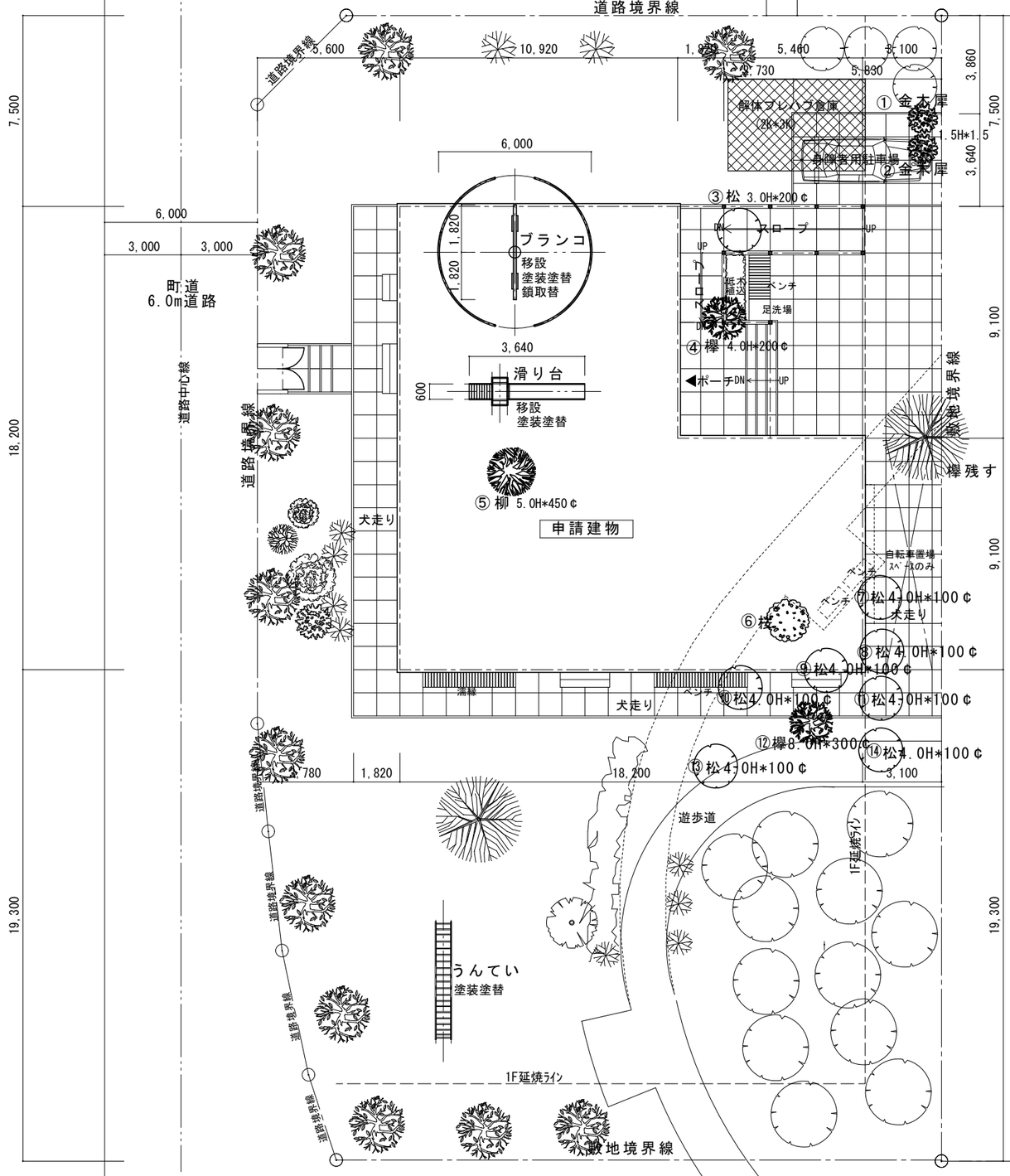
富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/1	竣工表示板
	A-41

町道 6.0m道路

道路中心線

道路境界線

N



配置図 S=1/200

②　①

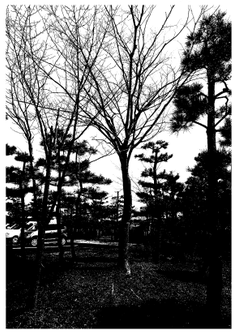
③

④

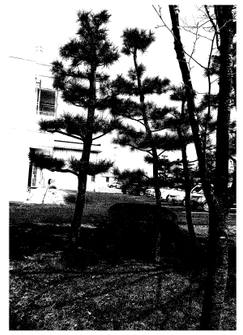
⑤

⑥　⑫

⑥　⑫　⑨

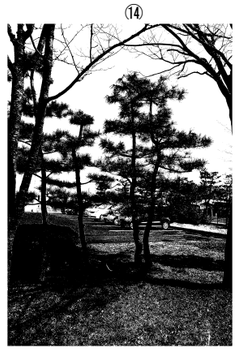


⑦　⑧　⑪　⑥



⑩　⑬

⑭



※番号表記される植栽は伐採処分とする

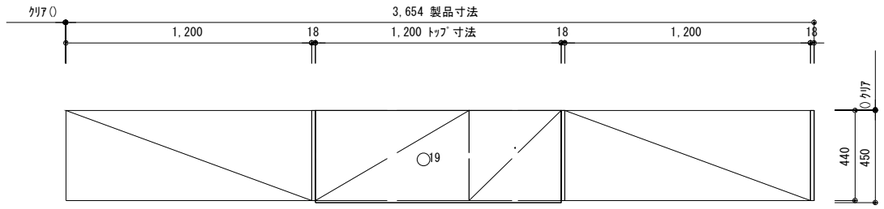
滑り台

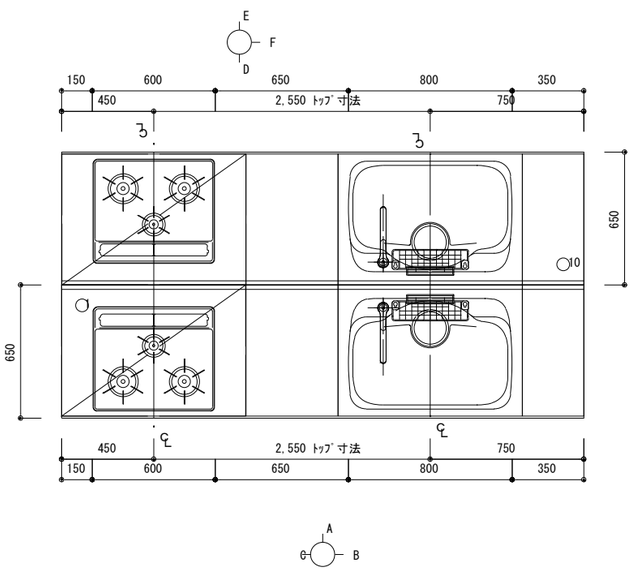
ブランコ

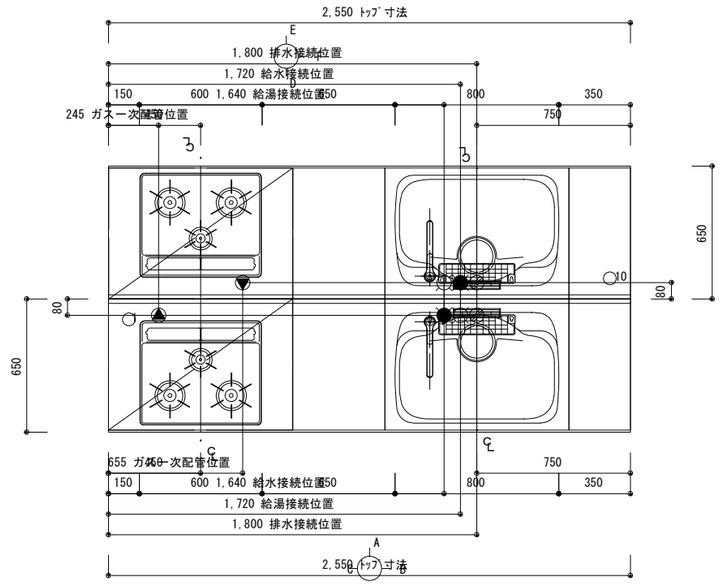
特記事項
※敷地内設置の遊器具(ブランコ・滑り台)は、
監督員の指示に従い敷地内に移設とする。
※計画建物に支障及ぼす植栽に関しては監督員の指示に従い伐採徹去する。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/200	敷地内遊器具・植栽配置図
	A-42







03616304

タイプ	アミィ１３
シリーズ	170:ファミリア／ハンドル取手
扉カラー	Y170:スムースイエロー
トップ	ステンレス/シルクエンボス

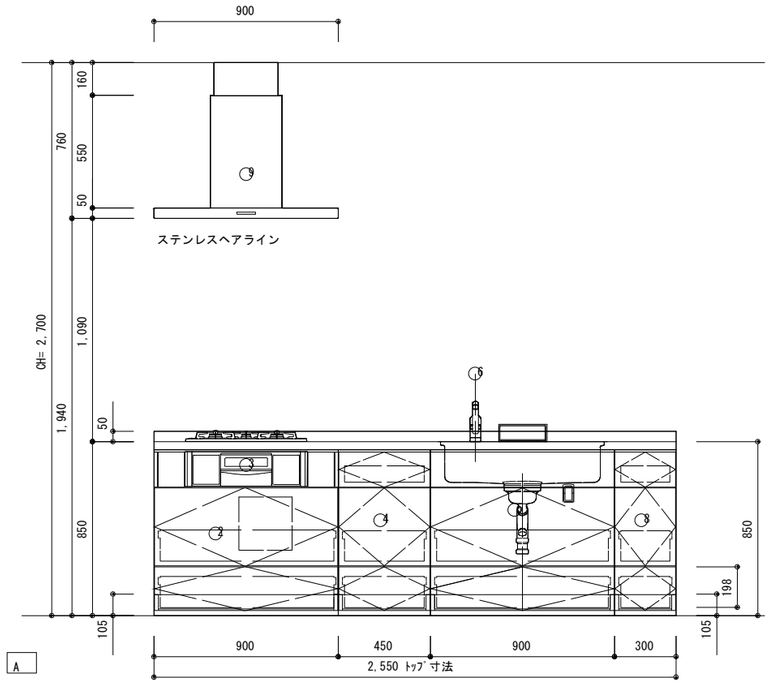
部材リスト

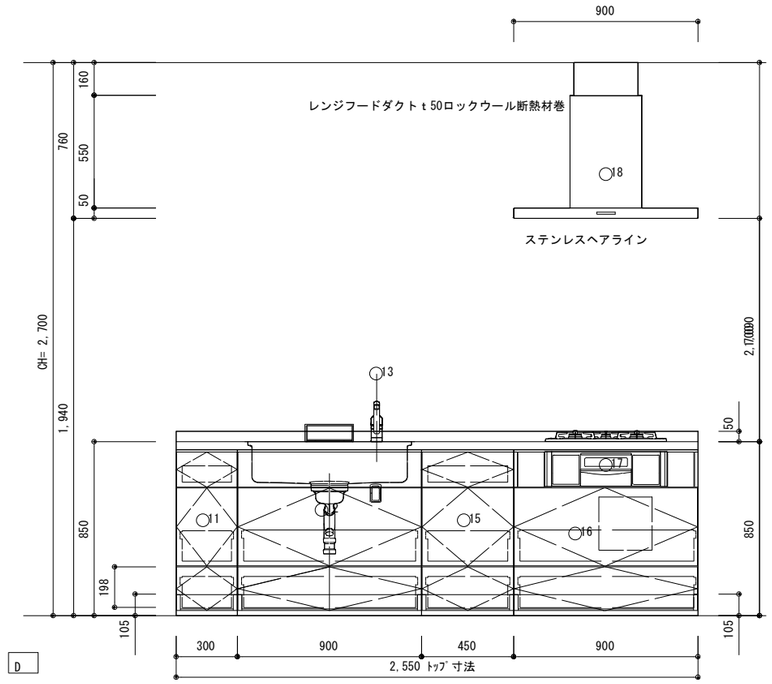
	品　名	品　番	数	備　考
1	１Ｉ型ワークトップ・Ｄ６５０	T1AKAT255A3NLXR	1	【ＫＡ】シルクエンボス
2	センターポケット	A3NL	1	
3	コンロ用キャビ（引出しＴ）	T1GNA090BBY170N	1	小引出し銀・スライドストッカー
4	ＧＯ９／３口ガスコンロ・ガラス	H1G633B0R2VX	1	１６００トップ・無水片面焼・シルバー
5	調理台用キャビ（引出しＴ）	T1TAI045BBY170N	1	スライドストッカー３段
6	シンク用キャビ（引出しＴ）	T1S1F090BBY170N	1	ドアポケット付
7	ＳＧ２２／シングルレバー水栓	SFHE421SYXNJGX	1	ノルマーレ（エコハンドル）・寒冷地用
8	ジャバラホース排水セット	HJHSET1	1	フランジシンク樹脂排水以外用
9	調理台用キャビ（引出しＴ）	T1TAI030BBY170N	1	スライドストッカー３段
10	ＨＨ４１／センターフードＦＥＤ	MCFED942HS	1	セット品番／Ｗ９００・ステンレス・連動
11	Ｄ型ワークトップ・Ｄ６５０	T1AKAT255A3NRXL	1	【ＫＡ】シルクエンボス
12	センターポケット	A3NR	1	
13	調理台用キャビ（引出しＴ）	T1TAI030BBY170N	1	スライドストッカー３段
14	シンク用キャビ（引出しＴ）	T1S1F090BBY170N	1	ドアポケット付
15	ＳＧ２２／シングルレバー水栓	SFHE421SYXNJGX	1	ノルマーレ（エコハンドル）・寒冷地用
16	ジャバラホース排水セット	HJHSET1	1	フランジシンク樹脂排水以外用
17	調理台用キャビ（引出しＴ）	T1TAI045BBY170N	1	スライドストッカー３段
18	コンロ用キャビ（引出しＴ）	T1GNA090BBY170N	1	小引出し銀・スライドストッカー
19	ＧＯ９／３口ガスコンロ・ガラス	H1G633B0R2VX	1	１６００トップ・無水片面焼・シルバー
20	ＨＨ４１／センターフードＦＥＤ	MCFED942HS	1	セット品番／Ｗ９００・ステンレス・連動
21	横並せ式カウンター	T1D4SE120WN	1	１Ｄ４５０片面系・フレークホワイト
22	ライディングドアストッカー	T1D1B120ACJ125N	1	Ｈ２３５０
23	エンドパネル・トール用	T1A044X240AY170	1	１Ｄ４５０系・片面用
24	ＳＧ８５０収納フロア（引出しＴ）	T1DCT075AKY170N	1	１Ｄ４５０・１段引出し・開き扉
25	ＳＧ８５０収納フロア（引出しＴ）	T1D1R045AKY170N	1	１Ｄ４５０・スライドストッカー３段
26	エンドパネル・トール用	T1A044X240AY170	1	１Ｄ４５０系・片面用
27	ライディングドアストッカー	T1D1B120ACJ125N	1	Ｈ２３５０
28	エンドパネル・トール用	T1A044X240AY170	1	１Ｄ４５０系・片面用
29	収納用吊戸棚Ｈ７００・キャッチ	T1WAT075BBY170N	1	開き扉
30	収納用吊戸棚Ｈ７００・キャッチ	T1WAU045BBY170R	1	開き扉
31	側板フィラー	SF9FO09SH1	4	

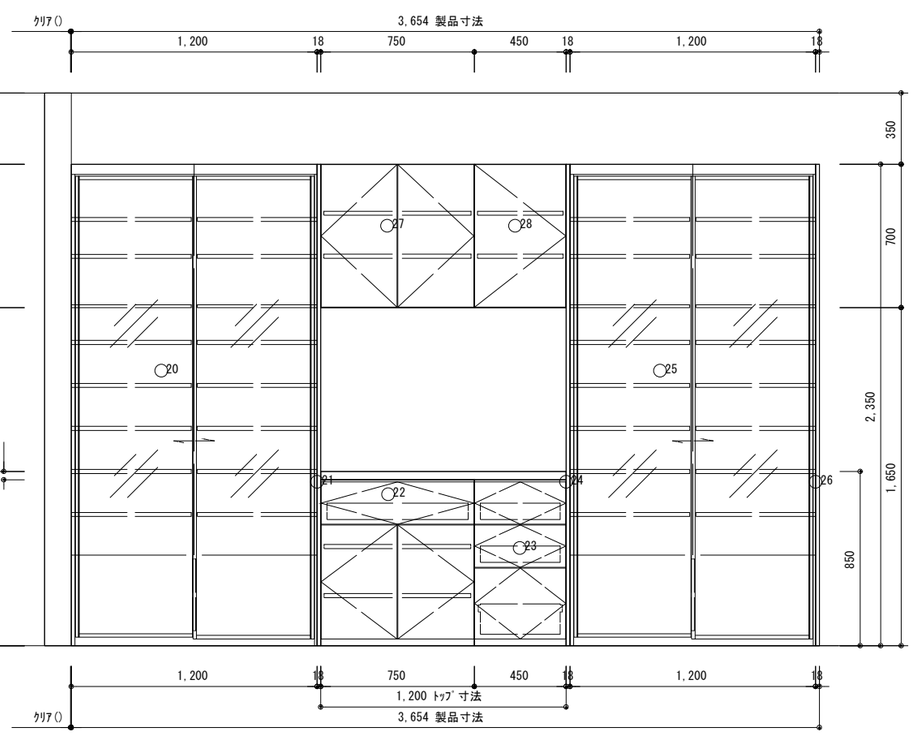
MEMO

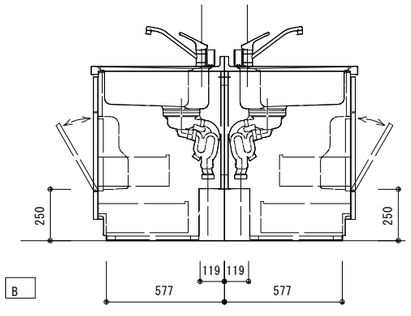
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

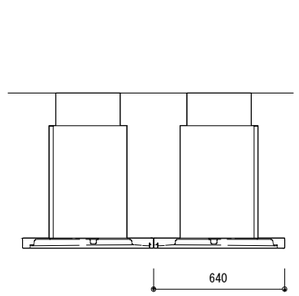
工事名	富ヶ丘北部会館新築工事
縮尺	S=1/30
図面名	調理台・食器棚・カウンター平面図 部材リスト
図面番号	A-43

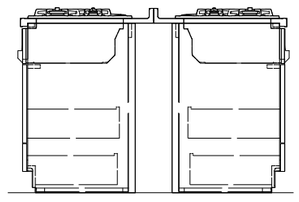


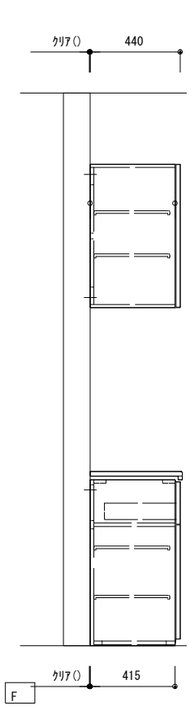












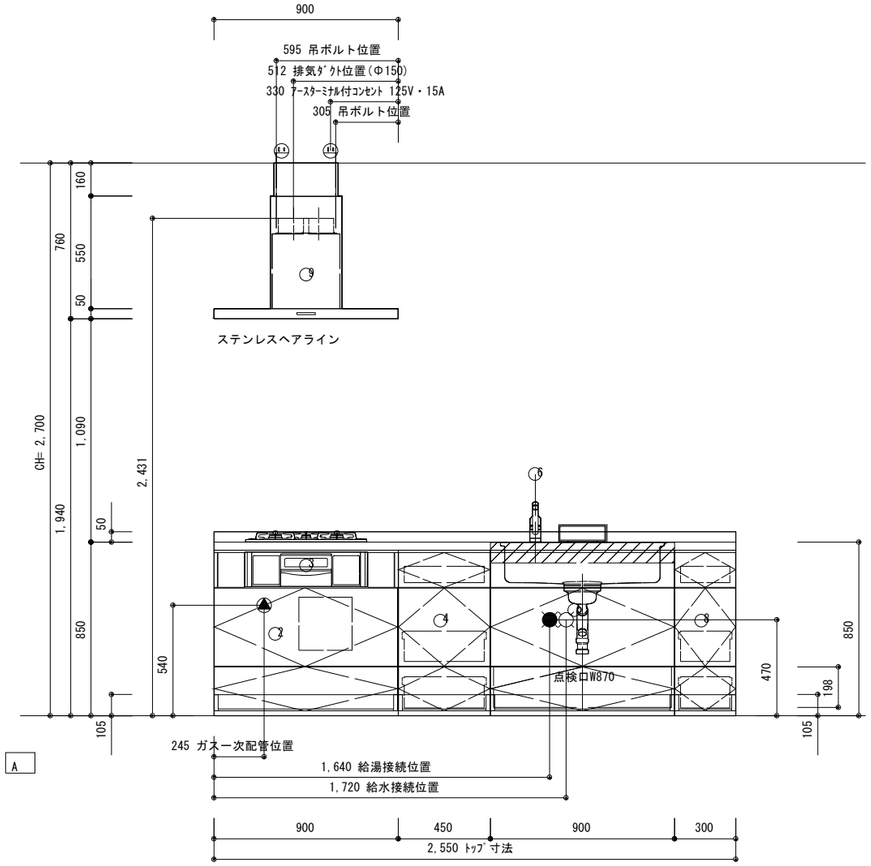
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

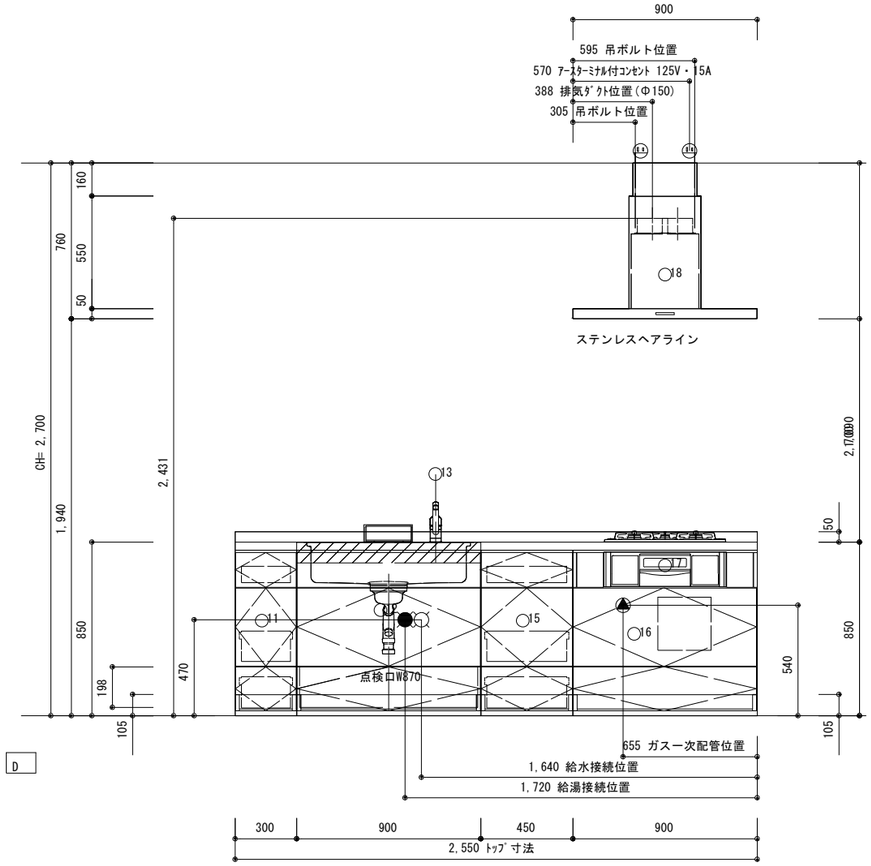
富ヶ丘北部会館新築工事

S=1/30

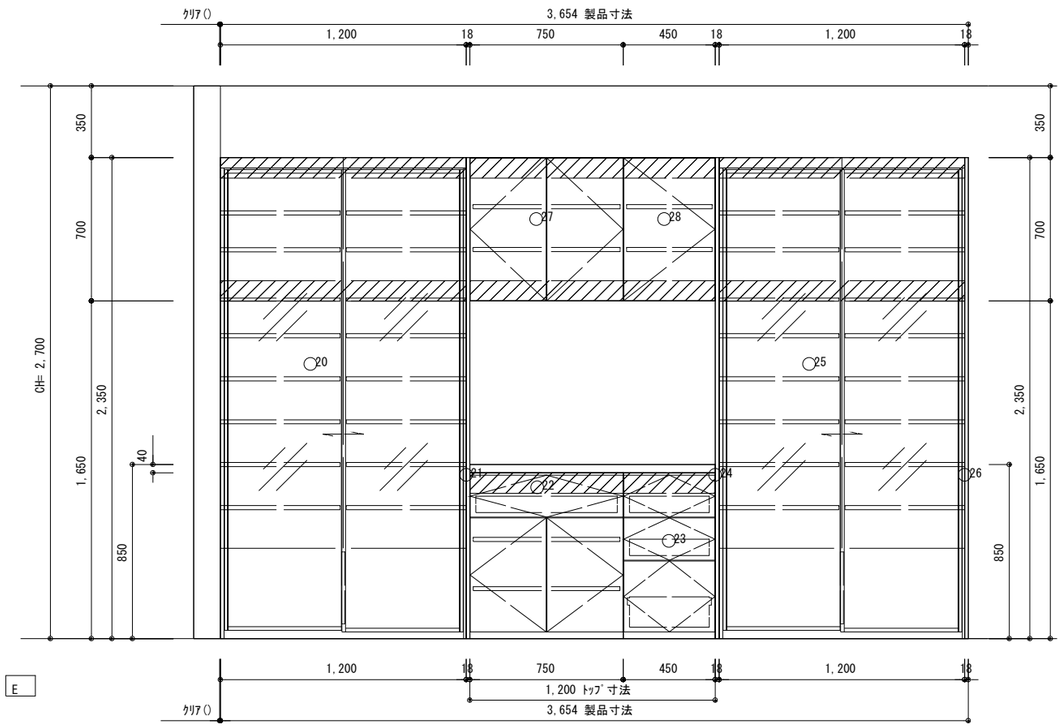
調理台・食器棚・カウンター立面図

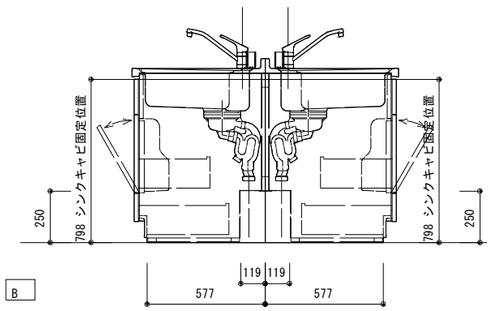
A-44

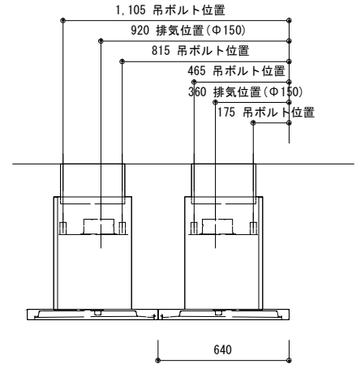


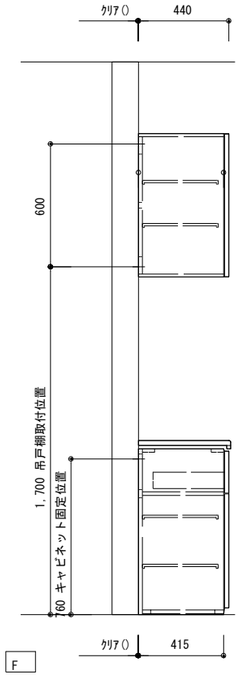


			仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５ **株式会社　図　設　計** 一級建築士第136210号　高橋亨次 TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991					富ヶ丘北部会館新築工事	
							S=1/30	取付け設置図－１	A-45









			仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５ **株式会社　図　設　計** 一級建築士第136210号　高橋亨次 TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991					S=1/30	富ヶ丘北部会館新築工事 取り付け設置図－２	A-46

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　富ケ丘北部会館新築工事

2．工事場所　宮城県黒川郡富谷町富ケ丘三丁目1-396の一部

3．建物概要

建 物 名 称	構　造	階　数	延床面積（㎡）	建築面積（㎡）	消防法施行令別表第一による用途区分	備　考
地区集会所	木造	1 階	264.99	299.77	1項 ロ	

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目	建設別及び屋外	工　事　種　別							屋　外
・空気調和設備									
◎機気設備	新設一式								
・排煙設備									
・自動制御設備									
◎衛生器具設備	新設一式								
◎給水設備	新設一式								
◎排水設備	新設一式								
◎給湯設備	新設一式								
◎消火設備	新設一式								
◎厨房機器設備	新設一式								
◎ガス設備	新設一式								
・さく井設備									
・浄化槽設備									
・昇降機設備									

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　）

6．設備概要　（◎ 印のついたものは、主要方式を示す）

方　式	設　備　概　要
空気調和方式等	・ 空気調和 ・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・ パッケージ方式
	・ 温風暖房 ・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式
	・ 直接暖房 ・ 温水暖房 ・
自動制御方式	・ 電気式　電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御
給水方式	◎ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式 ・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（◎ 分流式 ・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（ ・ 分流式 ◎ 合流式） 放流先　汚　水（◎ 下水道直放流 ・ 浄化槽） 雑排水（◎ 下水道直放流 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途桝）
給湯方式	・ 局所式 ・ 中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓（ ・ 湿式 ・ 乾式）・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ◎ 消火器 ・ スプリンクラー（ ・ 湿式 ・ 乾式）・ 不活性ガス消火 ・ 泡消化 ・ 秋末消火 ・ 連結散水 ・ フード専用簡易自動消火
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（　）　ＫＪ／ｍ３（Ｎ）（供給圧力　Ｐａ） ・ 液化石油ガス ◎ ＬＰＧ

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部整修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。）、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準図という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部整修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（１）項目は番号◎・印のついたものを適用する。

（２）特記事項は◎・印のついたものを適用する。ただし、・印のみない場合は、※印のついたものを適用する。

◎印と◎印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	① 適用基準等	◎ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ◎ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ◎ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行）
	② 機 材 等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド性状は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④ 保 険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画（実施）書を作成し、監督職員に提出する。
	７．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は、工事実績情報に登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力, 水, その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	⑱ 残土処理	・ 構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
	⑰ 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・ なし　・ あり（　　） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・ なし　・ あり（　　） （３）引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（　　） （４）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※ なし　・ あり（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コンクリート（　　） ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・ 木　　材（　　） ・ アスファルトコンクリート（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物（　　）

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	建設リサイクル法	・ 対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
		・ 対象外工事
	⑱ 総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い、報告書を提出する。　・ 別途 総合調整の項目 ・ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　・ 初期運転状態の記録 ・ 末端水栓の水質測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定　・ 水圧調整 測定箇所は、監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。

設置場所	設計用標準水平震度（Ｋｓ）			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中層階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
一層及び地下層	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（２）本工事の施設は（・ 一般の施設　・ 特定の施設）とする。
（３）地域係数は１．０とする。
（４）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
（５）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平総直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ　特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

㉒ 電線類　本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　１．１．１電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ、ＥＭ－ＵＴＰ、ＥＭ－ＭＥＥＳ、ＥＭ－ＥＢＴ）

23．溶接部の非破壊検査　対象配管系統　・ 冷温水　・ 冷却水　・ 消火（水用）　・ 油　・ ガス
検査の種類　・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・ 放射線透過検査（ＲＴ）

㉔ はつり　既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

㉕ 支持及び固定　（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。
（２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。

㉖ 支持金物・固定金具　（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
（２）振動を伴う機器の支持金物のアンカーボルトはダブルナットとする。
（３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉗ 埋戻し土・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の相）　・ 山砂の相

㉙ 地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示による他か、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。

(1)給水管	・ 地中埋設標	・ 埋設用表示テープ
(2)ガス管	・ 地中埋設標	・ 埋設用表示テープ
(3)油　管	・ 地中埋設標	・ 埋設用表示テープ
(4)消火管	・ 地中埋設標	・ 埋設用表示テープ

㉚ 保 温　・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　・ グラスウール）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス　・
	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
	厨室・厨下など	・ カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　　）		・ ステンレス鋼板　・

・ 配管の保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　・ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス　・
	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
	厨室・厨下など	・ 合成樹脂製カバー　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　　）		・ ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー　・

㉛ 塗 装　（１）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※　屋外露出　※　居室
（２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。

㉜ 防食処理　土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）

㉝ 山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが１．５ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。

㉞ 舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉟ 他工事との取り合い　図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。

35．予備品等　ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する（種別ごと最低１個）。

36．施工条件　別添の施工条件明示書による。

章	項　目	特　記　事　項
空気調和・冷房・暖房設備	1．設計温湿度	

	外　気		屋内（設計目標値）					
			一　般　系　統		コンピューター室系統			
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏期	℃	%	２５℃	５０％	℃	%	２４℃	４５％
冬季	℃	%	２２℃	４０％	℃	%	２４℃	４５％

2．ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。
3．煙　突　※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　㎜、高さ　m以上）
4．煙　道　※ 煙道径３００ｍｍ以下は鋼板厚３．２ｍｍ、３００ｍｍを超えるものは４．５ｍｍとする。・ 図示による。（煙道径が４００ｍｍを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。）
5．ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
6．長方形ダクトの工法　・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法　（ ・ 共板　・ スライド）
7．風量測定口　取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
8．チャンバ　（1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
(2)空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びリタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
(3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
9．防煙ダンパ　(1)復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下）
(2)復帰動作　※ 順送り
10．配管材料　（1）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（2）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（3）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）
（4）油管、油用通気管（一般）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（土中）　※ ポリエチレン外面被覆鋼管
（5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管　※ 配管用炭素鋼鋼管　・
（6）空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（7）冷媒管　※ 断熱材被覆鋼管（製造者標準品）　・ 銅管

章	項　目	特　記　事　項
空気調和・冷房・暖房設備	11．弁　類	※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	12．鋼管用伸縮管継手	※　ベローズ形　・ スリーブ形
	13．温度計	※　共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付ける。（配管用はし形、ダクト用は円形） ・ 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
	14．瞬間流量計	※　着脱可能形（※　全数　・　図示による） 着脱可能形の場合、その指示部（・ ４０Ａ用　個　・ １００Ａ用　個　・ ２５０Ａ用　個）を付属する。 ・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（３２ｍｍ以下一管流量計用）
	15．オイルタンク	（１）オイルタンク本体は図示による。 （２）遠隔油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない （３）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。
	16．積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
	17．注油口及び指示ボックス	標準図（機材　６　）による。 ・ 単独形　・ 共用形（　・ ローリーアース付）
	18．消音内貼り	（１）施工箇所は図示による。 （２）内貼りチャンバー形の寸法表示は、外形寸法とする。 （３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
	19．保　温	（１）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む）、仕様は冷温水管の項による。 （２）屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 （３）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要 （４）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） （５）冷凍管（新熱材被覆鋼管）の保温外装 屋内露出部　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ 外装なし　・ 屋外　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ （６）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　　ｍｍとする。
	20．電気工事の範囲	（１）地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事 （２）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途　・ 本工事
	21．塗装	（１）屋内露出裸ダクトの塗装（原室を除く）は　※ 行わない　・ 行う （２）屋内露出冷却水配管の塗装（原室は除く）は　※ 行わない　・ 行う

章	項　目	特　記　事　項
換気設備	① 準拠事項	［ 空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備 ］の当該事項に準ずる。 ・ ５ ・ ６ ・ ７ ・ ９ ・ １８ ・ ２１
	② 開放形遠沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※ 別途　・ 本工事
	③ 厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板　・ ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	④ 厨房用排気ダクト工法	※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	⑤ 厨房用排気フード	（１)フード周囲の天井（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない （２)フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない （３)材質（天井とも）　※ ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）　・ 亜鉛鉄板
	⑥ 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５、４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。 （　　）

章	項　目	特　記　事　項
排煙設備	1．ダクト	・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（１．６ｍｍ以上）
	2．排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
	3．排煙口解放装置	・ ワイヤー式　・ 電気式（遠隔操作機能　・ 要　・ 不要）
	4．排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

章	項　目	特　記　事　項
自動制御設備	1．中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	2．計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。

章	項　目	特　記　事　項
衛生器具設備	① 大便器洗浄弁	◎ 洗浄タンク方式　・ 洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	② 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし　・ 手洗付
	③ 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（ ・ 小便器一体型　◎ 小便器分離型）
	④ 器具付属水栓	固定こまま（節水こまま）とする。
	5．自動水栓	※ 電源供給方式（ ※　ＡＣ１００Ｖ）　・ 乾電池　・自己給電
	⑥ 温水洗浄便座加熱方式	◎ 瞬間式　・ 貯湯式
	7．大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）

章	項　目	特　記　事　項
給水設備	① 量水器	（１)親メーター　※ 指用　・ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無） （２)子メーター　※ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無）
	② 量水器桝	（１)親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５３） （２)子メーター用　※ 標準図（機材５３）　・ 水道事業者の指定品
	③ 配管材料	（１)一般用 ・ ステンレス鋼管（拡管） ・ 塩ビライニング鋼管　（ＶＡ　・ＶＢ） ・ 粉り粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ） （２)土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ◎ 粉り粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ （３)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ◎ 粉り粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ） ・ 〃　（ＨＩＶＰ） ・ ポリエチレン管 ・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・
	④ 不凍水栓柱	化粧ケーシング（ ◎ アルミ合金製　・ 合成樹脂製 ）
	⑤ 弁　類	（１)水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ （２)その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	⑥ 給水栓	（１)屋内（　※ 一般水栓　・ 耐寒水栓　）　（２)屋外（ ◎ 耐寒水栓　・ 一般水栓　） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	⑦ 埋設深さ	（１)一般敷地内（　　ｍ以上）　（２)敷地内車両道路（　　ｍ以上） （３)公道部分（　※ 水道事業者及び道路管理者規定による　）
	８．保　温	（１)量水器桝内の保温を行う。 （２)屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし 厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ、呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。
	９．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない
	10．水道加入金等	水道加入金　・ 要（・ 本工事　・ 別途 ）　・ 不要 ・ その他（　　）
	11．ステンレス管の接合方法	（１)呼び径６０Ｓ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ｓ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
	12）その他	給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし、器具接続部分を除く。

章	項　目	特　記　事　項
排水設備	① 配管材料	（１)屋内汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 排水用鉛管 ◎ ビニル管 （２)屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ◎ ビニル管 （３)屋外土中汚水、雑排水管 ◎ ビニル管（ＶＰ） ◎ ビニル管（ＶＵ） ・ ビニル管（再生ＶＵ） ・ （４)土間配管用 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 （５)通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ◎ ビニル管（ＶＰ） （６)ポンプアップ排水管 ・ 粉り粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、ビニル管でもよい。

章	項　目	特　記　事　項
排水設備	② 排水桝	・ 桝リストは図面番号（　　） （１)材料　・ ＲＣ　・ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ （２)ふた　・鋳鉄製（ ・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ ＴＢＡ　） ◎ 樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 （３)規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ◎ 市町村別基準（ ◎ 有　・ 無 ）
	３．グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	４．満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
	⑤ 試　験	・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。
	６．放流負担金等	・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事 ）
	７．基礎材	※ 再生クラッシャーラン

章	項　目	特　記　事　項
給湯設備	① 配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管 ◎ 保温付被覆銅管　＜断熱管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	② 弁　類	給水設備の当該事項による。
	③ 湯沸器の排気筒	厚さ０．５ｍｍ以上のステンレス鋼板製とする。
	④ 保　温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｆ)・Ｘ）
	⑤ ステンレス管の接合方法	（１)呼び径６０ＳＵＳ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ｓ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合

章	項　目	特　記　事　項
消火設備	１．配管材料	（１)一　般　（２)地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）　・ 〃　（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （３)二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	２．屋内消火栓種別	・ 易操作性１号消火栓　・ ２号消火栓
	３．消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ　・ ＪＩＳ２０Ｋ
	４．保　温	（１)屋外露出管については給水管に準ずる。 （２)充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する （３)消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
	⑤ 消火器類	（１)消火器　種別　・ 数量（　　） （２)消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 鍵タイプ（　　）

章	項　目	特　記　事　項
厨房機器設備	① 厨房機器類	（１）図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は参考とする。 （２）厨房機器据付要領は、標準図施工７３による。

章	項　目	特　記　事　項
ガス設備	① 配管材料	（１)一般　（２)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による　・ ガス事業者の規定による ・　・ ガス用ポリエチレン管 ・　・
	２．都市ガス	（１)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事
	③ 液化石油ガス	（１)ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（・ １０ｋｇ　・ ２０ｋｇ　・ ５０ｋｇ　本） ◎ ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （３)集会装置　・ 標準図（施工７１）による（　　本組） （４)転倒防止等　・ 標準図（施工７２）［・（ａ）　・（ｂ）］　・ ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・ 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	④ ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（　・ 分離形　◎ 一体形 ）　・ 別途電気工事 外部出力端子　（　・ あり　◎ なし ）
	⑤ 埋設深さ	（１)一般敷地内（　　ｍ以上）　（２)敷地内車両道路（　　ｍ以上） （３)公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	⑥ その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名　称	完　成　書　類	部数	名　称	完　成　書　類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版） （作成は、主たる請負業者が、他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	１部	７ 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は、履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	１部
			②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	１部
２ 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版 （４　機器完成図、５　取扱説明書とまとめて１冊にしてもよい、厚さ８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
②青焼きニつ折り製本	Ａ１版またはＡ２版のニつ折り	１部	８ 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
③青焼きニつ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版ニつ折り） １部は設備課保管	２部	９ 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
④原図

桝リスト

記号	名　称		管低	泥溜	桝蓋	地盤高	備　　考
A	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	90L×100×200	300		A1	GL±0	起点
B	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	90L×100×200	370		A1	GL±0	
C	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	90L×100×200	470		A1	GL±0	勾配は富谷町下水道条例による。
D	ﾄﾞﾛｯﾌﾟ桝	90L×100×200	560		A1	GL±0	
E	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	90L×100×200	600		A1	GL±0	
F	ﾄﾞﾛｯﾌﾟ桝	90L×100×200	650		A1	GL±0	
G	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	90L×100×200	700		A1	GL±0	起点
H	新設公共桝（小口径）	W･L･S×100×200	750		A1	GL±0	富谷町公共桝へ接続（工事範囲）
ｲ～ﾄ	雨水溜め桝		350～600	150	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞA1	GL+150	起点　　勾配は1/100

設備機器表

記号	名　称		電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 Kw	数量	設置場所	型　式
GH-1	ｶﾞｽ瞬間給湯器	型　式　屋外壁掛型 給湯能力　34.1KW（16号ﾀｲﾌﾟ） ｶﾞｽ消費量 29,300Kcal/h(15A) 別売品　台所ﾘﾓｺﾝ　ﾘﾓｺﾝｹｰﾌﾞﾙ	1	100	0.050	1	調理室	ﾘﾝﾅｲ(株)　RUX-A1610W-E

器具リスト

名　称	品　番	男子便所	女子便所	多目的便所	調理室	廊下ホール	屋外		合計	備　　考
ﾀﾝｸ式ｺﾝﾊﾟｸﾄ大便器	CS597B.SH596BA.TCF584R.YH702		2						2	ｳｫｼｭﾚｯﾄP.棚付2連紙巻器
ﾀﾝｸ式ｺﾝﾊﾟｸﾄ大便器	JCS597B.SH596BA.TCF6331EV81.HE3J.YH702			1					1	ｳｫｼｭﾚｯﾄS2.便蓋無.棚付2連紙巻器 埋込ﾘﾓｺﾝ(AC100V)ﾘﾓｺﾝ便器洗浄ﾕﾆｯﾄ
自動洗浄小便器	UFS800C	3							3	
ｺﾝﾊﾟｸﾄ手洗い器	LSE870AP			1					1	自動水栓
ｶｳﾝﾀｰ用楕円形洗面器	L546U,TEN41A	2							2	
ｶｳﾝﾀｰ用角形洗面器	L350C,TEN41A	1							1	
掃除用流し	SK22A,T23AE20C					1			1	
L型手摺	T112CL1C		2			1			3	
跳ね上げ手摺	T112HK7			1					1	
小便器用手摺	T112CU2	1							1	
背もたれ	EWC386C			1					1	
洗面ｶｳﾝﾀｰ（L546U用）	ML60		1						1	
洗面ｶｳﾝﾀｰ（L350U用）	ML45	1							1	
ｶｳﾝﾀｰ前面ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ	MFT4	1	1						2	
化粧鏡	YM4510A	1	2	1					4	
ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ	YKA15			1					1	
ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ	YKA25			1					1	
おだれ石	AB690	1							1	
不凍水栓柱	DMB-V　13×13 L=1200						1		1	
ﾋｰｽﾞｶﾞｽ栓	15×15				1				1	
ｶﾞｽ警報器	LPｶﾞｽ壁付				1				1	
電動水抜き水栓						1			1	

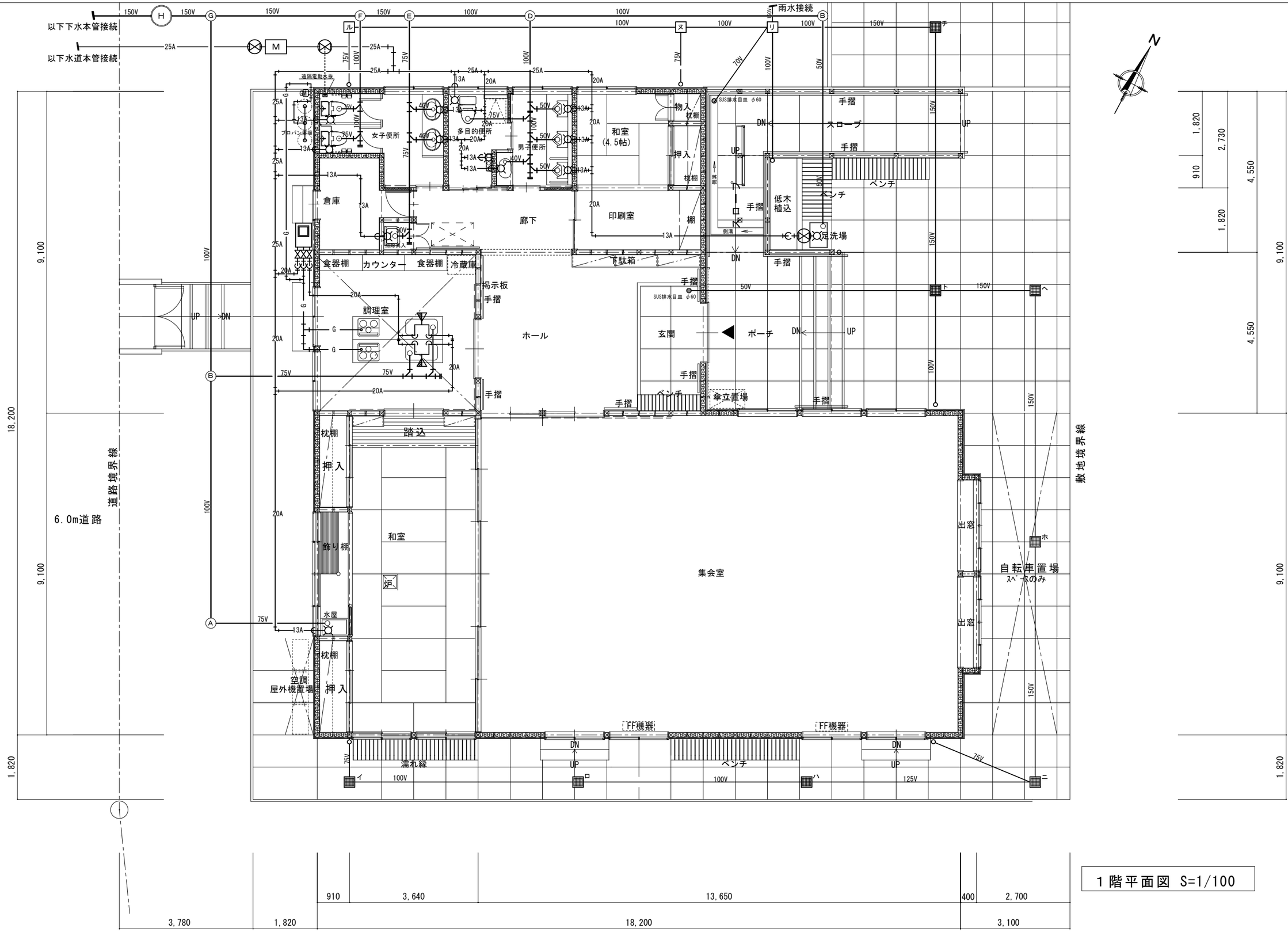
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100

富ヶ丘北部会館新築工事

給排水衛生設備　機器・桝リスト

M- 2



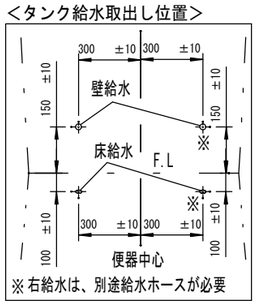
1階平面図 S=1/100

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/100	給排水衛生設備平面図
	M- 3

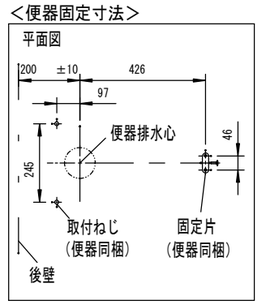
止水栓は、必ず同梱の止水栓（フィルター付）を使用してください。右注記を確認ください。

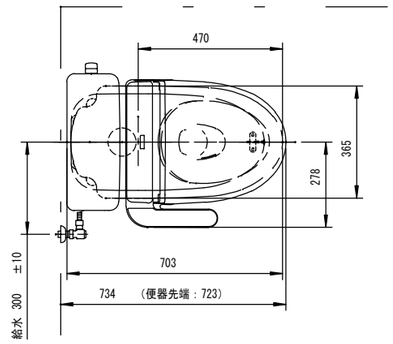
<タンク給水取出し位置>

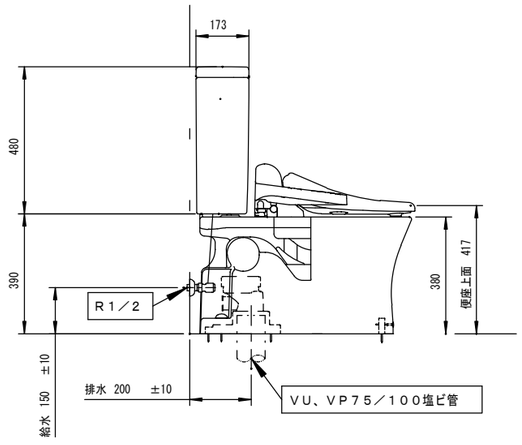


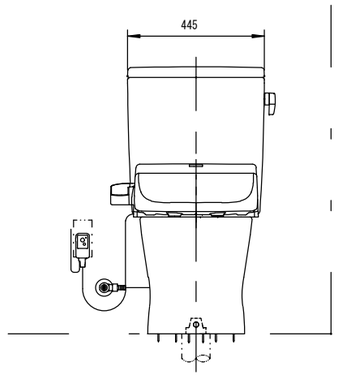
※右給水は、別途給水ホースが必要

<便器固定寸法>









器具明細		
品番	品名	数
※1 CS597B	防露便器（掃除口なし）	1
SH596BA	タンク・金具一式	1
TCF584R	ウォシュレットP	1
	紙巻器	1

※1：75／100鉛管接続の場合

T90SW75	排水ソケット（75mm）	1
T90SW100	排水ソケット（100mm）	1

〈防露便器（掃除口なし）〉
：塩ビ排水管を床面より60±5mmの高さで切断してください。
排水管が仕上げ面と同じ高さの場合は、アダプター「HH01001R」を別途手配してください。
：取付面がコンクリート・モルタルなどの場合は、樹脂プラグ「HH04060（φ8、10個1組）」を別途手配してください。
：VU、VP75／100塩ビ管共用の接続用ソケットは、便器に同梱されています。

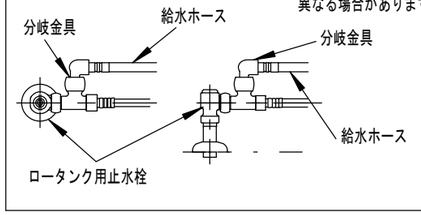
〈タンク・金具一式〉
：給水には、最低必要水圧0．05MPa（流動時）を確保してください。（最高水圧0．75MPa）
：右給水の場合、給水ホース「TN98L2X20」を別途手配ください。
：既存の止水栓が外せない場合の対応品として、フィルターユニットを準備しております。
：給水は、壁床共有ですので〈タンク給水取出し位置〉を参照ください。

〈ウォシュレットP〉
：定格　AC100V−318W　50／60Hz
：電源コードの長さ1．0m
：アース線の長さ0．2m
：電源コンセントは、水や小水がかからない位置に設置してください。
また、壁給水の真下部に電源コンセントを設置したり、給水用ホースと電源コンセントを接触させないでください。感電・発火の原因になります。

<ウォシュレット（WL）給水>

壁給水の場合　床給水の場合

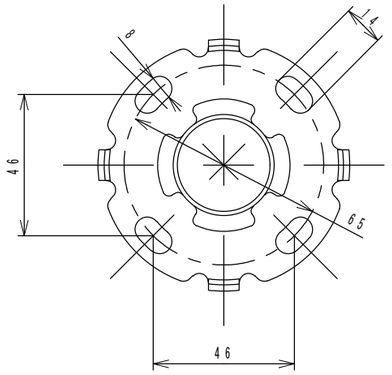
分岐水栓接続詳細図ですので、止水栓の形状と方向が図面中と異なる場合があります。



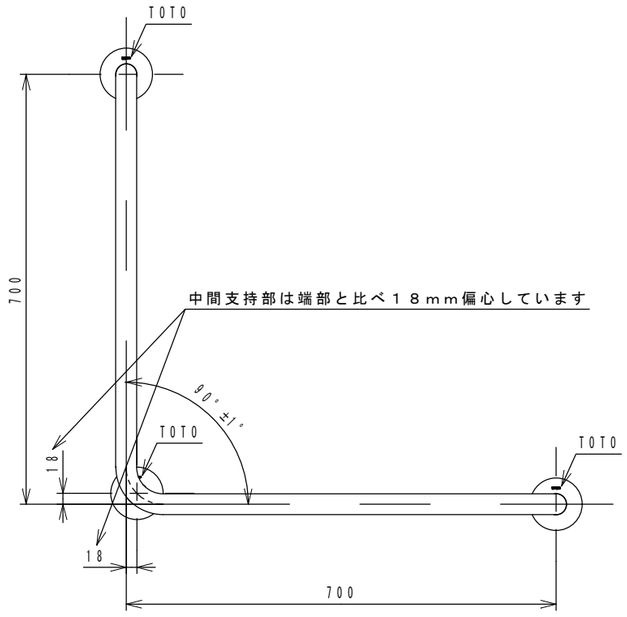
仙台市泉区虹の丘1丁目4番地の5
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/20	ツイントルネード防露便器	M− 4

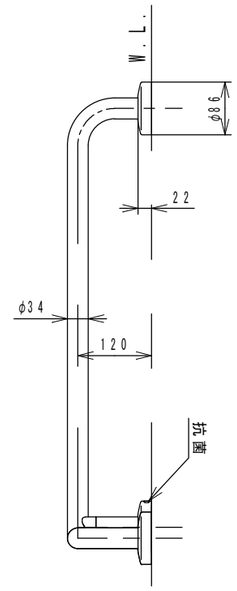
色番	色彩	記号
#DB9	ディープブルー	6.7PB1.3/5.1
#NA	木目調ナチュラル	
#NW1	ホワイト	
#P7	アテンションレッド	5.8R 3.2/10.7
#SC1	パステルアイボリー	3.0Y 8.7/0.9

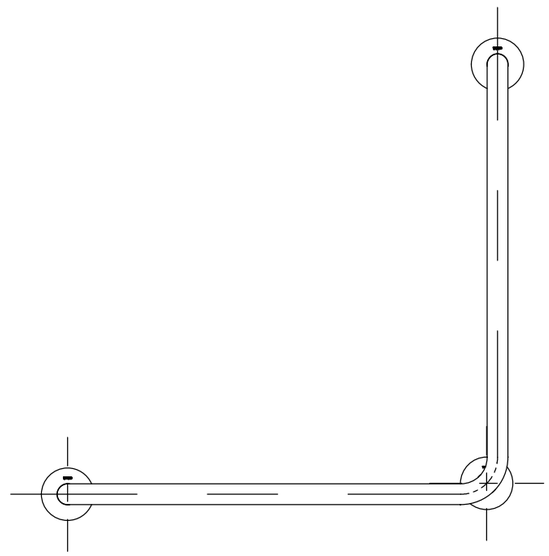


取付座詳細(1:2)



左壁設置の場合





右壁設置の場合

手すりを取り付ける際は、施工方法にあった指定の固定金具を必ず使用してください
材質：ステンレスの表面に軟質塩化ビニール樹脂を被覆

左右勝手共通

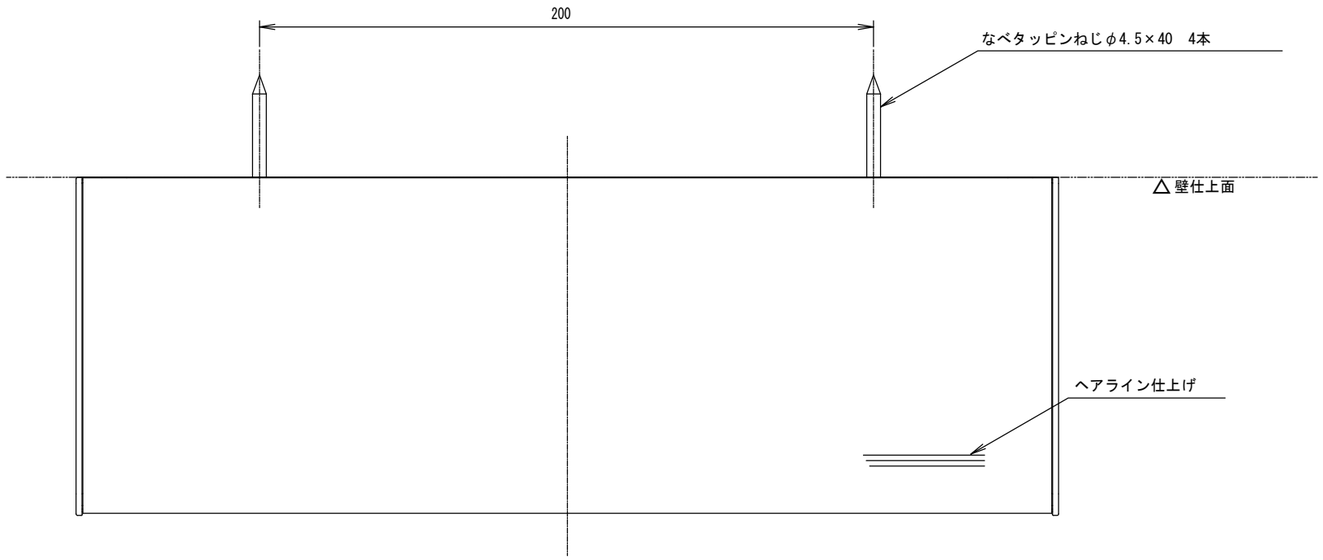
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

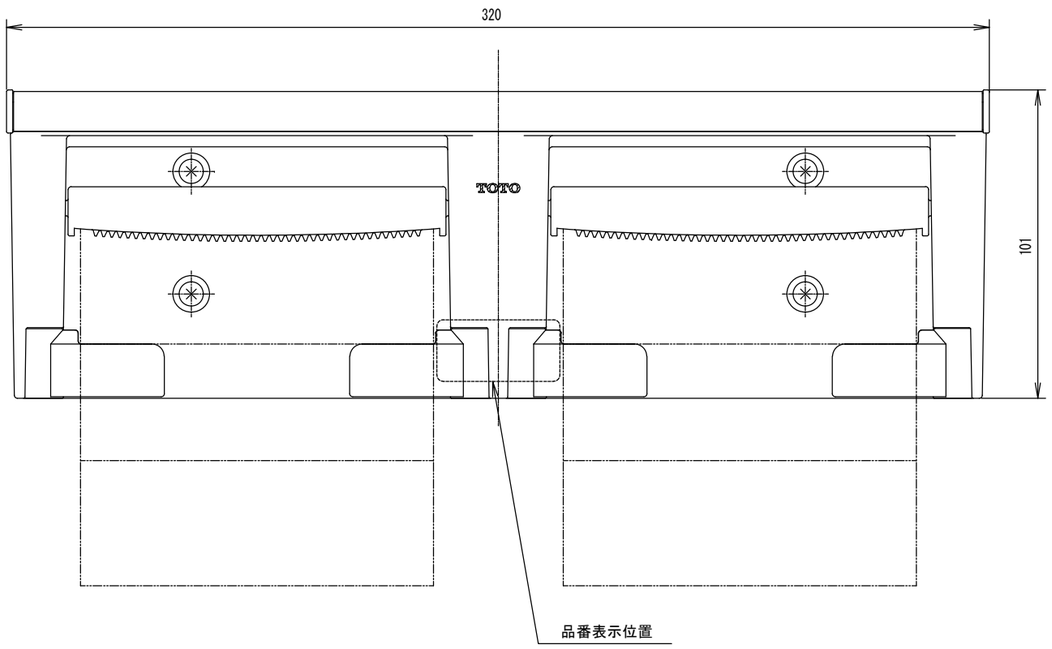
S=1/10

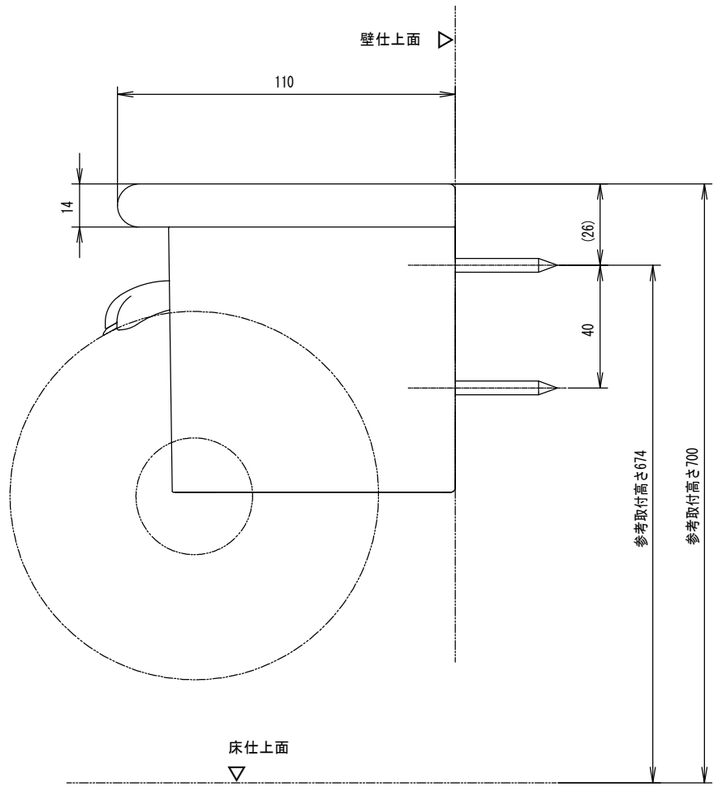
富ヶ丘北部会館新築工事

パブリック用手すり（樹脂被覆タイプ）

M- 5







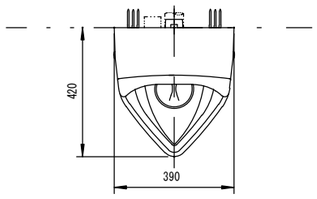
¥U+203B壁取付には、必ず付属の座金φ12、ｔ1.2　4枚を使用してください。
※ワンハンドカット機能付き
※耐荷重品

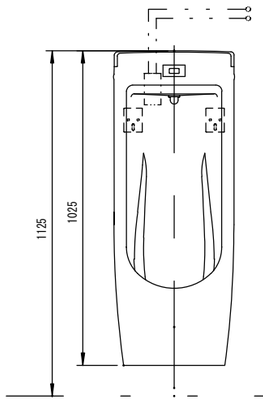
¥U+25CF使用可能ペーパー：外径φ120mm以下、幅105mm～114mm、芯の内径φ38mm
¥U+203B但し、ペーパー芯のないペーパーでも内径φ32～38mmのものであれば使用できますが、
残り少なくなると芯棒から外れやすくなることがあります。

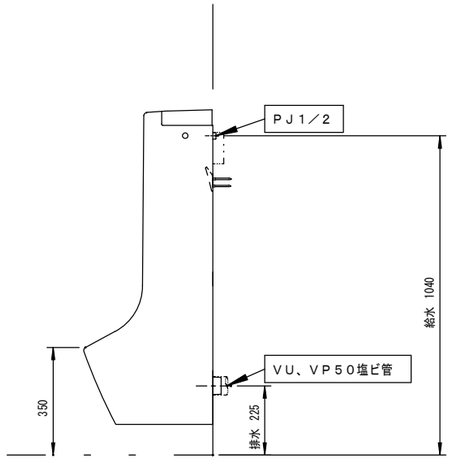
●取付面には厚さ１２mm以上の合板を使用する。
●取付面が薄壁の場合は、事前に３０mm以上の補強木入れる。
¥U+25CF取付面がコンクリート下地の場合は、別途固定金具(品番：T110D28　樹脂プラグ20個入り　φ6×30)を使用する。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/2	富ヶ丘北部会館新築工事
棚付二連紙巻器　(YH702)	M- 6







器　　具　　明　　細		
品　　番	品　　名	数
※1 UFS800C	自動洗浄小便器	1

※1：UFS800Cの内訳

US800C	自動洗浄小便器	1
T64CP	壁フランジ	1

〈自動洗浄小便器〉

：給水には、最低必要水圧０．０７ＭＰａ（流動時）を確保してください。
（最高水圧０．７５ＭＰａ）

：上水、再生水どちらでも使用可能です。
※再生水をご使用の場合は、使用可能な水質範囲をホームページ
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｃｏｍ－ｅｔ．ｃｏｍ／ｋｉｋｉ／
または、各支社営業センターでご確認ください。

：１個用スイッチボックス（カバーなし）（ＪＩＳ　Ｃ　８３４０）
（現場手配）

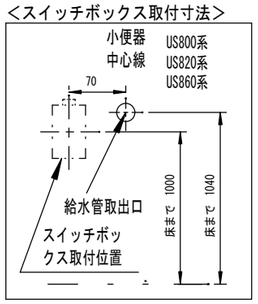
：電源　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ

：小便器取付面がコンクリート・モルタルなどの場合は、樹脂プラグ
「ＨＨ０４０６０（φ8、１０個１組）」を別途手配してください。

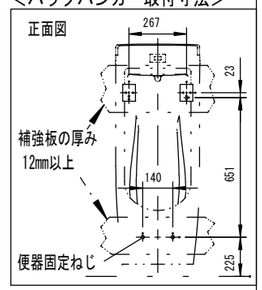
：乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に１２mm以上（合板または
硬質石膏ボード等）、補強板に１２mm以上のＪＡＳ規格合板相当を
お使いください。

：汚垂石を設置の場合は、汚垂石上面が仕上げ面となりますので、
器具取付寸法にご注意ください。

＜スイッチボックス取付寸法＞

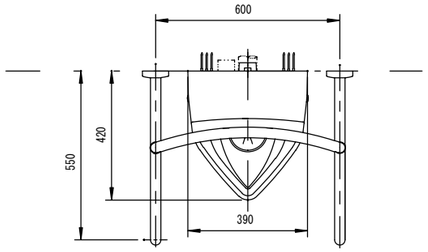


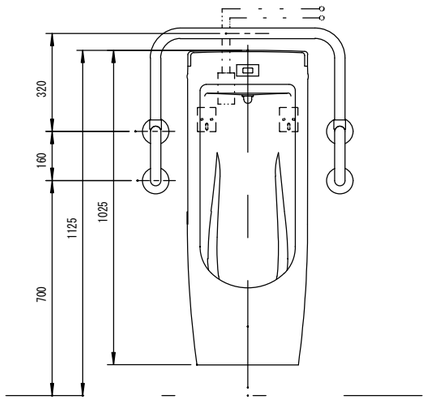
＜バックハンガー取付寸法＞

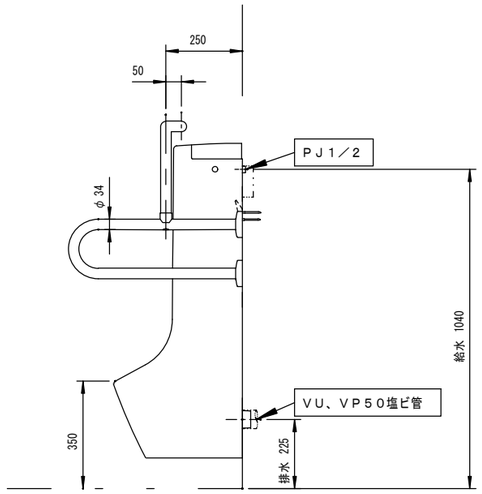


仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/20	富ヶ丘北部会館新築工事	M－ 7
	自動洗浄壁掛小便器	







器　具　明　細		
品　番	品　名	数
※1 UFS800C	自動洗浄小便器	1
T112CU2	手すり	1

※1：UFS800Cの内訳

US800C	自動洗浄小便器	1
T64CP	壁フランジ	1

〈自動洗浄小便器〉

：給水には、最低必要水圧０．０７ＭＰａ（流動時）を確保してください。
（最高水圧０．７５ＭＰａ）

：上水、再生水どちらでも使用可能です。
※再生水をご使用の場合は、使用可能な水質範囲をホームページ
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｃｏｍ－ｅｔ．ｃｏｍ／ｋｉｋｉ／
または、各支社営業センターでご確認ください。

：１個用スイッチボックス（カバーなし）（ＪＩＳ　Ｃ　８３４０）
（現場手配）

：電源　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ

：小便器取付面がコンクリート・モルタルなどの場合は、樹脂プラグ
「ＨＨ０４０６０（φ８、１０個１組）」を別途手配してください。

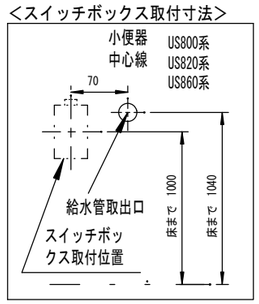
：乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に１２mm以上（合板または
硬質石膏ボード等）、補強板に１２mm以上のＪＡＳ規格合板相当を
お使いください。

：汚垂石を設置の場合は、汚垂石上面が仕上げ面となりますので、
器具取付寸法にご注意ください。

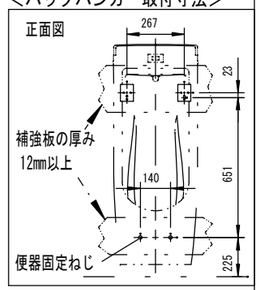
〈手すり〉

：施工方法にあった当社指定の固定金具を別途手配してください。

＜スイッチボックス取付寸法＞

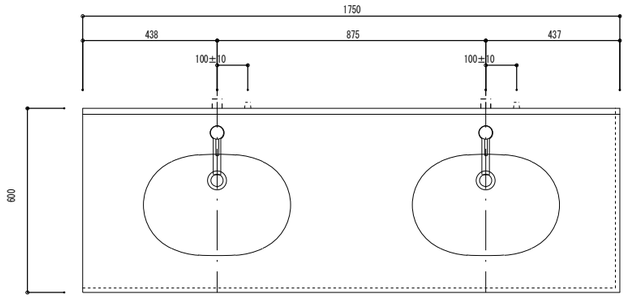


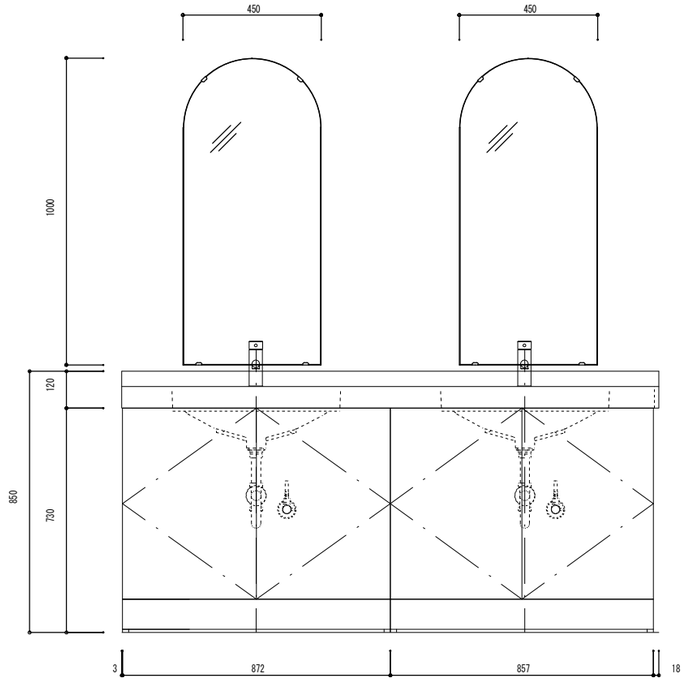
＜バックハンガー取付寸法＞

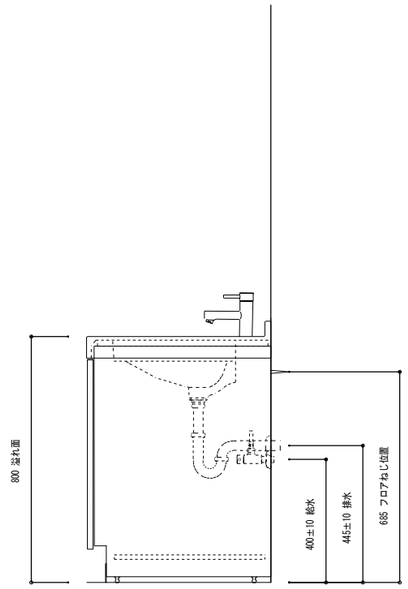


仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/20	自動洗浄壁掛小便器（手すり付）
	M－ 8







＜ｶﾗｰ情報＞

※ｶｳﾝﾀｰ色：ｵﾆｯｸｽﾎﾜｲﾄ

※洗面器色：ﾎﾜｲﾄ

※ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ色：ﾎﾜｲﾄ

＜工事情報＞

※ 給水接続は、R1／2

　排水接続管径 Φ32

※木ねじ位置に固定用木桟(巾90×厚み45)を入れること(別途工事)

※木桟の耐荷重1.96KN/m

※壁との隙間ｺｰｷﾝｸﾞ及び壁面の防水仕上げは別途工事

※配管別に下記必要部材を別途手配してください

　32A鋼管（R1　1／4）の場合、TH500-32（排水配管用アダプター）を別途手配してください

　40塩ビ管（VP／VU）の場合、TH500P32（排水配管用アダプター）を別途手配してください（40塩ビ管は、乾式工法にかぎります）

※化粧鏡の取付は、現場対応のこと

器　具　明　細

品　番	品　名	数
ML60L1750ENX11W	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ	1
L546U#NW1	洗面器	2
TLC11AR	単水栓	2
T6PM1	排水金具(Pﾄﾗｯﾌﾟ)	2
TLC4A1F	止水栓	2
MFT4S1729DDNB11W	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ扉式	1
YM4510FA	化粧鏡	2

＜製品情報＞　※ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙは底板付きです
（給排水用穴加工のこと）

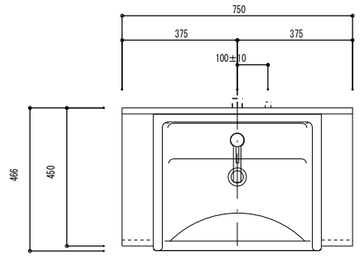
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

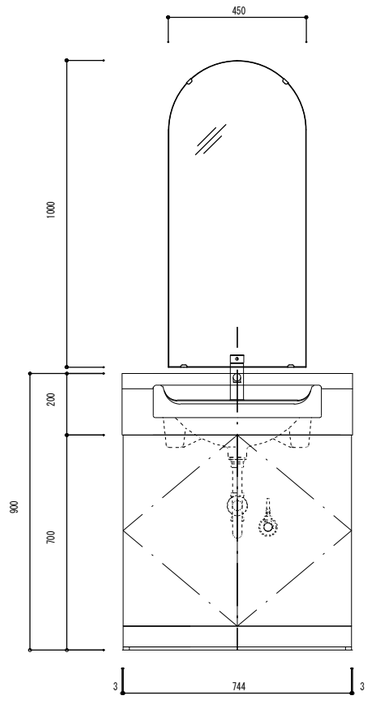
S=

富ヶ丘北部会館新築工事

マーブライトカウンター（ミラー2）

M- 9





＜ｶﾗｰ情報＞

※ｶｳﾝﾀｰ色：ｵﾆｯｸｽﾎﾜｲﾄ

※洗面器色：ﾎﾜｲﾄ

※ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ色：ﾎﾜｲﾄ

＜工事情報＞

※ 給水接続は、R1／2

　排水接続管径 Φ32

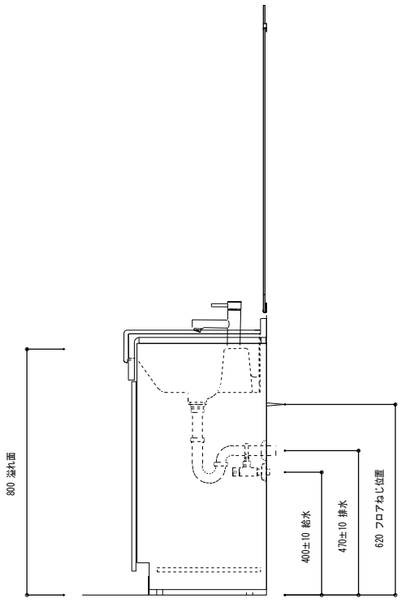
※木ねじ位置に固定用木桟(巾90×厚み45)を入れること(別途工事)

※木桟の耐荷重1.96KN/m

※壁との隙間ｺｰｷﾝｸﾞ及び壁面の防水仕上げは別途工事

※配管別に下記必要部材を別途手配してください
32A鋼管（R1　1／4）の場合、TH500-32（排水配管用アダプター）を
別途手配してください
40塩ビ管（VP／VU）の場合、TH500P32（排水配管用アダプター）を
別途手配してください（40塩ビ管は、乾式工法にかぎります）

※化粧鏡の取付は、現場対応のこと



器　具　明　細

品　番	品　名	数
ML45C0750BNX11W	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ	1
L350C#NW1	洗面器	1
TLC11AR	単水栓	1
T6PM1	排水金具(Pﾄﾗｯﾌﾟ)	1
TLC4A1F	止水栓	1
MFT4C0744BANB11W	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ扉式	1
YM4510FA	化粧鏡	1

＜製品情報＞　※ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙは底板付きです
（給排水用穴加工のこと）

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=

富ヶ丘北部会館新築工事

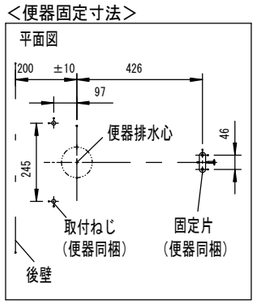
マーブライトカウンター

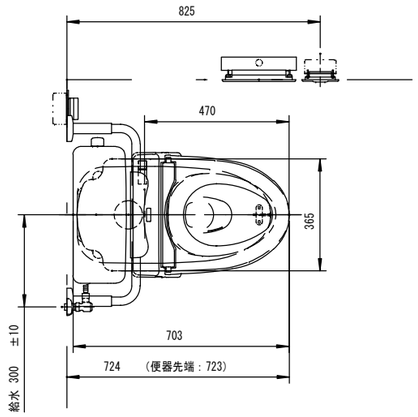
M-10

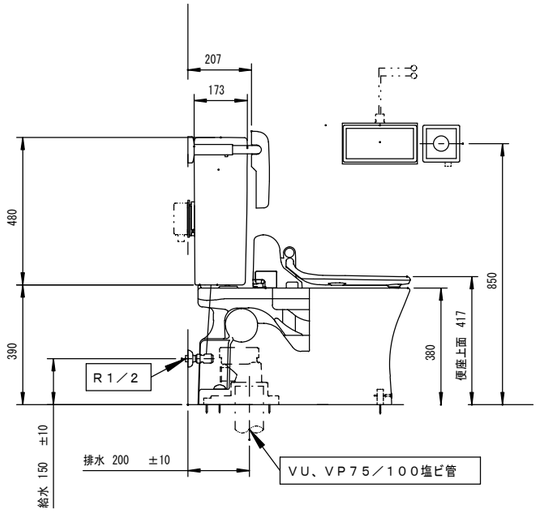
アウトレットボックスの事前手配や別途手配が必要な商品です。
右注記を確認ください。

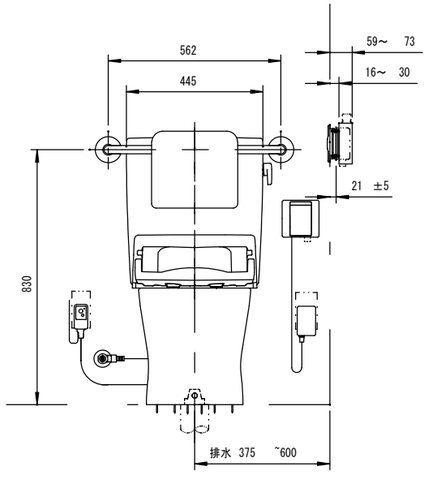
止水栓は、必ず同梱の止水栓（フィルター付）を使用してください。右注記を確認ください。

＜便器固定寸法＞









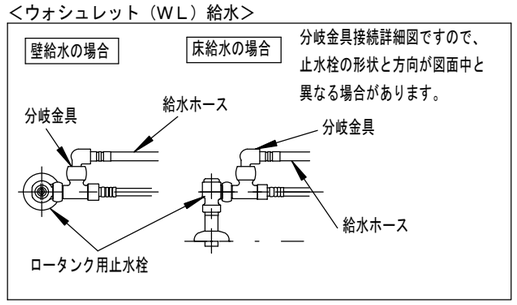
〈ウォシュレットＳ２〉
：定格 ＡＣ１００Ｖ－４１０Ｗ ５０／６０Ｈｚ
：電源コードの長さ１．０ｍ
：アース線の長さ０．２ｍ
：リモコン定格 ＡＣ１００Ｖ－４．９Ｗ ５０／６０Ｈｚ

〈ボックス〉
：電線管用コネクター（ＪＩＳ Ｃ ８４１２ 呼び１６）（現場手配）
：電源 ＡＣ１００Ｖ ５０／６０Ｈｚ

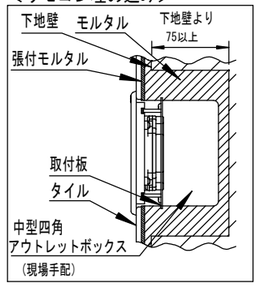
〈背もたれ〉
：前出寸法は推奨位置です。なお１０mmピッチで調整可能です。
：施工方法にあった当社指定の固定金具を別途手配してください。

〈リモコン便器洗浄ユニット〉〈ウォシュレットＳ２〉
：電源コンセントは、水や小水がかからない位置に設置してください。
また、壁給水の真下部に電源コンセントを設置したり、給水用ホースと電源コンセントを接触させないでください。感電・発火の原因になります。

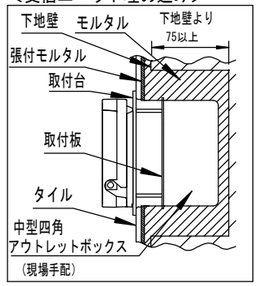
＜ウォシュレット（ＷＬ）給水＞



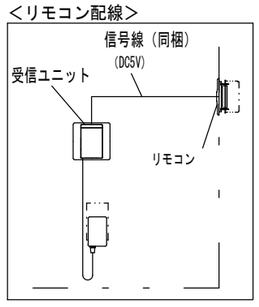
＜リモコン埋め込み＞



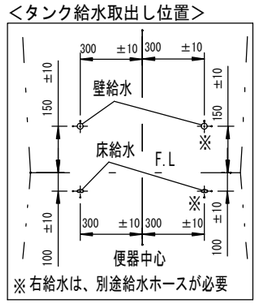
＜受信ユニット埋め込み＞



＜リモコン配線＞



＜タンク給水取出し位置＞



器具明細		
品番	品名	数
CS597B	防露便器（掃除口なし）	1
SH596BA	タンク・金具一式	1
HE30J	リモコン便器洗浄ユニット	1
HM10J	湿式・乾式 タイル壁用部材	1
TCF6331E V81	ウォシュレットＳ２	1
TCA88	ボックス	1
EWC386C	背もたれ	1
	紙巻器	1

※1：７５／１００鉛管接続の場合

T90SW75	排水ソケット（７５mm）	1
T90SW100	排水ソケット（１００mm）	1

〈防露便器（掃除口なし）〉
：塩ビ排水管を床面より６０±５mmの高さで切断してください。
排水管が仕上げ面と同じ高さの場合は、アダプター「ＨＨ０１００１Ｒ」を別途手配してください。
：取付面がコンクリート・モルタルなどの場合は、樹脂プラグ「ＨＨ０４０６０（φ８、１０個１組）」を別途手配してください。
：ＶＵ、ＶＰ７５／１００塩ビ管共用の接続用ソケットは、便器に同梱されています。

〈タンク・金具一式〉
：給水には、最低必要水圧０．０５ＭＰａ（流動時）を確保してください。
（最高水圧０．７５ＭＰａ）
：右給水の場合、給水ホース「ＴＮ９８Ｌ２Ｘ２０」を別途手配ください。
：既存の止水栓が外せない場合の対応品として、フィルターユニットを準備しております。
：給水は、壁床共有ですので〈タンク給水取出し位置〉を参照ください。

〈リモコン便器洗浄ユニット〉
：消費電力 ＡＣ１００Ｖ 常時1Ｗ （作動時３０Ｗ）５０／６０Ｈｚ
：電源コードの長さ１．９ｍ
：信号線６ｍ付属
：電線管用コネクター（ＪＩＳ Ｃ ８４１２ 呼び１６）（現場手配）
：中形四角アウトレットボックス（カバーなし）（４４浅型又は５４深型）（ＪＩＳ Ｃ ８３４０）（現場手配）
：取付位置は、参考寸法です。用途に合わせて操作しやすい位置に変更することは可能です。ただし、信号線が届く範囲に設置してください。
：給水位置の下には、受信ユニットを置かないでください。
：付属の取付板（アウトレットボックス（現場手配）に固定）を工期の関係上、先に必要な場合はＨＨ２１００５（取付台組品）を別途手配してください。ただし、製品にも同梱しています。
：湿式・乾式 タイル壁用です。

〈湿式・乾式 タイル壁用部材〉
：電線管用コネクター（ＪＩＳ Ｃ ８４１２ 呼び１６）（現場手配）
：中形四角アウトレットボックス（カバーなし）（４４浅型又は５４深型）（ＪＩＳ Ｃ ８３４０）（現場手配）

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

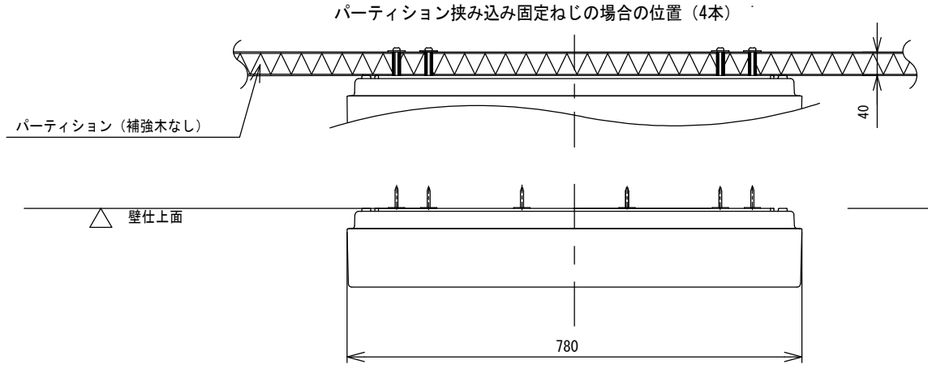
S=1/20

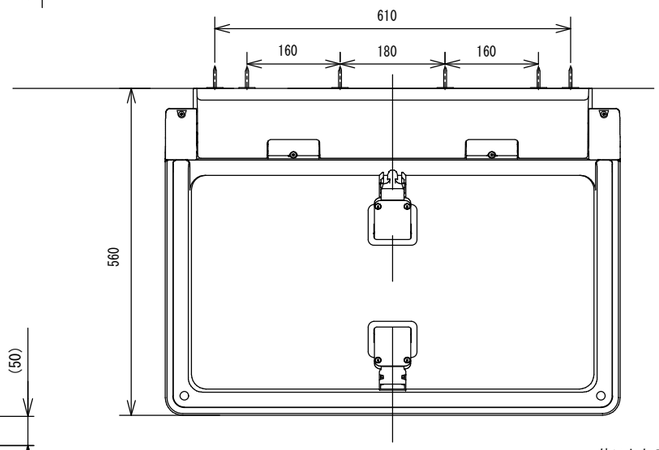
富ヶ丘北部会館新築工事

ツイントルネード防露便器

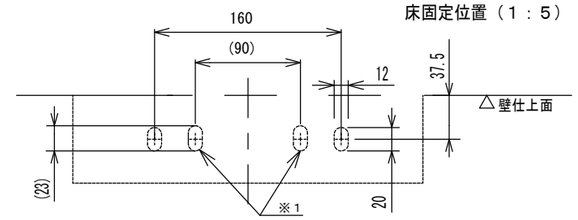
M-11

パーティション挟み込み固定ねじの場合の位置（4本）



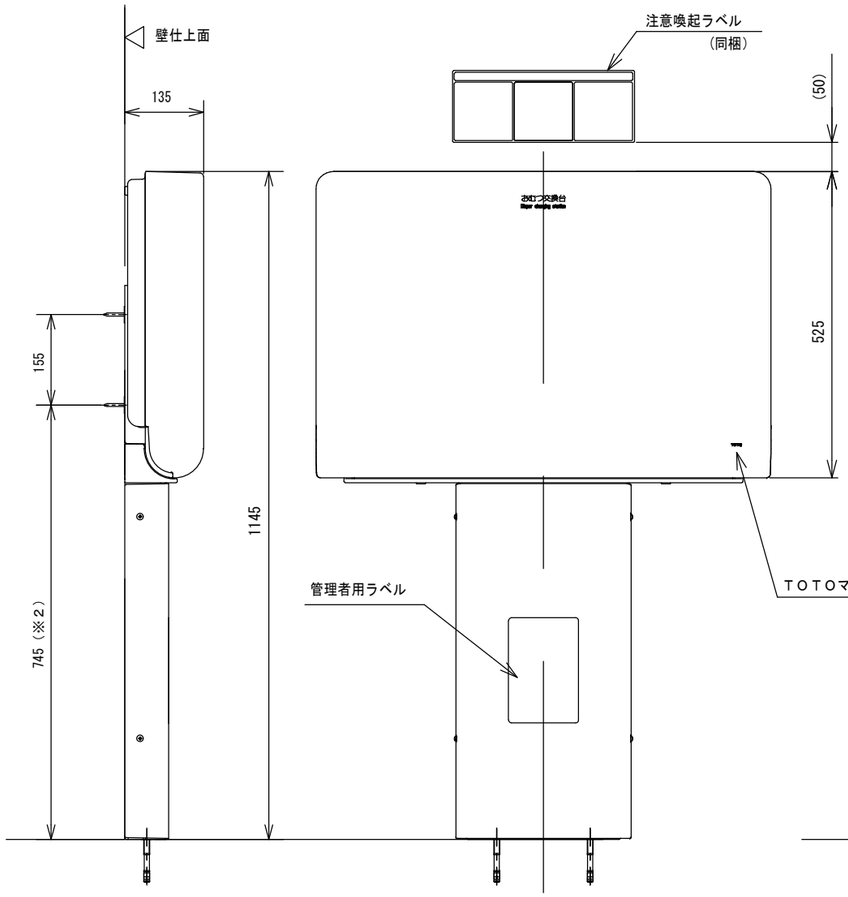


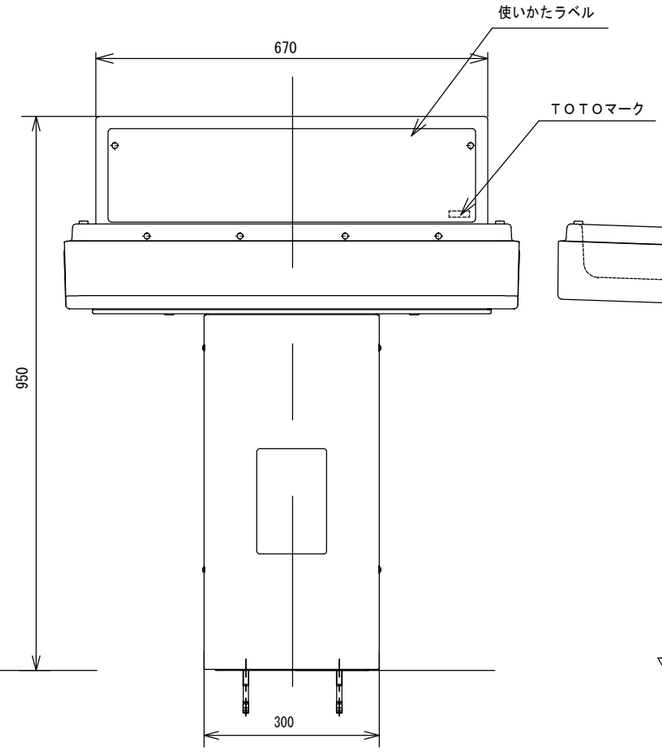
床固定位置（１：５）

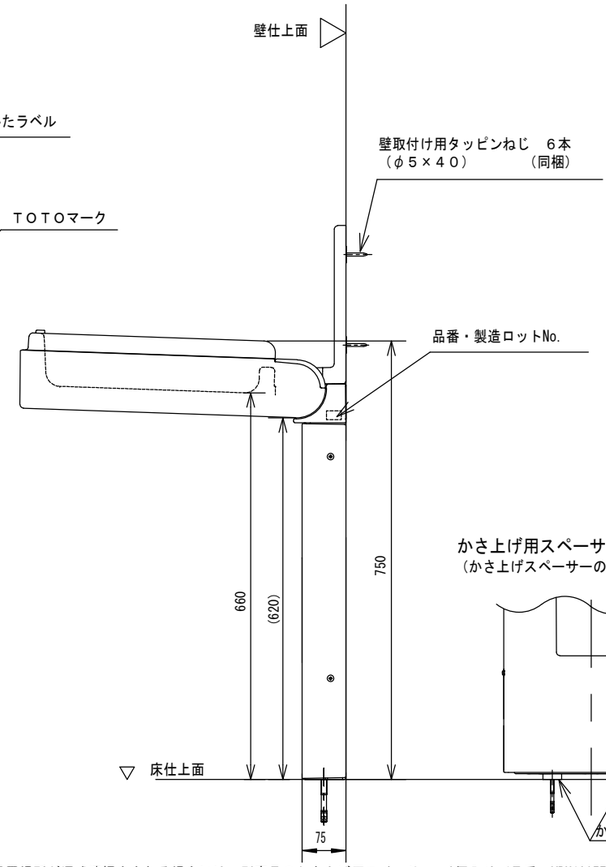


外側２箇所の穴にアンカーボルトＭ１０（別売品）２本
もしくはコーチねじφ６（別売品）4本で床固定すること。

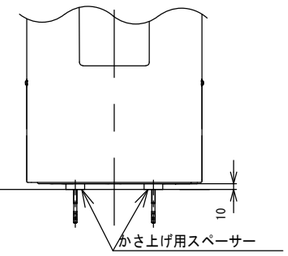
※１　内側２箇所の穴は旧型品からの取り替えの際に、
既設のアンカーボルトを受けるためのものです。







かさ上げ用スペーサー使用の場合
（かさ上げスペーサーの使用数：２個）



※2　設置場所が湿式清掃をされる場合には、別売品のかさ上げ用スペーサー　2個入り（品番：YPH13057）
を使用することで、腐食を低減することができます。その場合、取付位置が通常より10mm高くなります。

取付金具（別売品）　各補強については２枚目参照のこと

用途	下地材	取付部品	品番
床固定	コンクリート	アンカーボルト（2本入り） M10×83　¥U+203B下穴φ10	YPH62018W2R
	木	コーチねじ（４本入り） φ6×70　¥U+203B下穴φ4	YPH67109
壁固定	コンクリート	樹脂プラグ(20本入り) φ6×30	T110D28
	軽量鉄骨 (補強鋼板用)	ドリルねじセット（4本入り） φ5×45	T110D45 ×2セット
	パーティション (補強木なし)	挟み込み固定ねじセット (1本入り)	YPH62013 ×4セット

〈注記〉

・保護者の方が用を足したり、手洗いを行う際に乳幼児を寝かせておく台としての使用はできません。
　必ず、商品同梱の「注意喚起ラベル」を使用者の方が見やすいところにはってください。
　また、同じ空間内に、ベビーチェア等の設置もご検討ください。
・安全にお使いいただくために、管理者の方は日常点検を行ってください。
・公園トイレなど、管理の行き届かない場所への設置はおすすめできません。
・直接水のかかる場所へは設置しないでください。
・壁・床ともに固定が必要です。
・アンカーボルトはコンクリート層に４０mm以上打ち込んでください。
・床が木下地の場合は、６０mm以上の補強が必要です。
・壁面には厚さ１２mm以上の合板を使用してください。
・薄壁の場合は、事前に厚み３０mm以上の補強木を設けてください。
・軽量鉄骨下地の場合は、厚さ１．６～４．５mmの補強鋼板を使用してください。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

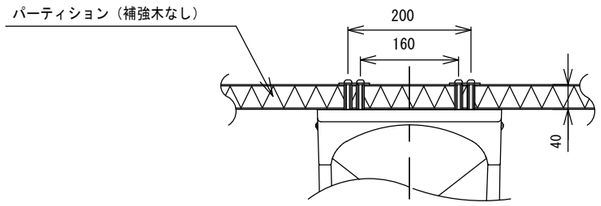
S=

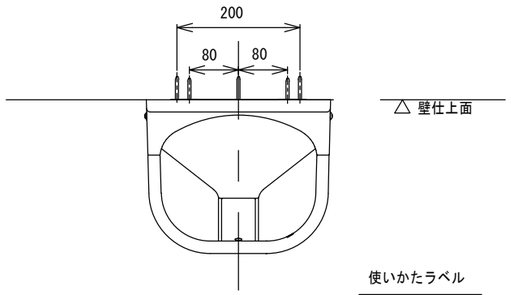
富ヶ丘北部会館新築工事

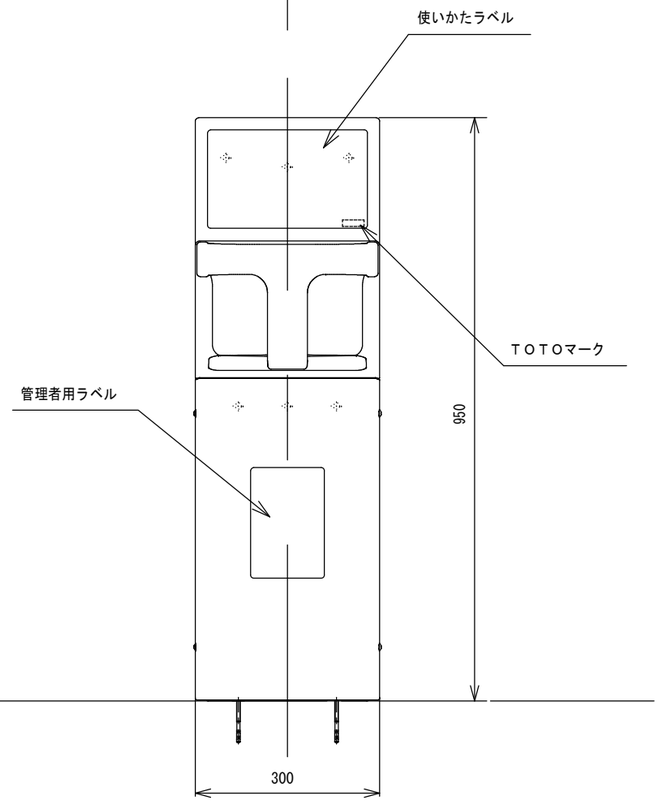
ベビーシート　(YKA25)

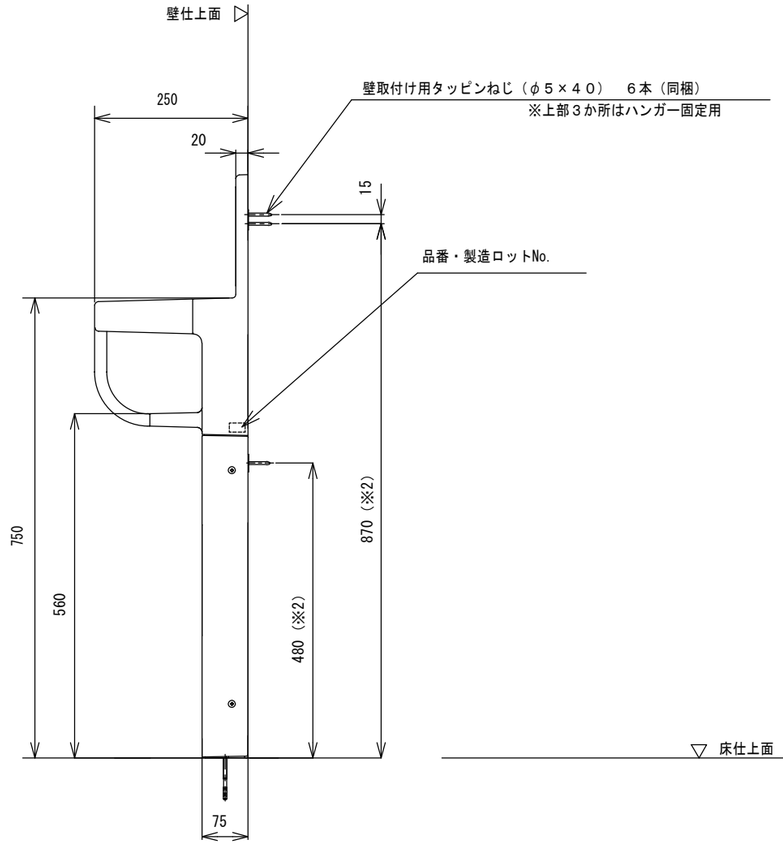
M-12

パーティション挟み込み固定ねじの場合（4本）

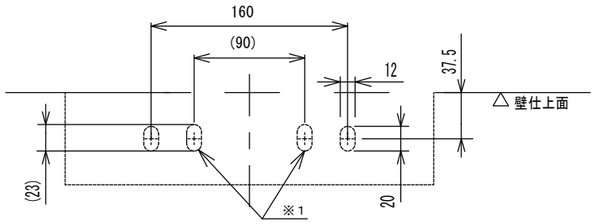








床固定位置（１：５）



外側２箇所の穴にアンカーボルトM6（別売品）２本
もしくはコーチねじφ６（別売品）２本で床固定すること。

※１　内側２箇所の穴は旧型品からの取り替えの際に、
既存のアンカーボルトを受けるためのものです。

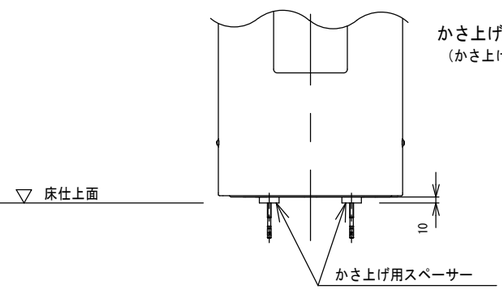
取付金具（別売品）　　各補強については２枚目参照のこと

用途	下地材	取付部品	品番
床固定	コンクリート	アンカーボルト（2本入り） M6×85　¥U+203B下穴φ6	YPH62017W2
	木	コーチねじ（4本入り） φ6×70　¥U+203B下穴φ4	YPH67109
壁固定	コンクリート	樹脂プラグ(20本入り) φ6×30	T110D28
	軽量鉄骨 （補強鋼板用）	ドリルねじセット(4本入り) φ5×45	T110D45 ×2セット
	パーティション （補強木なし）	挟み込み固定ねじセット (1本入り)	YPH62013 ×4セット

〈注記〉

・平面壁のみ取付可能です。
・安全にお使いいただくために、管理者の方は日常点検を行ってください。
・公園トイレなど、管理の行き届かない場所への設置はおすすめできません。
・直接水がかかる場所へは設置しないでください。
・乳幼児を座らせる際に支障となる為、製品上部に棚やフックなどを設置しないでください。
・壁・床ともに固定が必要です。
・アンカーボルトはコンクリート層に４０mm以上打ち込んでください。
・床が木下地の場合は、６０mm以上の補強が必要です。
・壁面には厚さ１２mm以上の合板を使用してください。
・薄壁の場合は、事前に厚み３０mm以上の補強木を設けてください。
・軽量鉄骨下地の場合は、厚さ１．６～４．５mmの補強鋼板を使用してください。

かさ上げ用スペーサー使用の場合
（かさ上げスペーサーの使用数：２個）



※2　設置場所が湿式清掃をされる場合には、別売品のかさ上げ用スペーサー　2個入り（品番：YPH13057）
を使用することで、腐食を低減することができます。その場合、取付位置が通常より10mm高くなります。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事	
S=1/10	ベビーチェア　（YKA15）
	M-13

器　具　明　細		
品　番	品　名	数
※1 LSE870AP	手洗器・自動水栓一式	1

※1：LSE870APの内訳

L870A	手洗器	1
TEL870APR	自動水栓一式	1

〈自動水栓一式〉

：給水には、最低必要水圧０．０５ＭＰａ（流動時）を確保してください。
（最高水圧０．７５ＭＰａ）

：自動水栓、排水金具、固定金具が含まれます。

：消費電力ＡＣ１００Ｖ　常時０．４Ｗ（作動時０．６Ｗ）

：電源コードの長さ０．７５ｍ

：電源コンセントは、水がかからない位置に設置してください。
結露水などにより、火災や感電の原因になります。

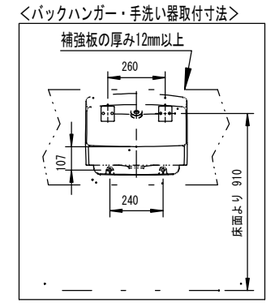
：コンセント取付位置は、トラップカバーの後付を考慮して干渉しない
位置に取付けてください。

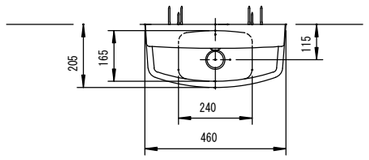
：取付面がコンクリート、モルタルなどの場合は、樹脂プラグ
「ＨＨ０４０６０（φ８、１０個１組）」を別途手配してください。

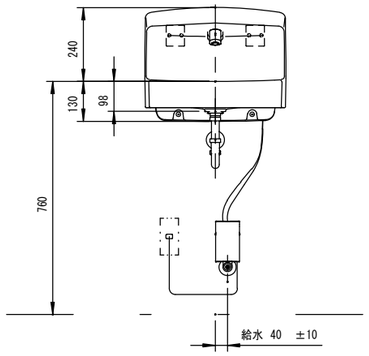
：乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に１２mm以上（合板または
硬質石膏ボード等）、補強板に１２mm以上のＪＡＳ規格合板相当を
お使いください。

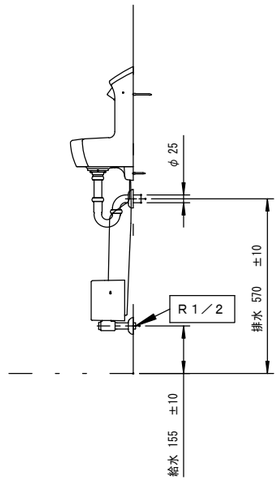
：機能部の取り付けにあたっては、カバー側面から右または左に１００mm
以上の空間を確保してください。

<バックハンガー・手洗い器取付寸法>





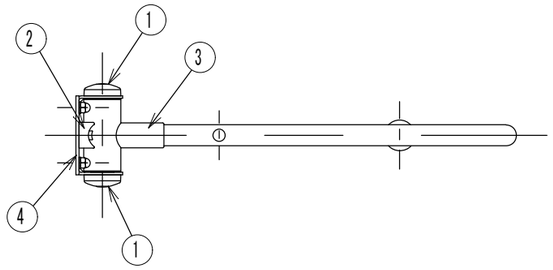




仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

	富ヶ丘北部会館新築工事
S=1/20	コンパクト手洗器　（壁掛タイプ）
	M-14

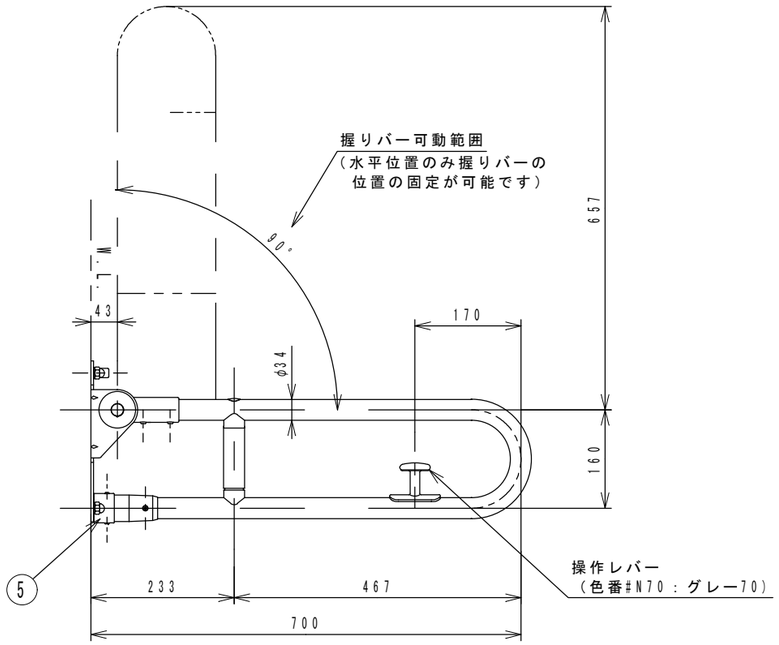
色番	色彩	記号
#DB9	ディープブルー	6.7PB1.3/5.1
#NA	木目調ナチュラル	
#NW1	ホワイト	
#P7	アテンションレッド	5.8R 3.2/10.7
#SC1	パステルアイボリー	3.0Y 8.7/0.9

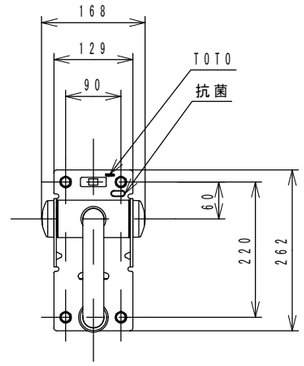


#NAの場合の色番又は表面仕上

番号	色番又は表面仕上
1，2，5	#G10
3，4	ステンレス ヘアライン仕上げ

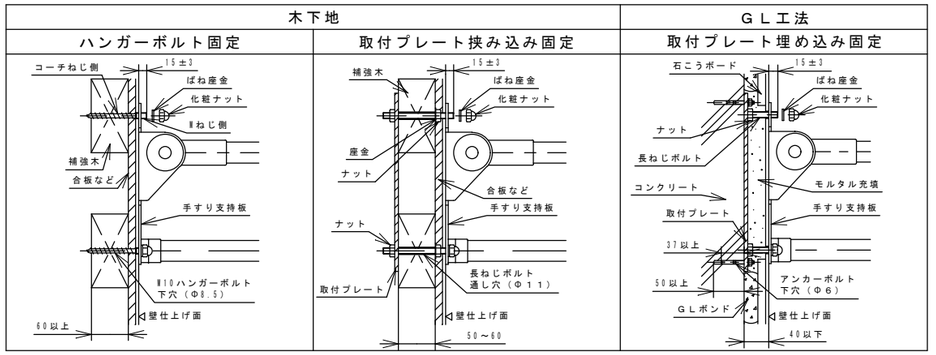
#G10：チャコールグレー

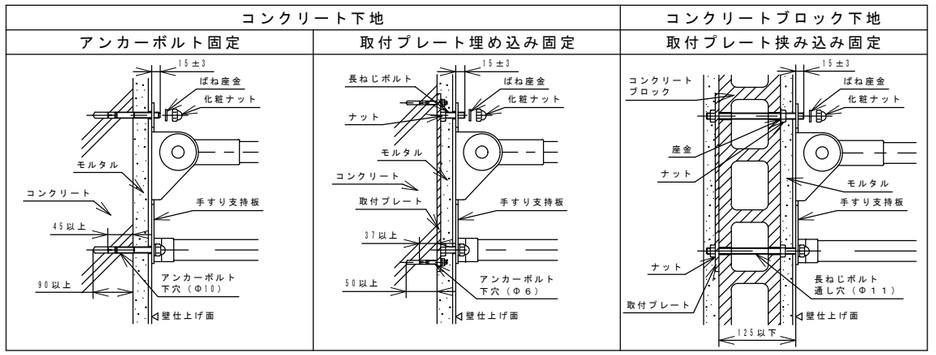


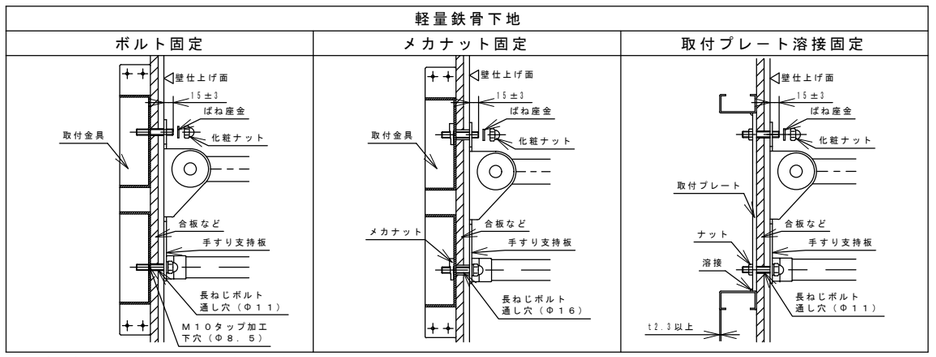


腰掛便器用可動手すり（はね上げタイプ）
手すり取付用のM10の化粧ナット、ばね座金同梱
手すりを取り付ける際は、施工方法にあった当社指定の固定金具を必ず使用してください
材質：ステンレスの表面に軟質塩化ビニール樹脂を被覆

建築壁材別施工方法
（詳細は、施工説明書、カタログ、設計施工資料集を参照してください）　（単位：mm）







＊ばね座金・化粧ナットは手すり本体の付属品です。

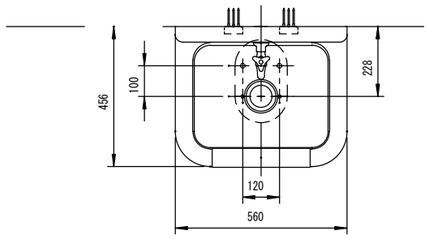
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

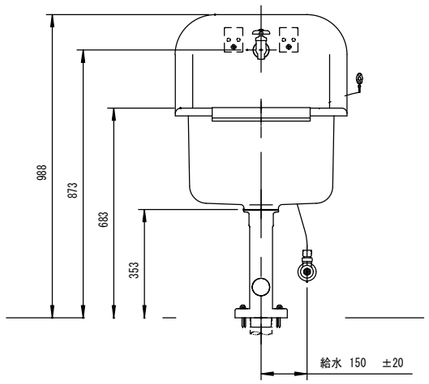
S=

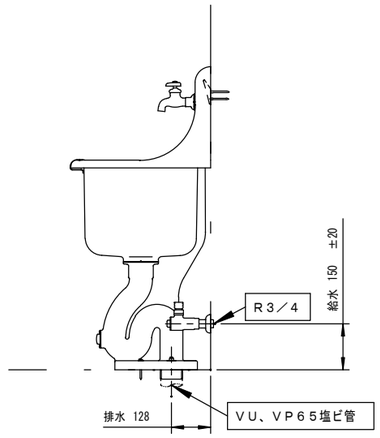
富ヶ丘北部会館新築工事

パブリック用手すり　(T112HK7)

M-15







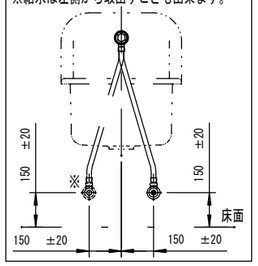
器　具　明　細		
品　番	品　名	数
SK22A	掃除用流し	1
T23AE20 C	送り座付横水栓	1
※1 T37SGEP1	排水金具	1
TN114	アングル形止水栓	1
※2 T9R	バックハンガー	1
TK22	リムカバー	1
※1：６５鉛管接続の場合		
T37SE1	排水金具	1
※2：樹脂プラグセットご使用の場合		
T9RJ	バックハンガー	1

〈排水金具〉
：塩ビ排水管の場合は、排水管を床仕上げ面より２０mm以上出して
ください。
：取付面がコンクリート・モルタルなどの場合は、配管別に樹脂プラグ
塩ビ管の場合　「ＨＨ０４０６０（φ８、１０個１組）」
鉛管の場合　「ＨＨ０４０５９（φ６、１０個１組）」と
「ＨＨ０４０６０（φ８、１０個１組）」を別途手配してください。

〈バックハンガー〉
：乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に１２mm以上（合板または
硬質石膏ボード等）、補強板に１２mm以上のＪＡＳ規格合板相当を
お使いください。

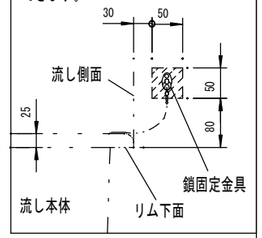
＜給水取り出し位置＞

※給水は左側から取出すことも出来ます。

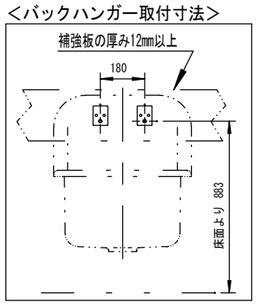


＜ゴム栓鎖固定金具取付範囲＞

固定金具は左右どちらでも取り付けできます。



＜バックハンガー取付寸法＞



仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

S=1/20

富ヶ丘北部会館新築工事

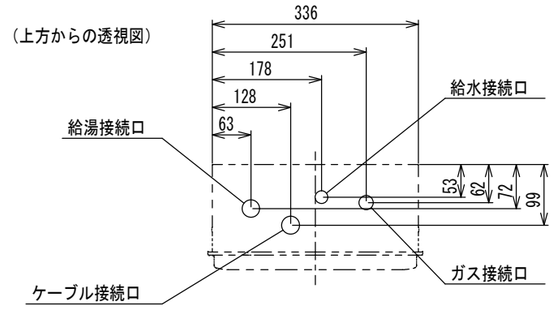
ﾊﾞｯｸ付掃除用流し

M-16

※本製品の設置・転倒防止の措置は、国土交通省告示第１４４７号「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改定する件」に対応しています。

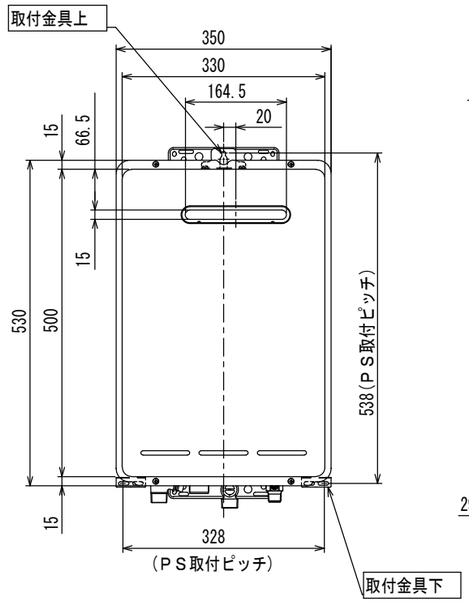
固定方法と部材仕様

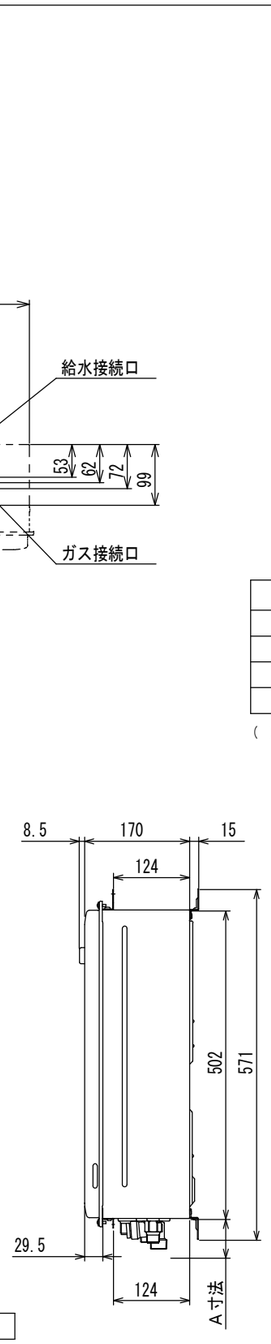
固定場所	部材仕様（付属部品）	設置種別	固定本数	引張り耐力	備考
木壁固定	木ねじ(JIS) φ4.8×38	壁掛け	4	0.3kN/本以上（木下地15mm）	
		据置(上部固定あり)	2		
ＲＣ壁固定 ＡＬＣ壁固定	木ねじ(JIS) φ4.8×38 フィッシャープラグＳＸ 6×30	壁掛け	4	0.3kN/本以上（左記の木ねじとプラグ組合せ時）	
		据置(上部固定あり)	2		
ＰＳ固定	小ねじ M5×10	ＰＳ標準	3	0.5kN/本以上	
		ＰＳ扉内			

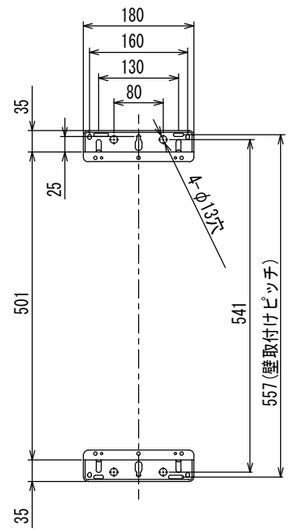


接続口	Ａ寸法
ガス	40
給水	50
給湯	39(41)
電気	26

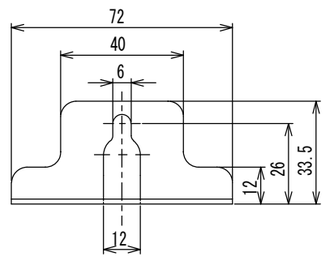
（ ）寸法はA1600タイプ



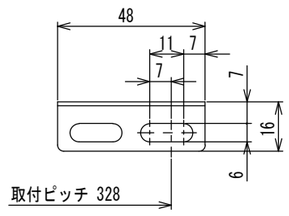




●取付金具上詳細図（S=1/2）



●取付金具下詳細図（S=1/2） 左右共通



■仕様表

（単位：mm）

型式		RUX-A1610W(-E)	~~RUX-A1600W(-E)~~
設置方式		屋外壁掛式・ＰＳ兼用設置型(後面近接設置型)	
給排気方式		強制排気方式	
寸法	高さ	530	
	幅	350(本体338)	
	奥行	170	
質量（ｋｇ）		13.5(満水時14.0)	
点火方式		連続スパークダイレクト点火	
※ ガス消費量 (kW)		34.1(29,300kcal/h)～5.00(4,300kcal/h)	
エネルギー消費効率		82.1%	
騒音 (dB(A))		49	
ＮＯｘ (ppm)		60以下	
排気温度		260℃以下	
安全装置		立消え安全装置，空だき防止装置，器体過熱防止装置，過電流防止装置，過圧防止安全装置，ファン回転検出装置，漏電安全装置，沸騰安全装置，熱交換器過熱防止装置	
凍結予防		凍結予防ヒータ (74W)	
接続	ガス	15A(R1/2)ＴＵ接続可	
	給水	15A(R1/2)	~~20A(R3/4)~~
	給湯	15A(R1/2)	~~20A(R3/4)~~
	電気	CTC31(C31)	
電源	本体	AC100V 50/60Hz共用 電源ケーブル長さ1.5m	
	オプション	台所・浴室：DC12V（2心）	
※消費電力 (W)		40(待機時1.5)(50-60Hz)	
本体外装色		シャドーホワイト３(近似色：マンセルNo. 1.7Y 7.7/1.1)	
付属品		木ネジセット，ビスセット	
別売品		台所リモコン(MC-140V,MC-33-A)，浴室リモコン(BC-140V,BC-45-A)，増設リモコン(SC-120)，配管カバー(UOP-Y101(K))，据置台(UOP-Y201(2))，排気カバー(UOP-G301-16)，側方排気アダプタ(UOP-Y305-16)，ソーラー接続ユニット(UF-SU1)，リモコンケーブルUC-25(27) UC-25C(27C)各種	

※印は１３Ａの値です。

■能力表

※給湯能力（号）	16～2.3
給湯温度調節	固定湯温60℃(出荷時)，本体内スイッチにて42℃,50℃,60℃,70℃設定可能 別売リモコンの接続で，37℃～48℃，50℃，60℃(14段階) リモコン故障時は45℃にて低温出湯
自動湯はり停止機能(温度)	37℃～48℃(12段階)
自動湯はり停止機能(水量)	60～300L(20L毎)，350L，400L，990L （16段階）
最低作動水量 (L/分)	2.7
給湯器内圧損 (kPa)	50(0.5kgf/cm)(12.8L/分)

※印は１３Ａの値です。また仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■浴槽への給湯時間 （落とし込み計算値）

季節	水温	給湯温度	給湯所要時間		
			140L(1人用)	180L(1.5人用)	210L(2人用)
夏	25℃	42℃	約8.8分	約11.3分	約13.1分
春・秋	15℃	42℃	約9.5分	約12.2分	約14.2分
冬	5℃	42℃	約13.0分	約16.7分	約19.4分

〈ご注意〉上表は配管長5m，水圧200kPaの時の時間です。配管が長くなれば所要時間も長くなります。

給水装置認証登録番号	NW1006
ＢＬ認定番号	BLGH071015-A,B（-Eタイプは除く）
対応ガス種	ＬＰＧ，１３Ａ・１２Ａ

・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図設計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

ガス瞬間給湯器（リンナイ RUX-A1610W-E）

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　富が丘北部会館新築工事

２．工事場所　宮城県黒川郡富谷町富ケ丘三丁目1-398の一部

３．建物概要

建　物　名　称	構　　造	階　　数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備　　考
地区集会所	木　造	1 階	264.99	299.77	1項 ロ	

４．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工　事　種　別				備　考
				屋　外	
◎電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護（避雷）設備					
・受変電設備					
・静止形電源設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
◎誘導支援設備	新設一式				
◎テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

５．指定部分　　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　）

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、平成２２年版）」、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、○印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項　　目	特　記　事　項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事汚染土・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行）
	② 機 材 等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施行に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド規格は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保　険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	５．産　用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、請負者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	８．施工条件	別添の施工条件明示書による。
	９．工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調査、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	10．工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。（請負額が2、500万未満の場合は、発注時のみ）
	11．事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	12．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	13．工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	14．工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	15．監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	16．足場、さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	17．工事表示板	※　設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	18．工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	19．発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　ＰＣＢ使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

種　　類	受　入　施　設　名	所在地（ｋｍ）	備　　考

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

	20．残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	21．耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所 ＼ 設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　・　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置
・　交換機　・　受信機（自立型）　・　中央監視装置　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

	22．風圧加重	※　風速６０m／ｓ　・　　m／ｓ ・　雷保護設備受雷部　・　照明ポール・基礎　・　テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
一般共通事項	23）他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
	24）保温、結露防止	外部に面する壁、天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。
	25）電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	26）合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ－25とする。
	27）二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	28）電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け計変更してもさしつかえない。
	29）インサート	鋼鈑製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	30）呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には、１、２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	31）フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　・　樹脂製　）とする。
	32．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋼合金製　・　アルミ合金製
	33．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	34．支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
	35．あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	36）接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、ＥＢの長さは１，５００mmとする。 ただし、Ｄ＝１０は１，０００mm、Ｗ＝３０は１，２００mmとする。 裁柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接　地　の　種　別	記　号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×　連一　組
・　共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・			
・　構内交換機（隔極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一　組
・　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一　組
・			
・　測定用	Eo	＿＿＿＿	ＥＢ(Ｄ＝10又は(Ｗ＝30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連一２組
・　避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	37．総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・　受変電設備　・　発電設備　・　照明装置　・　構内交換設備　・
	38）塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　居室　・
電灯設備	1）工事範囲	・　配管　・　配線　・　分電盤類
	2）電気方式	・　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線
	3）施工方法	分岐　電灯　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 コンセント　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	4）蛍光灯	図面に特記がない場合のＨ１型蛍光灯の入力電圧・周波数は、入力電圧100/200V、周波数50Hzとする。
	5）非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	6．照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7．ハイテンションアウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製
	8．人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
	9）予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	2．電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	3．施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	4．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込連用形配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9）電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・　　 ・　定格容量　ｋＶＡ
電話設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

雷保護設備	1．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	2．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	3．避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	4．接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	5．測定用補助接地極	・　設置
受変電設備	1．工事範囲	・　機器類　・＿＿＿＿＿＿
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・＿＿＿＿＿＿
	4．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・＿＿＿＿＿＿　・＿＿＿＿＿＿
	5．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	7．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2005適合品 乾式：JIS C4306-2005適合品）
	8．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６%　・　１３%
	9．リアクトル	・　６%　・　１３%
	10．自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置
電力貯蔵設備	1．直流電源装置	※　非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	2．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
発電設備	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．形　式	・　簡易形　・　キュービクル式　・　オーブン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	3．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
	4．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上　（　　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷器躯式
	5．燃　料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ
構内交換設備	1．工事範囲	・　交換機　・　電話機　・　配線（　・　全部　・　端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき、下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦＯ．６５－２Ｃ　（　・２０ｍ　・　） ・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋼合金製　・　アルミ製
	5．保安器用接地	※　本工事　・　別途工事
通信・情報設備	1．工事範囲図及び施工方法	

項　　目	工事範囲 配　管	工事範囲 配　線	工事範囲 機器類	施工方法 合成樹脂管配線	施工方法 金属管配線	施工方法 ケーブル配線
・　構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・　情報表示	・	・	・	・	・	・
・　映像・音響	・	・	・	・	・	・
・　拡声	・	・	・	・	・	・
◎　誘導支援	◎	◎	◎	◎	・	◎
◎　テレビ共同受信	◎	◎	・	◎	・	◎
・　監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・　駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・
ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製						

	2．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・　ＡＴＭ ・　・
	3．情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　親時計　回線　（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	4．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・ＤＶＤ　・ＤＶ　・Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備　（　・ＣＤ　・ＭＤ　・カセット　・　）
	5．拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	◎　誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	7．テレビ共同受信設備	・　テレビアンテナ（　・　ＡＵ－　・ＣＳＢＡ－　・ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　）
	8．監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	9．駐車場管制設備	・　管制盤　・　検知器（　・　光線式　・　ループコイル式　） ・　信号灯・警報灯　・　発券機　・　カーゲート　・　カードリーダー
	10．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）
火災報知設備	①　工事範囲	・　配管　◎　配線　◎　機器類
	2．火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線、自動閉鎖　回線、ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ・　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	3．非常警報装置	・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下） ・　防煙ダンパ用（別途、瞬時遮電式又は電動式、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下、遠方復帰機構（電動式）、ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途、排煙機運転用連動機構付）
	⑤　ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ◎　感知器 ・　併設　・　連動 ◎　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	⑥　消火器類	◎　消火器　種別　・　数量　本 ◎　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	2．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	3．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・＿＿＿＿＿＿　・＿＿＿＿＿＿ ・＿＿＿＿＿＿　・
	4．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（　・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置　・　伝送端末局（子局） ・　作表用印字装置　・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ
構内配電線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線　・　機器類
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※　地中埋設式（　・ＦＥＰ　・ＰＥ　・厚鋼電線管　）　・　架空線式
	4．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト、がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共、線名、作業日、氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。（　　）
	9．標識シート	・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤、動力盤から建物への第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線
	2．用途	・　電話用　・　時計、拡声用　・　火災報知用
	3．施工方法	※　地中埋設式（　・ＦＥＰ　・ＰＥ　・厚鋼電線管）　・　架空線式
	4．標識シート	・　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地上～室中心	約　1,800	電話 引込線架の高	地上～引込点	
電力共通 引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	電話 集合保安器箱	天井下～上端	200
電力共通 分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	電話 端子盤（扉下、室内）	床上～下端	300
電力共通		〃　（ＥＰＳなど）	電話	床上～中心	1,500
電力共通			電話 壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
電力共通			電話 〃　（和　室）	〃	150～200
電灯 スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300	時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
電灯 〃　（和　室）	〃	1,200	時計 子時計	〃	2,300
電灯 コンセント（一　般）	〃	300	拡声 壁掛形スピーカ	〃	2,300
電灯 〃　（和　室）	〃	150～ 200	拡声 壁付アッテネータ	〃	1,300
電灯 〃　（台　上）	台上～中心	100	拡声 壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
電灯 〃　（ファン用）	床上～下端	ファン下端	拡声 〃　（身体障害者）	〃	1,300
電灯 〃　（厨　房）	床上～中心	800～1,000	通信 壁付アウトレット（一　般）	〃	300
電灯 〃　（車　庫）	〃	1,300	通信 〃　（和　室）	〃	150～200
電灯 〃　（機械室）	〃	500～1,000	機器収容箱	天井下～上端	200
電灯 〃　（ホール）	〃	2,000～2,500	直列ユニット（一　般）	床上～中心	300
電灯 ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300	〃　（和　室）	〃	200
電灯 〃　（誘　場）	〃	2,000～2,500	表示盤	床上～中心	2,300
電灯 〃　（鏡　上）	鏡上端～中心	150	火報 壁付発信機	〃	1,300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	火報 ベル、ブザー　チャイム	〃	2,300
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	火報 壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
			表示等 〃　（身体障害者玄関）	〃	900
動力 壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火報 受信機	床上～中心	800～1,500
動力 開閉器箱	〃	1,500	火報 副受信機	〃	800～1,500
動力 電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	火報 機器収容箱	〃	800～1,500
身障者用 非常ボタン（便所用）	床上～中心	900	火報 発信機	〃	800～1,500
身障者用 壁付インターホン（親機）	〃	1,300	火報 表示灯	床上～中心	2,100
身障者用 〃　（玄関子機）	〃	1,100	火報 ベル	〃	2,300
身障者用 廊下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300	警報 流化石油ガス用検知器	床上～上端	250
身障者用 身障表示ランプ	〃	1,500	警報 都市ガス用検知器（経貨）	天井～上端	150
身障者用 スイッチ	〃	1,100	警報 〃　（重貨）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

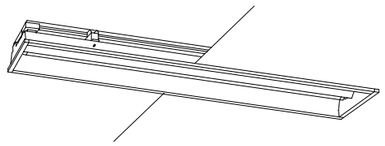
名　　称	完　成　書　類	部数
１　完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版）	1 部
２　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図、取扱説明書と合本可。ただし、厚さが８０mmを越える場合は分冊とする。）	1 部
３　完成原図	三つ折りケース収納	1 組
４　完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	1 部
５　完成図（縮小）	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	2 部
６　完成図（電子データ）	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD 1 枚
７　施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は、４　完成図と合本可）	1 部
８　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	1 部
９）取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版＋黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	1 部
１０　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	1 部
１１　工事写真 ①施工写真 （着手前、施工状況、完成の各写真） ②完成写真	Ａ４版：チューブ式ファイル Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	1 部 1 部
１２　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	1 部

注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL. 022-372-7776 FAX. 022-373-6991

照明器具姿図

A1　ＬＤＬ４０×2Ｎ/33/34 埋込フリコン

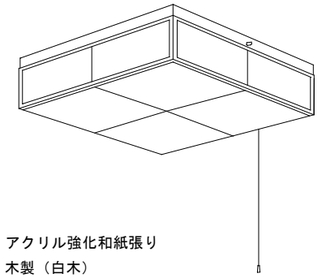


直管形ＬＥＤランプ搭載（ＪＥＬ８０１規格適合商品）
初期照度補正機能付、電圧１００～２４２Ｖ
ランプ素材：ガラス管、光束維持率：９５%、Ｒａ：８４
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
埋込穴２２０×１２３５　埋込高８０
光源寿命４００００時間

Hf32形高出力型器具相当

パナソニック　ＮＮＦ４２６６６同等品

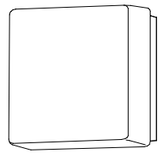
B　ＦＨＤ１００ＥＬ／Ｈ



アクリル強化和紙張り
木製（白木）

パナソニック電工　ＨＦＡ８５０９ＫＮ同等　ﾘﾓｺﾝ共

C　ＩＬ６０Ｗ×１　ブラケット



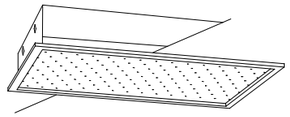
パナソニック電工　ＬＷ８６３６５同等
センサー：パナソニック電工　ＷＴＫ５６６８同等

D　ＦＨＦ３２Ｗ×２　富士型（環境配慮型）

防湿・防雨型
ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
エコ電線（塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない）
本体：亜鉛鋼板（クロムレス）
反射板：亜鉛鋼板（クロムレス・高反射白色粉体塗装）

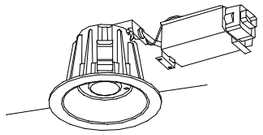
ＦＳＳ９ＭＰ－３２２
パナソニック　ＦＳＷ４２００１Ａ

E　ＦＨＦ１６Ｗ×２　埋込下面パネル



パナソニック電工　埋込Ｆ２２８ＨＰＳＡ同等

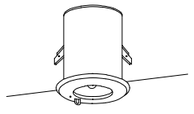
F　ＬＥＤダウンライト　１００形電球相当



高気密ＳＢ形、拡散タイプ
Ｒａ８５、昼白色（５０００Ｋ）
器具光束８３２ｌｍ、消費電力１１．９Ｗ、電圧１００Ｖ
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し）
埋込穴φ１２５、埋込高８０
光源寿命４００００時間（光束維持率７０%）

パナソニック　ＬＧＢ７２４６０ＬＥ１同等品

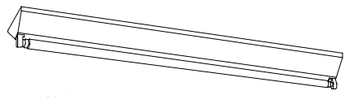
G　ＪＥ１３Ｗ×１　非常灯（環境配慮型）



電球：白熱灯、　ソケット：ポリフェニレンサルファイド樹脂
電線：けい素ゴム絶縁電線
備考：電源内蔵型、評定番号ＬＡＬＨ－０２
ニッケル水素蓄電池使用
エコ電線（塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない）
枠：鋼板（オフホワイトつや消し仕上）、　反射板：アルミ（高効率シルブライト）
埋込穴φ１００　埋込高Ｈ＝１３３

Ｋ１－ＩＲＳ４－ＪＥ１３
パナソニック電工　ＬＢ９１６３０同等

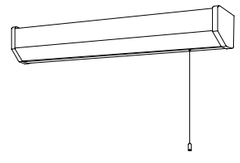
H　ＦＨＦ３２Ｗ×１　富士型（環境配慮型）
　　ＦＨＦ３２Ｗ×２　富士型（環境配慮型）



ツイスラッチ採用
ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
ＶＰＮ９・ＶＰＨ９：ランプフリー（ＦＨＦ３２／ＦＬＲ４０／ＦＬ４０）
ＰＦ９・ＰＪ９：初期照度補正機能付
エコ電線（塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない）
本体：亜鉛鋼板（クロムレス）
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）

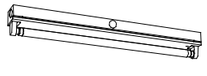
ＦＳＳ９－３２１
パナソニック　ＦＳＡ４１０３８Ｆ

I　ＦＬ２０Ｗ×１　ブラケット



パナソニック電工　ＨＷ２１２９同等

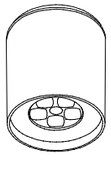
K　ＦＨＦ１６Ｗ×１　笠なし（環境配慮型）



ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
エコ電線（塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない）
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）

ＦＳＳ８－１６１
パナソニック　ＦＳＡ２１０３０Ｆ

L　ＬＥＤシーリングライト



昼白色
防雨型
セード：アルミダイカスト（クールホワイトつや消し仕上）
パネル：アクリル（透明つや消し）
光束維持率７０%推定４００００時間

センサー：パナソニック電工　ＷＴＫ５６６８同等
パナソニック　ＮＮＮ５１０００

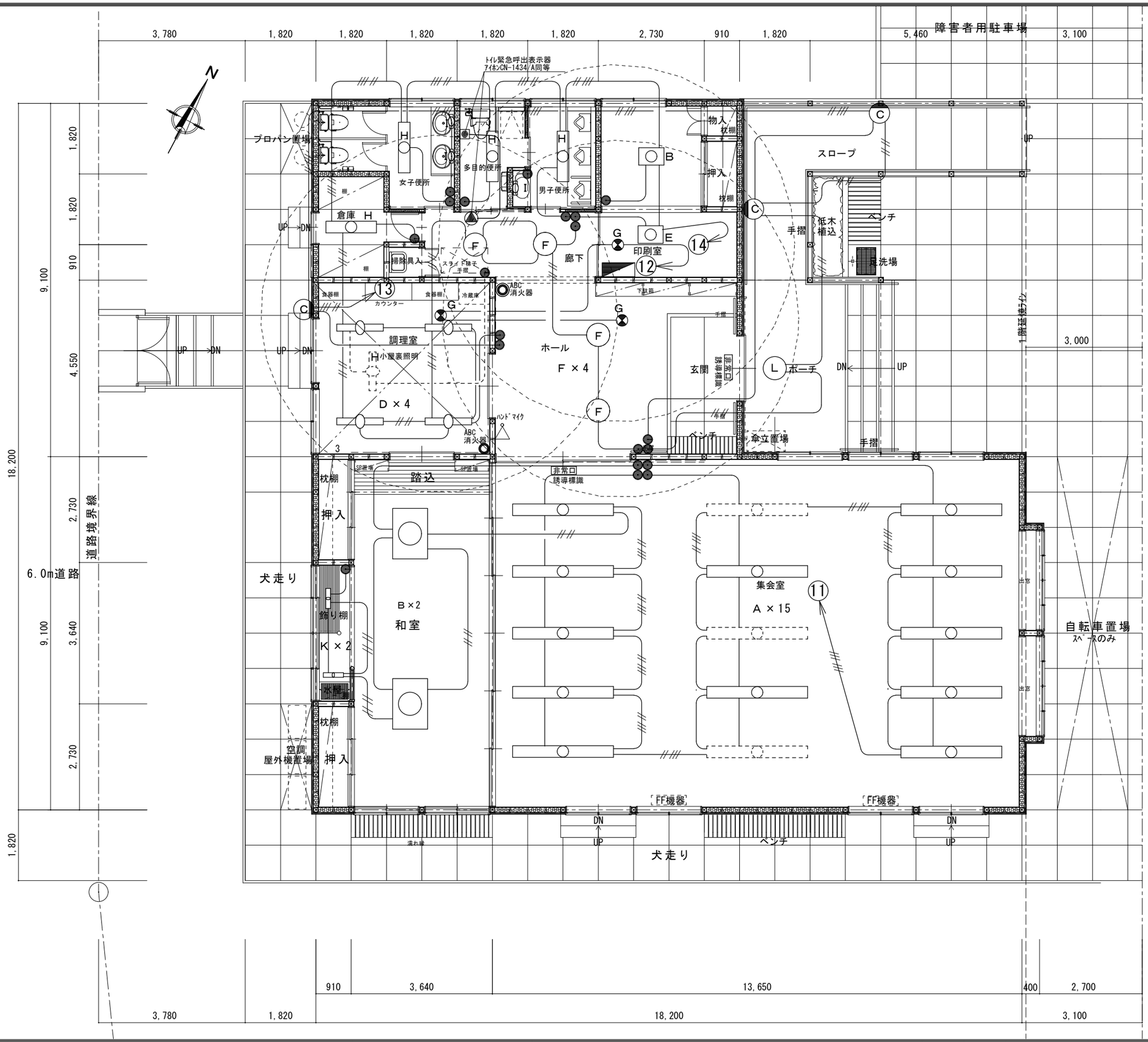
凡　例

記　号	名　　称	取付高さ（参考）
	分電盤　リミッタースペース付　漏電ブレーカ（３Ｐ５０／５０ＡＴ）１４回路	２２００
	蛍光灯　姿図参照	
○	ダウンライト　姿図参照	
●	非常照明　姿図参照	
◍	スイッチ　大角型確認表示灯付　１Ｐ１５Ａ×１　樹脂プレート（ネーム付）	１３００
◍3	スイッチ　大角型　３Ｗ１５Ａ×１　樹脂プレート（ネーム付）	１３００
	照明スイッチは松下電工　コスモシリーズ　ほたるスイッチ　同等とする。	
◍L	換気扇スイッチ（作動表示灯付）	１３００
◍T	スイッチ　２４時間換気用	１３００
⊕	壁付コンセント　大角型　２Ｐ１５Ａ×１　樹脂プレート	３００
⊕2	壁付コンセント　大角型　２Ｐ１５Ａ×２　樹脂プレート	３００
⊕E	壁付コンセント　大角型　２Ｐ１５Ａ×１　Ｅ付　樹脂プレート　エアコン用	２１００
⊕2ET	壁付コンセント　大角型　２Ｐ１５Ａ×２　ＥＴ付　樹脂プレート	３００
⊕WP	防雨型コンセント　２Ｐ１５Ａ×３　ＥＴ付	ＧＬ＋５００
Ⓢ	人感センサ	
◍	ジョイントボックス　Ｆケーブル用	
◉	壁付電話用アウトレット　樹脂プレート	３００
◎	テレビユニット用ボックス	３００
◁	携帯用メガホン　サイレン付　ＤＣ１２Ｖ　６Ｗ　（ＴＯＡ　ＥＲ－５１５Ｓ同等）	
▥	非常呼出表示器　（アイホン　ＣＮ－１Ａ３４／Ａ同等）	
◉	トイレ呼出釦　（アイホン　ＮＢＲ－７ＨＷ同等）	９００
□WP	防雨入線カバー	１３００
□R	給湯リモコン	９００
Ⓗ	住宅用火災警報器（熱式）	

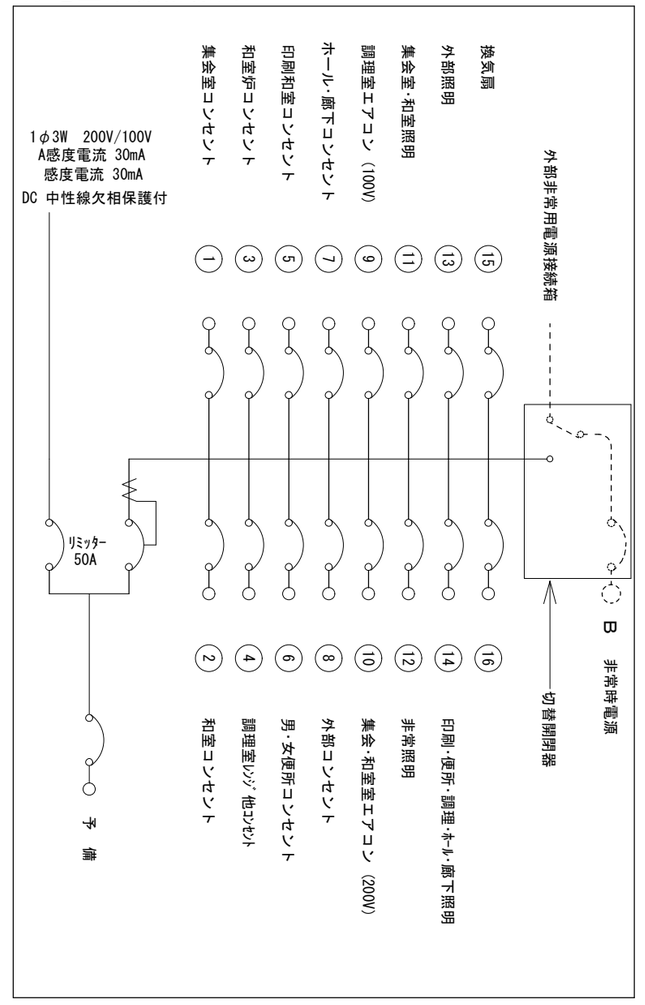
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社　図　設　計
一級建築士第136210号　高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

照明器具姿図



分電盤単線結線図



特記なきは下記凡例とする

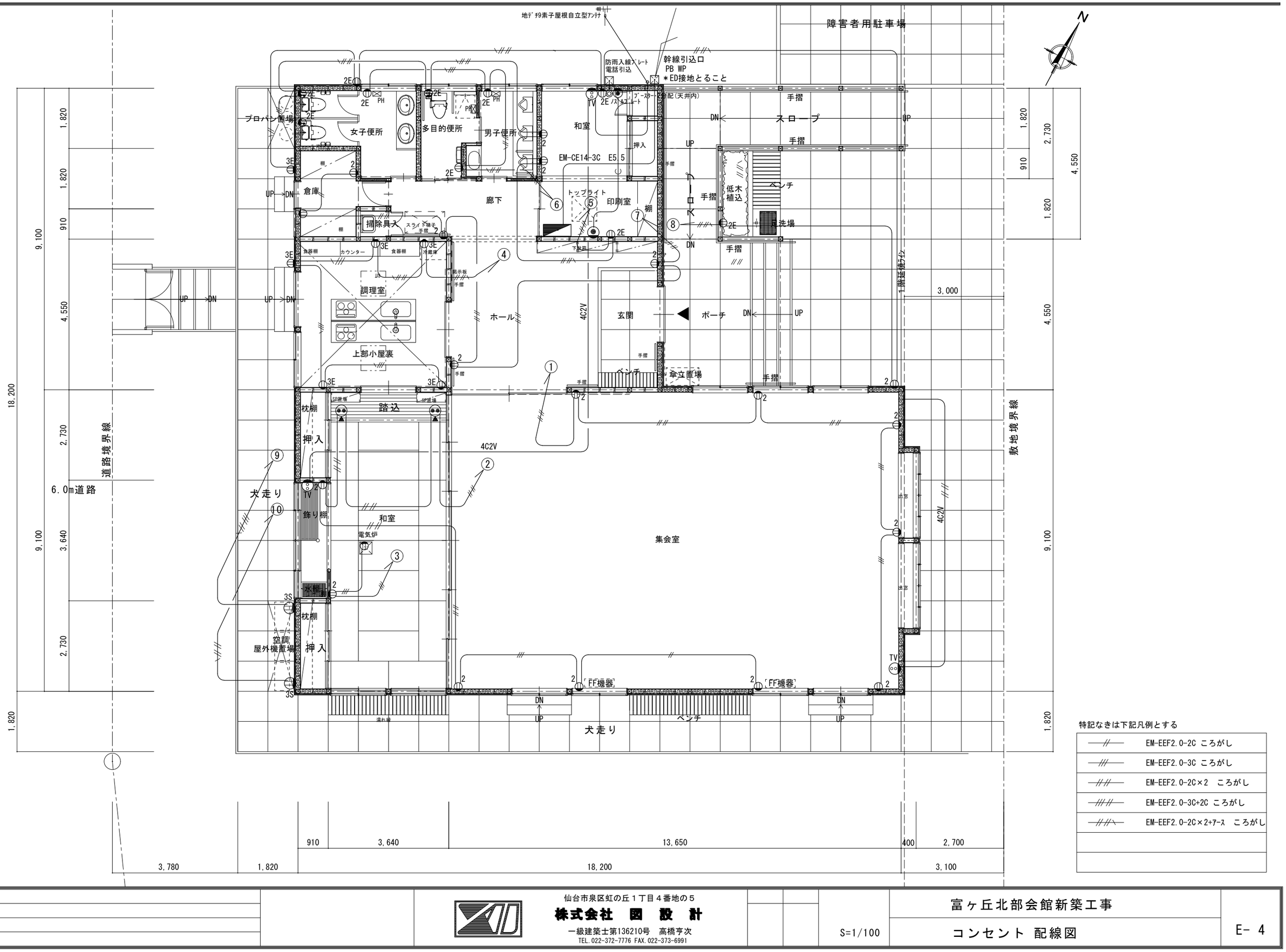
——//	EM-EEF1.6-2C ころがし
——///	EM-EEF1.6-3C ころがし
——////	EM-EEF1.6-2C×2 ころがし
——////——	EM-EEF1.6-3C+2C ころがし
ｽｲｯﾁ高さ FL+1,200	
⊗ 電池内臓型非常用照明 松下電工 LB91630同等 天井高さ 2,700 1ﾙｸｽ範囲 半径4,600	

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

電灯配線図 分電盤結線図

E- 3



特記なきは下記凡例とする

―//―	EM-EEF2.0-2C ころがし
―///―	EM-EEF2.0-3C ころがし
―//2//―	EM-EEF2.0-2C×2 ころがし
―//3//―	EM-EEF2.0-3C+2C ころがし
―//4\―	EM-EEF2.0-2C×2+ｱｰｽ ころがし

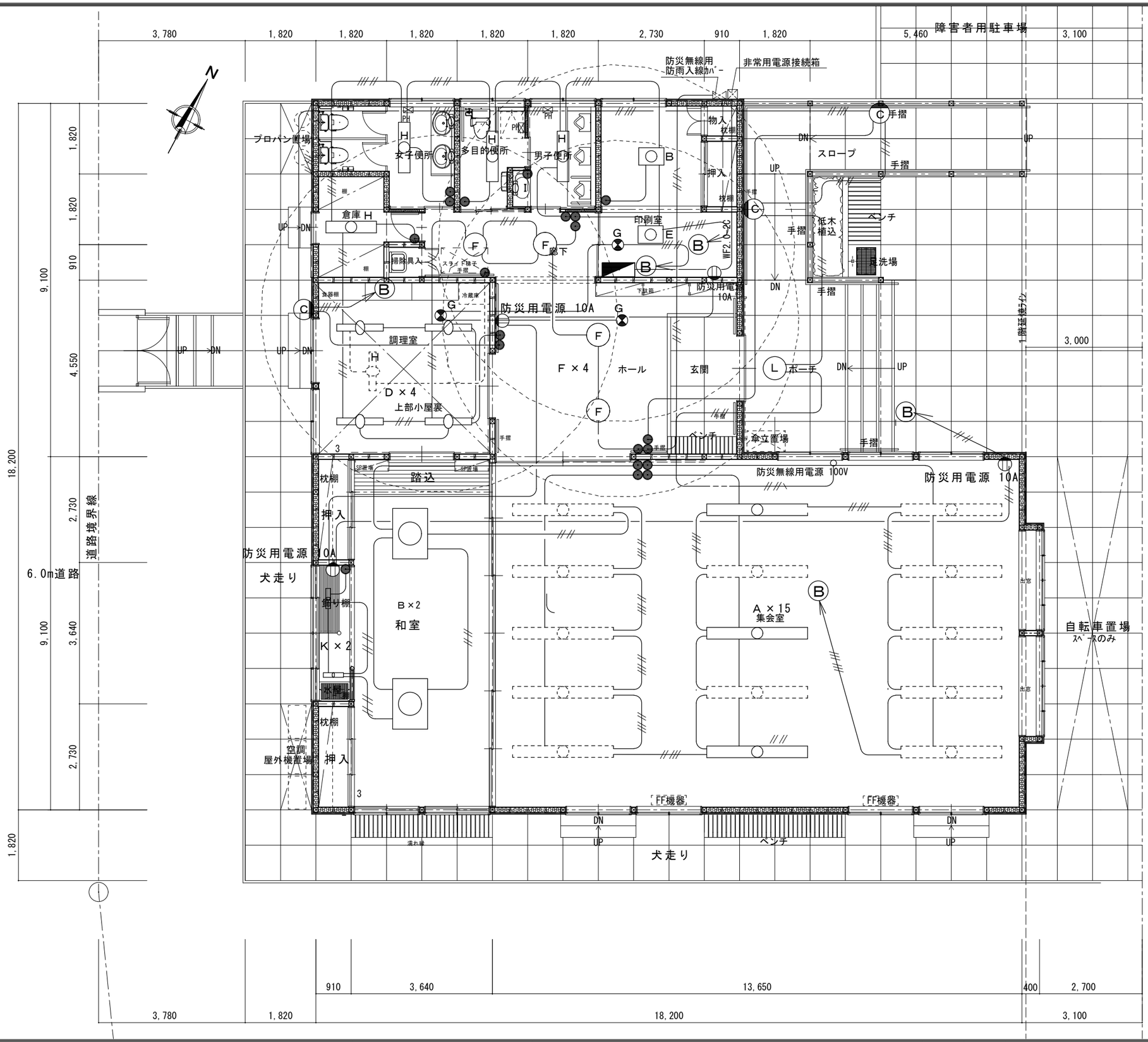
仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

S=1/100

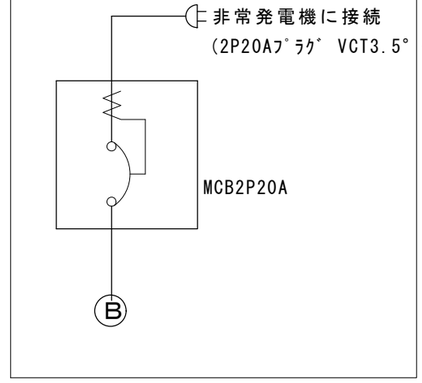
富ヶ丘北部会館新築工事

コンセント 配線図

E- 4



非常用電源箱



特記なきは下記凡例とする

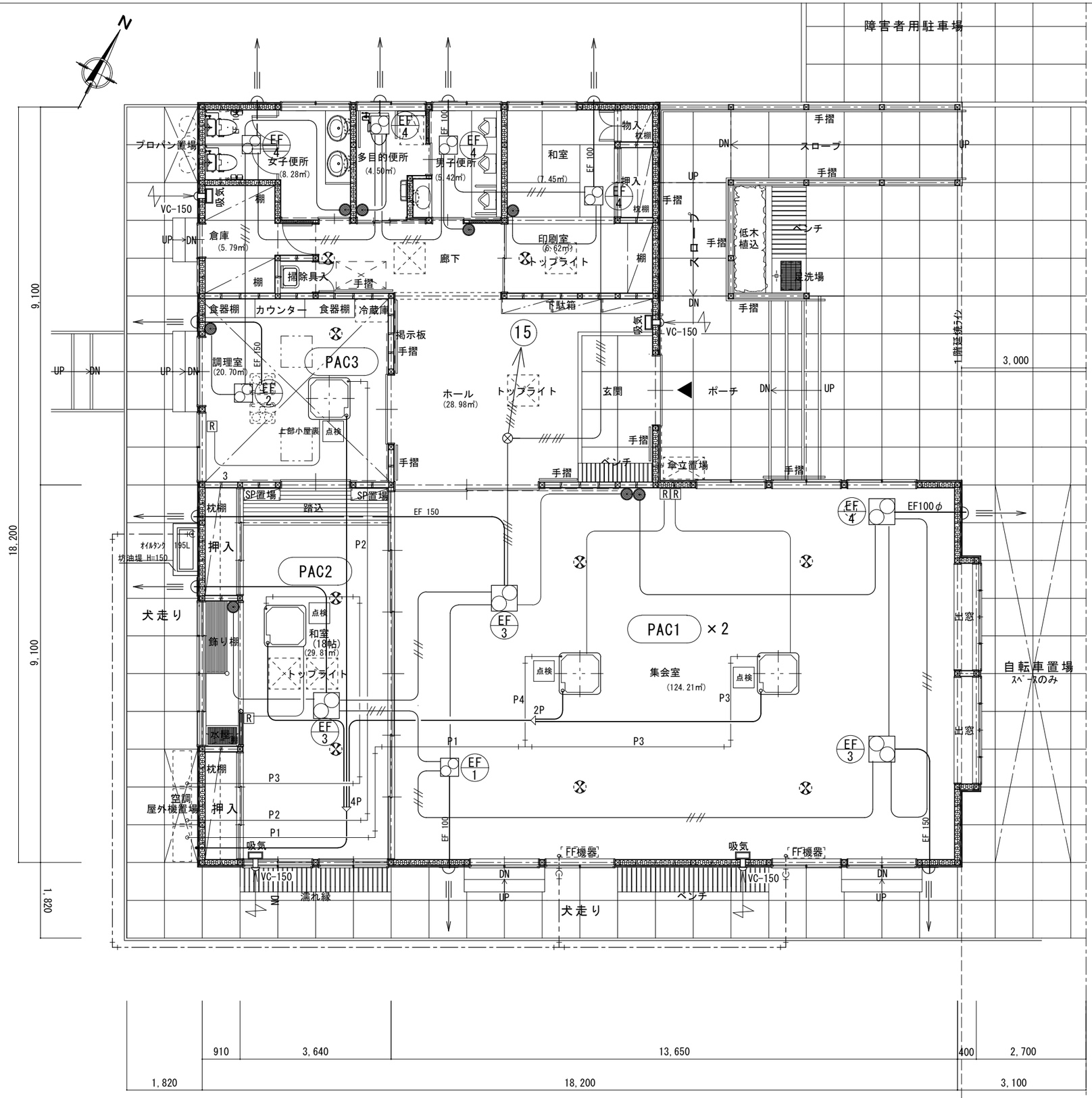
—//—	EM-EEF1.6-2C ころがし
—///—	EM-EEF1.6-3C ころがし
—////	EM-EEF1.6-2C×2 ころがし
—////—	EM-EEF1.6-3C+2C ころがし
ｽｲｯﾁ高さ FL+1,200	
電池内臓型非常用照明 松下電工 LB91630同等 天井高さ 2,700 1ﾙｸｽ範囲 半径4,600	

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

非常時配線図・防災無線配線図

E- 5



火気使用室換気計算

部屋名：調理室

使用ガス種別：13A（LPｶﾞｽ）

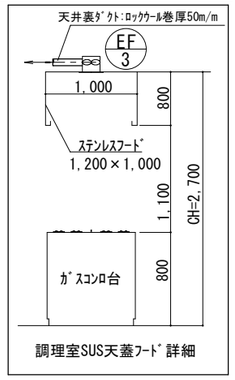
ｶﾞｽ器具：ｺﾝﾛ Q=9.47KW×2台=18.94KW

換気計算：V=30KQ

=30×0.93×19.0

=531m³/H

使用換気扇：EF-3（天井換気扇）760m³/h ＞ 531m³/h



調理室SUS天蓋ﾌｰﾄﾞ詳細

FF機器（FF暖房器）：集会室 2台

ｻﾝﾎﾟｯﾄ：FF-15ＧＢＦ同等品

暖房出力：15.9KW（13,700kcal/h）

外形寸法：H700×W800×D445

暖房目安：木造 寒冷地 41畳（67.5㎡）まで

灯油タンク：195LﾀﾞｲﾔHT-K195VH同等品
盗難防止給油ｷｬｯﾌﾟ付(錠前共)
基礎・土間ﾎﾞﾙﾄ止め

凡例
- 点検 天井点検口(建築工事)を示す。
- R は、リモコンを示す。

<特記>
屋外露出冷媒管の外装はSUSﾗｯｷﾝｸﾞ仕上げとする。
外壁より1m部分の換気ﾀﾞｸﾄは保温(GW25ｔ)巻き
OA取入ﾀﾞｸﾄは、保温(GW25t)巻き
空気熱交換器吸排気ﾀﾞｸﾄは、保温(GW25ｔ)巻き

記号	機器名称	機器仕様	電気容量 φ	V	W	数量	設置場所	備考
FE-1	天井換気扇	ｼｯｸﾊｳｽ 風 量：83m³/h(ﾊﾞｲﾌﾟ長さ 20m時)	1	100	7.5	1	集会室	VD-15ZLXP9-CS P-18KFSD(K)
FE-2	天井換気扇	型 式：低騒音ﾀｲﾌﾟ 風 量：760m³/h 付属品：SUS製深形ﾌｰﾄﾞ SUS防虫網 天吊金具	1	100	95	1	調理室	台所用 VD-23ZP8 P-18KFSD(K)
FE-3	天井換気扇	型 式：低騒音ﾀｲﾌﾟ 風 量：600m³/h 付属品：SUS製深形ﾌｰﾄﾞ SUS防虫網 天吊金具	1	100	74	3	集会室・和室	居間用 VD-23ZX8-Z P-18KFSD(K)
FE-4	天井換気扇	型 式：低騒音ﾀｲﾌﾟ 風 量：300m³/h 付属品：SUS製深形ﾌｰﾄﾞ SUS防虫網 天吊金具	1	100	22	4	男・女便所 印刷	VD-15ZB8 P-13KFSD5

N値による換気量の計算（建築基準法の告示に基づく） V=20AF/N

室 名	床面積 AF（㎡）	N値 3以下	計算風量 (m³/H)	決定風量 (m³/H)
集会室	124.21	2.5	310.52	320
集会室和室	29.8	2.5	64.5	70
印刷和室	14.07	2.5	35.17	40

屋外ﾌｰﾄﾞ・室内ｸﾞﾘﾙ局部抵抗係数 （参考品番三菱）

種 別	ダクト径	品番	圧力損失係数（抵抗階数） 排 気	吸 気
屋外フード	SUS 100φ	P-13KFSD5	2.25	3.97
	SUS 150φ	P-18KFSD(K)	2.20	3.58
室内グリル	100φ	P13GX2-M	0.74	0.4
	150φ	P18GX2-CM	1.19	1.34

空調設備機器仕様 （別途工事）

- PAC1 冷房：14.0<2.6～16.0>KW 暖房：16.0<2.4～20.7>KW(低温15.6KW) 天井ｶｾｯﾄ型4方向吹出 同時ﾂｲﾝ 東芝 AUSB16065Mｾｯﾄ同等 ﾜｲﾔｰﾄﾞ
- PAC2 冷房：5.0<1.2～5.6>KW 暖房：5.6<0.9～7.4>KW(低温6.2KW) 天井ｶｾｯﾄ型2方向吹出 ｼﾝｸﾞﾙ 東芝 AWSA05655JM4ｾｯﾄ同等
- PAC3 冷房：4.5<1.0～5.0>KW 暖房：5.0<1.0～5.0>KW(低温4.4KW) 天井ｶｾｯﾄ型2方向吹出 ｼﾝｸﾞﾙ 東芝 AWEA05055JM1ｾｯﾄ同等

冷媒管ﾘｽﾄ

記号	ガス管	液管
P1	22.2φ	9.5φ
P2	19.1φ	9.5φ
P3	15.9φ	9.5φ
P4	12.7φ	6.4φ

仙台市泉区虹の丘１丁目４番地の５
株式会社 図 設 計
一級建築士第136210号 高橋亨次
TEL.022-372-7776 FAX.022-373-6991

富ヶ丘北部会館新築工事

空調換気 設備図

E- 6

平成２６年度富ケ丘北部会館新築工事
閲覧特記事項書

１．工事実績情報登録

工事実績情報の登録について、契約締結後１０日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

２．官庁その他への手続き関係

イ）工事施工に必要な諸手続き（建築確認申請手続きを除く）、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ）本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

３．下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷町内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

４．建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

５．諸検査等について

建築確認検査、消防検査、役場検査等の諸検査も工期に含むものとする。

６．縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（Ａ－３版二つ折り製本）３部を提出すること。